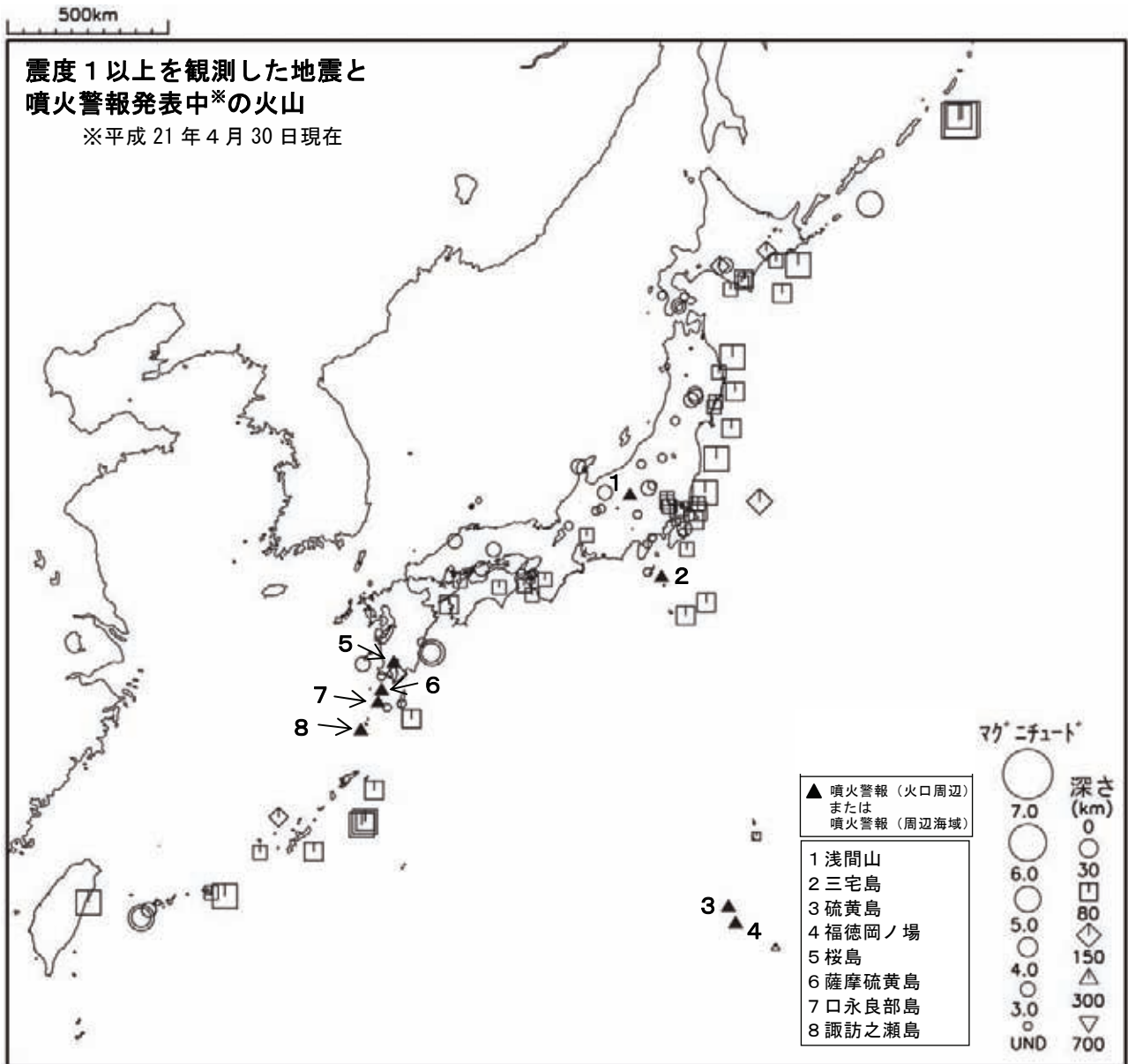


平成 21 年 4 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

April 2009



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注**平成 21 年 4 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢、石淵ダム）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）
 UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。
 N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1 NP2：節面 2
 STR：走向（°：北から時計周り） DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
 SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）
 P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）
 N：N 軸（中立軸）
 AZM：方位角（°：北から時計周り） PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
 Mw：モーメントマグニチュード Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いる。情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合は「異なる震央地名〔情報発表時に使用した震央地名〕」と併記する。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「火山報告（CD-ROM）」に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目 次

●日本及びその周辺で発生した主な地震	1
●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	19
●日本の主な火山活動	25
●世界の主な地震	36
●世界の主な火山活動	37
●特集．2009年4月6日に発生したイタリア中部の地震	38
●付表	
1．震度1以上を観測した地震の表	40
2．過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	55
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数	56
4．緊急地震速報の提供状況	57

●日本及びその周辺で発生した主な地震

平成 21 年（2009 年）4 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 103 回（3 月は 90 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 106 回（3 月は 54 回）であった。

4 月中に発生した主な地震を表 1 に示す。震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（3 月もなし）。

表 1 平成 21 年 4 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	4 5 17 00	日高支庁東部	4.8	・ ・ ・ ・	3：北海道 浦河町潮見 など 1 道 6 地点	6
2	4 5 18 36	日向灘	5.6	・ ・ S ・	4：宮崎県 宮崎市松橋*、宮崎市高岡町内山*	17
3	4 7 13 23	千島列島	6.7	M ・ ・ ・	3：北海道 釧路町別保*	7
4	4 19 04 17	千島列島	6.5	M ・ ・ ・	3：北海道 釧路町別保*	7
5	4 21 18 57	福島県沖	5.2	・ ・ ・ ・	3：福島県 いわき市三和町 など 3 県 17 地点	10
6	4 21 20 43	豊後水道	4.0	・ ・ ・ ・	3：愛媛県 西予市明浜町*、高知県 宿毛市桜町*	15
7	4 25 22 54	岩手県沖	5.0	・ ・ ・ ・	3：岩手県 盛岡市玉山区藪川* など 2 県 19 地点	11
8	4 28 06 37	茨城県沖	5.0	・ ・ ・ ・	3：茨城県 鉾田市当間* など 3 県 15 地点	13
9	4 28 20 21	釧路沖	5.4	・ ・ S ・	4：北海道 別海町常盤 など 1 道 5 地点	8

- 注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.0 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。
 注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
 注 3) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
 注 4) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。

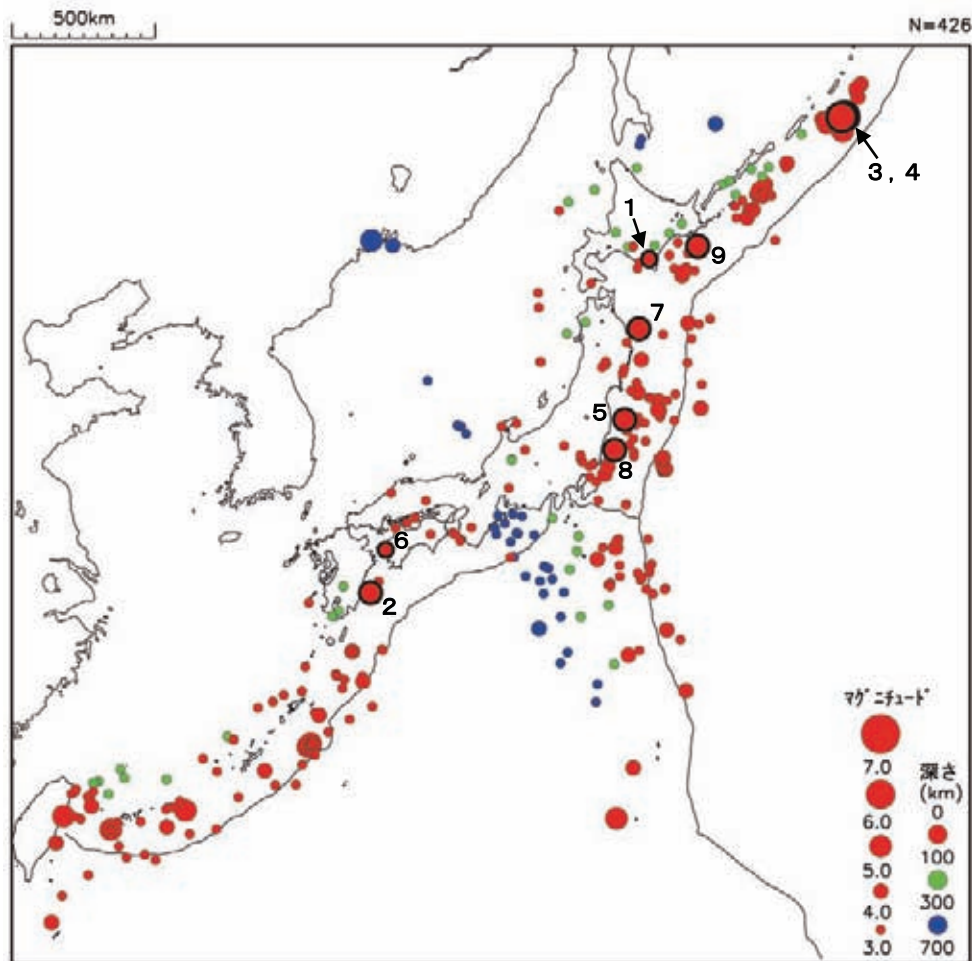
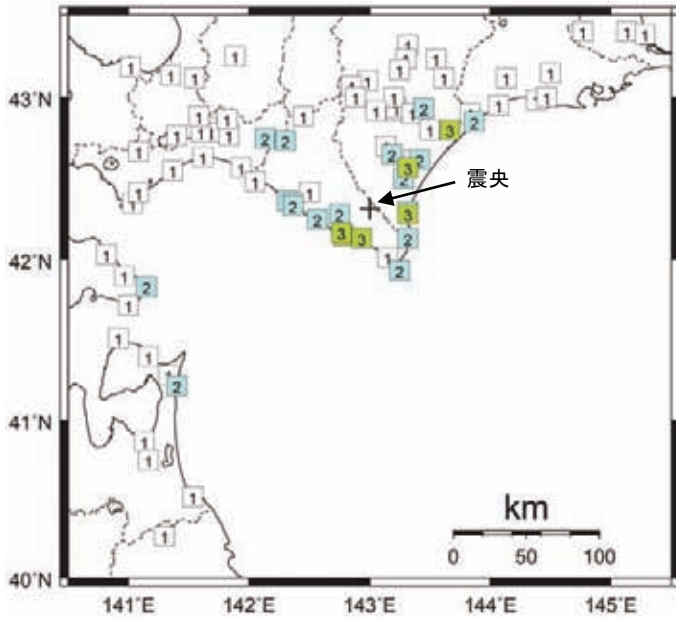


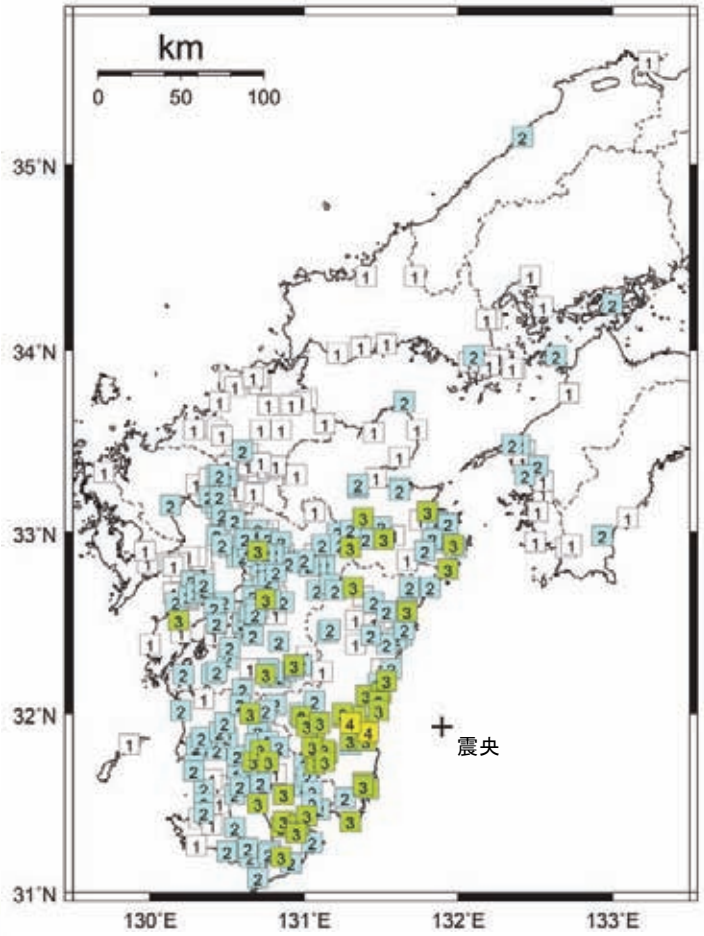
図 1 平成 21 年 4 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図（図中の数字は表 1 の番号に対応）

図 2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

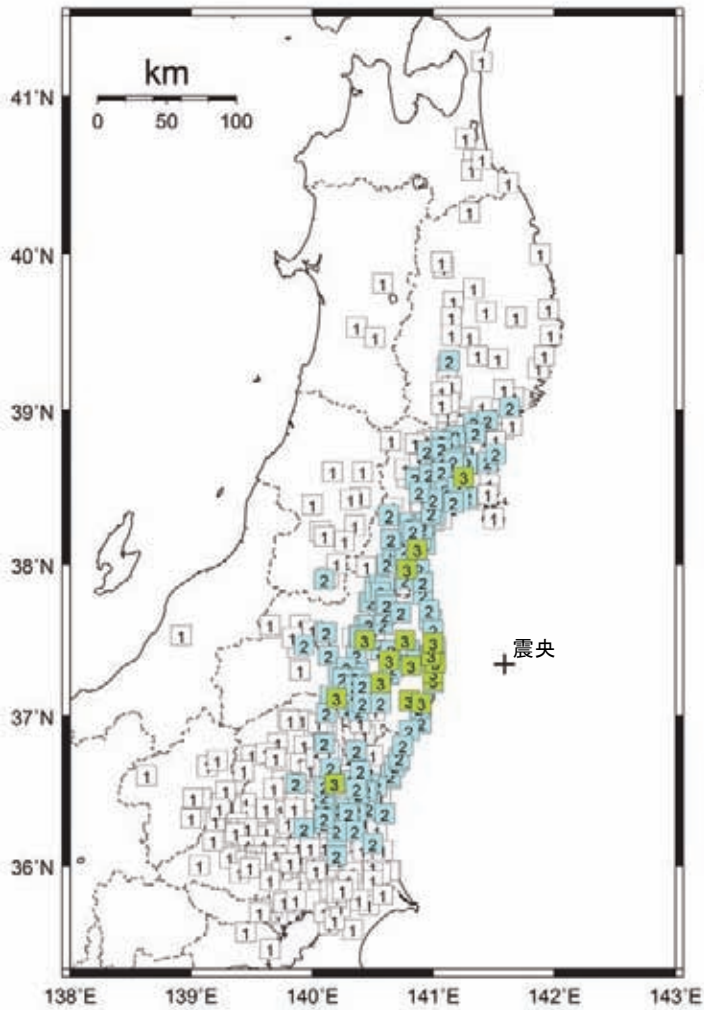
1 4月5日 17時00分 日高支庁東部
(M4.8, 深さ54km, 最大震度3)



2 4月5日 18時36分 日向灘
(M5.6, 深さ28km, 最大震度4)



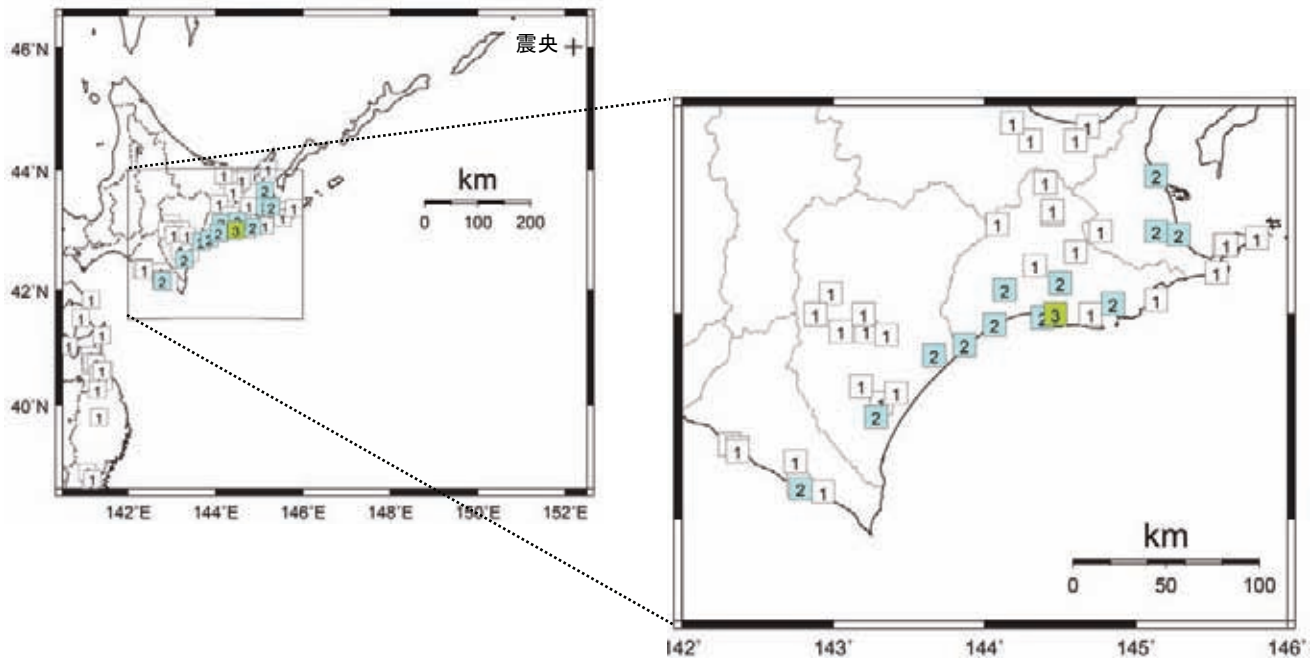
5 4月21日 18時57分 福島県沖
(M5.2, 深さ45km, 最大震度3)



凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

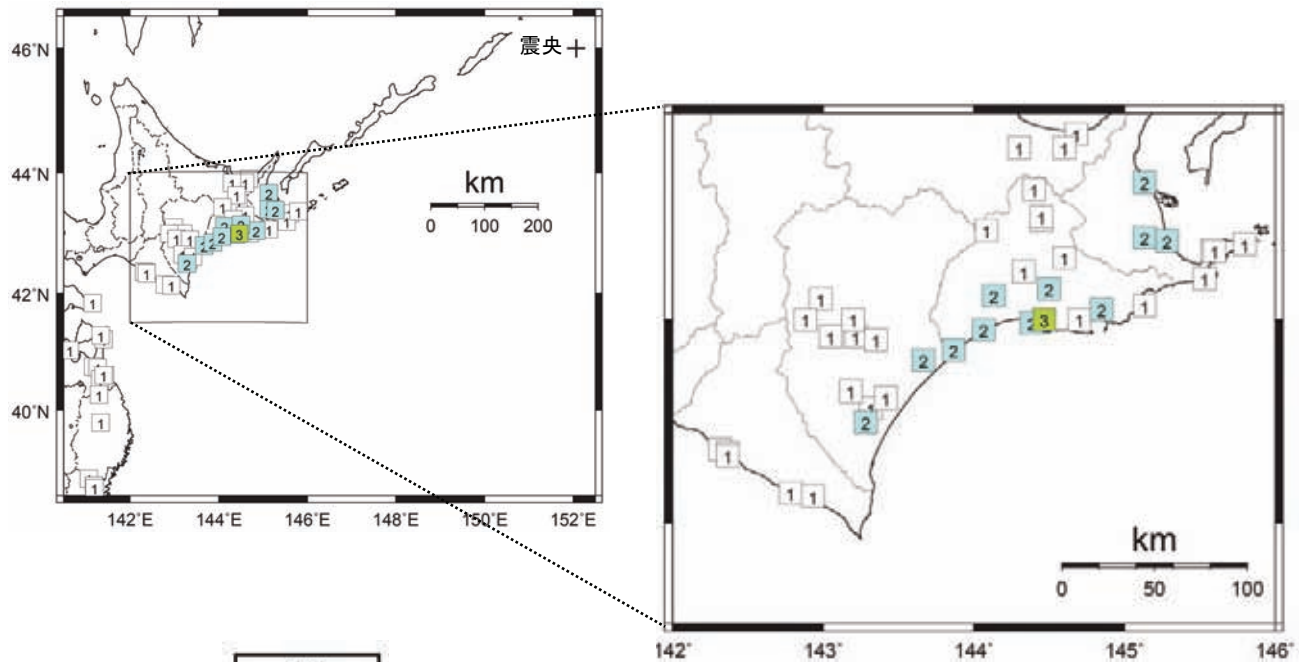
3

4 月 7 日 13 時 23 分 千島列島
(M6.7, 深さ 30km, 最大震度 3)



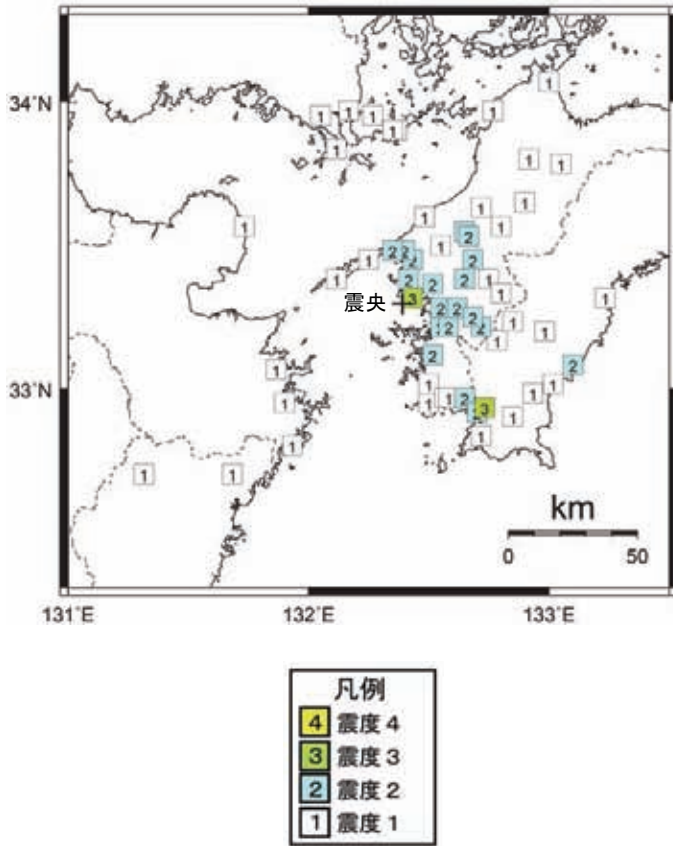
4

4 月 19 日 04 時 17 分 千島列島
(M6.5, 深さ 30km, 最大震度 3)

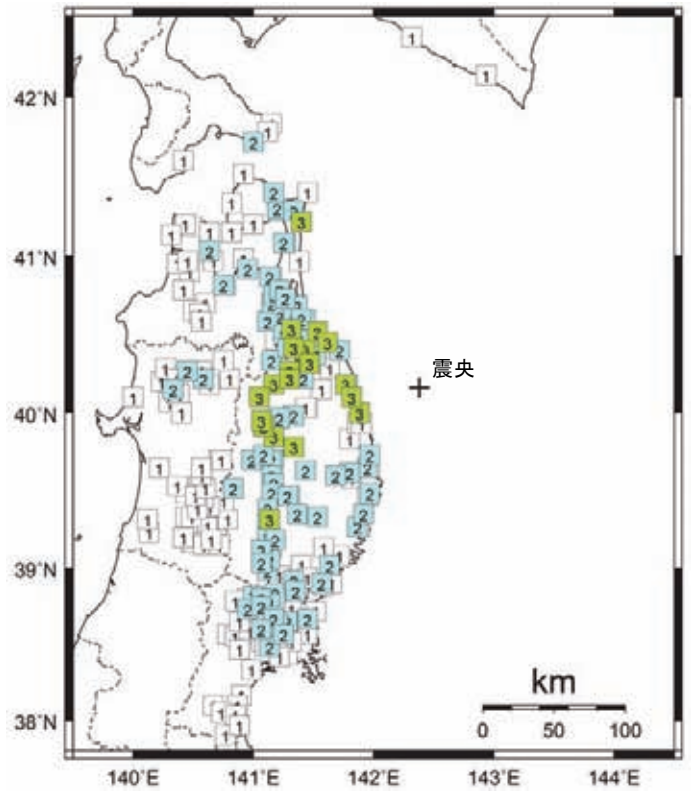


凡例	
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

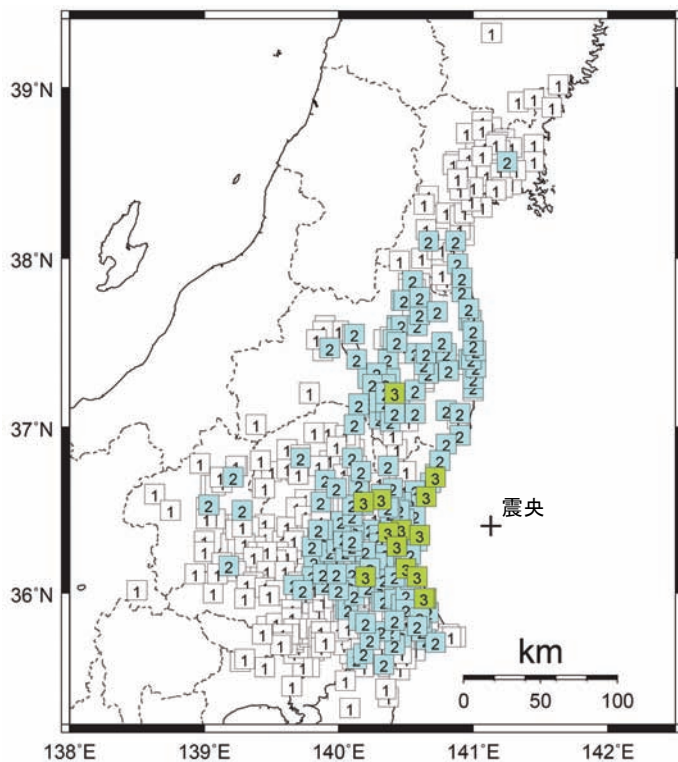
6 4月21日20時43分 豊後水道
(M4.0, 深さ39km, 最大震度3)



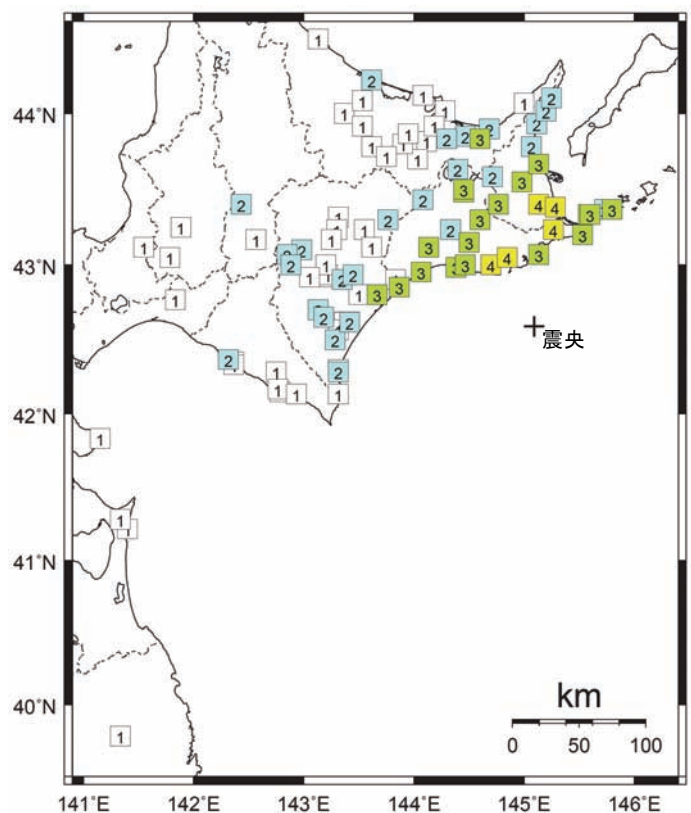
7 4月25日22時54分 岩手県沖
(M5.0, 深さ37km, 最大震度3)



8 4月28日06時37分 茨城県沖
(M5.0, 深さ48km, 最大震度3)



9 4月28日20時21分 釧路沖
(M5.4, 深さ38km, 最大震度4)



○北海道地方の地震活動

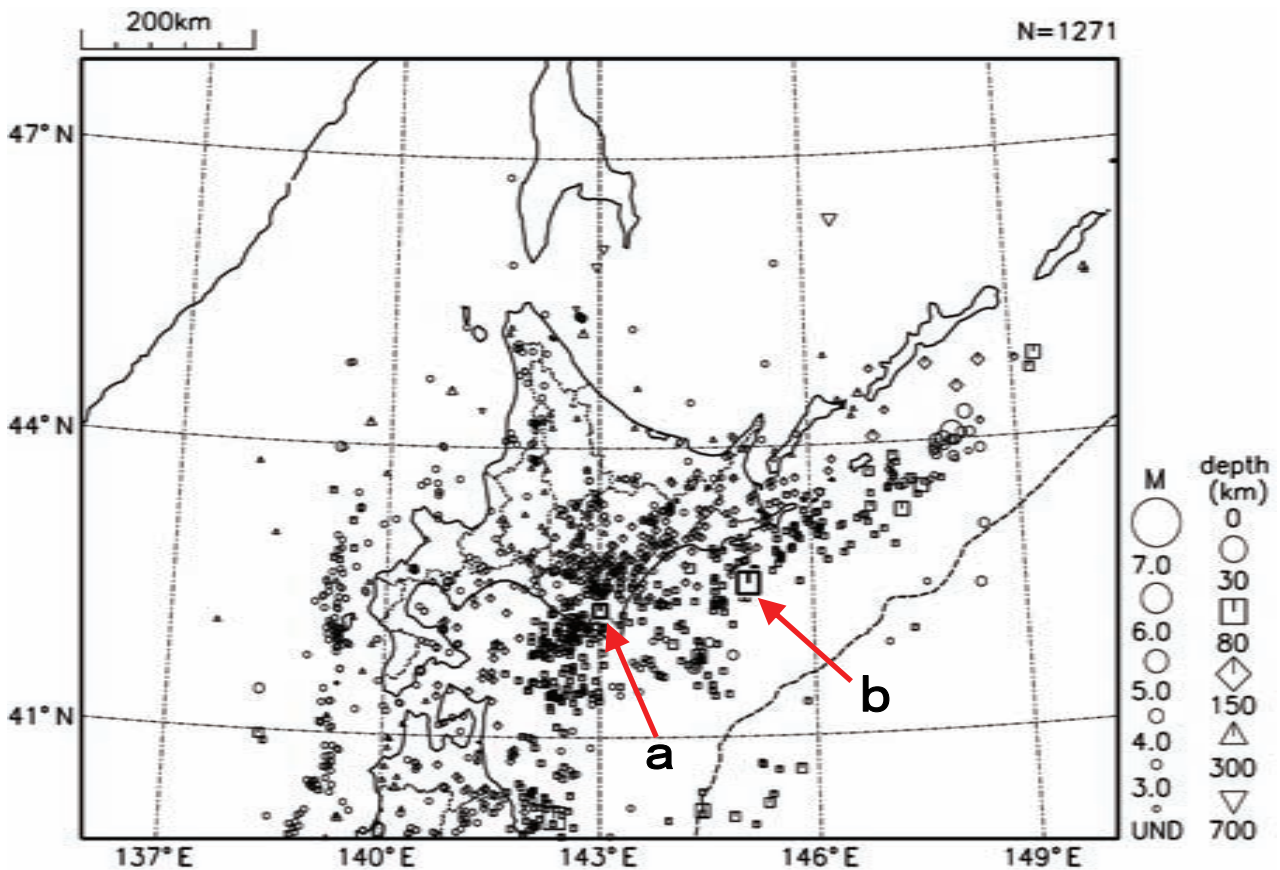


図3 北海道地方の震央分布図（2009年4月1日～4月30日）

〔概況〕

4月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は20回（3月は13回）であった。4月中の主な活動は次のとおりである。

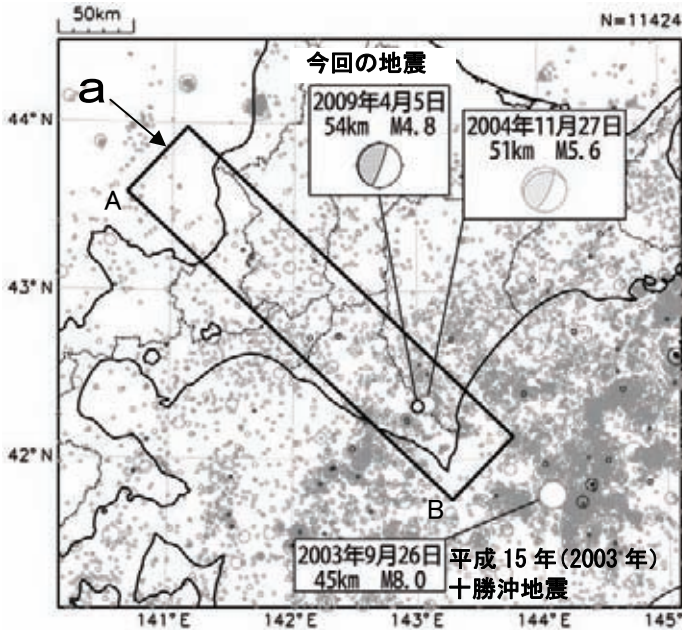
5日17時00分に日高支庁東部の深さ54kmでM4.8の地震（図3中のa）が発生し、北海道の広尾町、浦幌町、幕別町、様似町、浦河町で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2～1を観測した。（p.6を参照）。

7日13時23分に千島列島（シムシル島南方沖）でM6.7の地震が発生した。また、ほぼ同じ場所で19日04時17分にM6.5の地震（共に図3の範囲外）が発生した。これらの地震では、北海道の釧路町で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した。（p.7を参照）。

28日20時21分に釧路沖の深さ38kmでM5.4の地震（図3中のb）が発生し、北海道の根室市、別海町、厚岸町で震度4を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度3～1を観測した。（p.8を参照）。

4 月 5 日 日高支庁東部の地震

震央分布図（2001 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、深さ 0～200km、 $M \geq 2.0$ ）

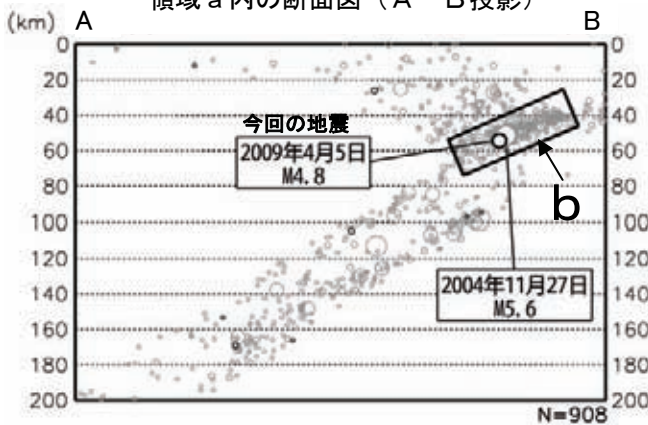


2009 年 4 月 5 日 17 時 00 分に日高支庁東部の深さ 54km で $M4.8$ (最大震度 3) の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

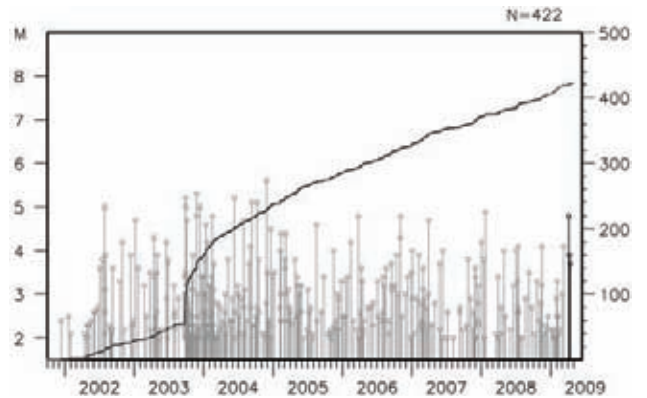
今回の地震の震源付近 (領域 b) は、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」の発生後に地震が増加した地域であり、2004 年 11 月 27 日には $M5.6$ (最大震度 4) の地震が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、 $M5.0$ 以上の地震が度々発生している。最大は 1970 年 1 月 21 日の $M6.7$ の地震 (最大震度 5) で、負傷者 32 名や建物の被害などを生じている (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

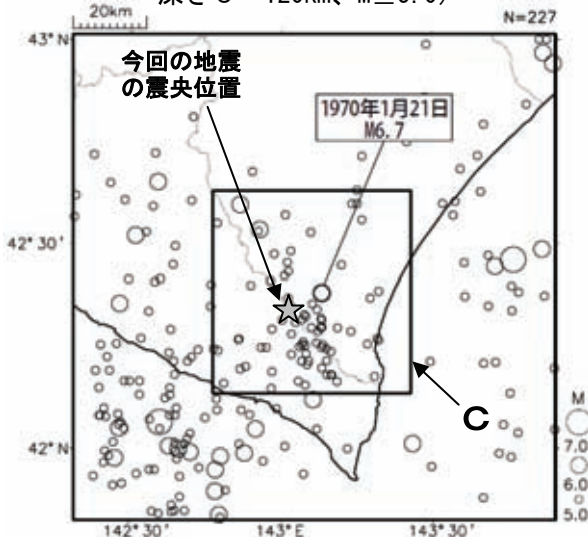
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



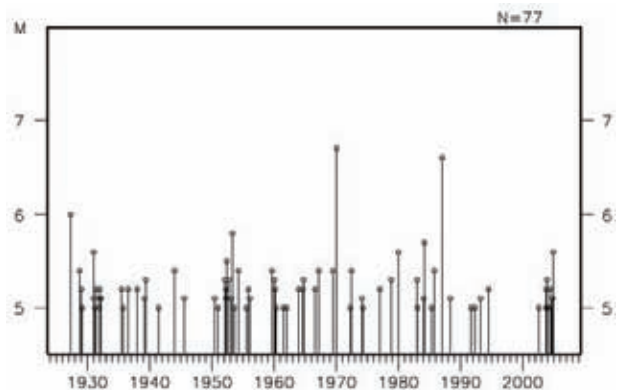
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)

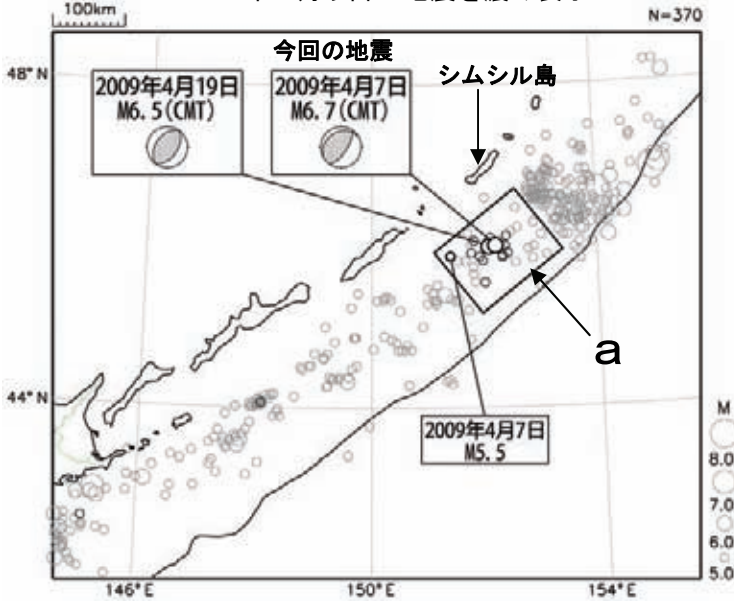


領域 c 内の M-T 図



4 月 7 日 千島列島（シムシル島南方沖）の地震

震央分布図(2001 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$)
2009 年 4 月以降の地震を濃く表示

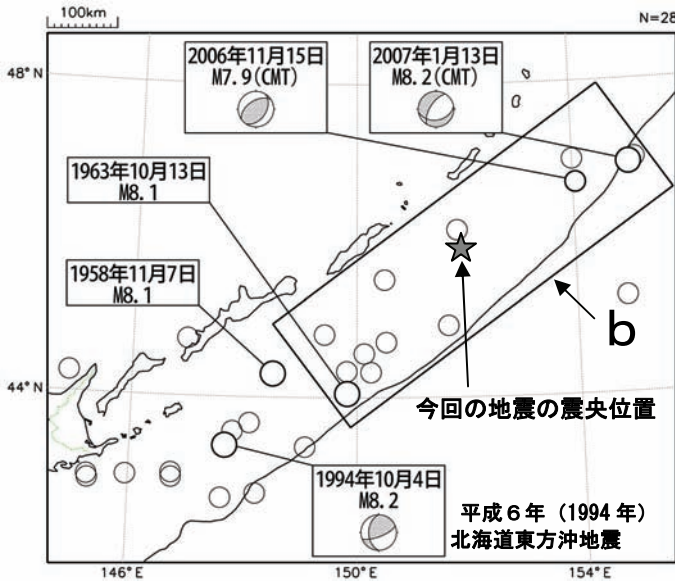


2009 年 4 月 7 日 13 時 23 分に千島列島のシムシル島南方沖で M6.7 (最大震度 3) の地震が発生した。また、ほぼ同じ場所で 19 日 04 時 17 分に M6.5 (最大震度 3) の地震が発生した。これらの地震の発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生した地震と考えられる。

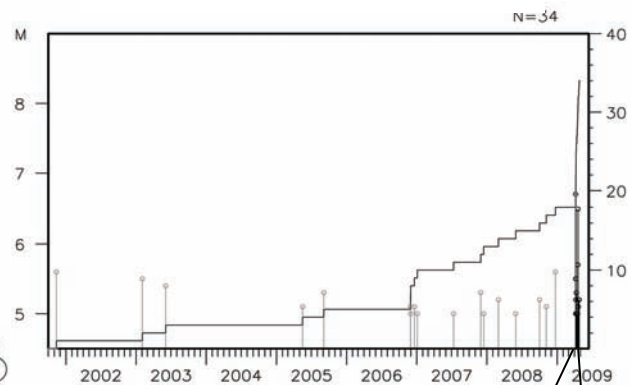
今回の地震の震央付近 (領域 a) では、7 日の地震発生時の約 4 時間前に M5.5 の地震が発生している。また、余震活動は 7 日の地震発生後 2 日程はやや活発であった。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 b) では、M7.0 以上の地震が時々発生している。最大は 2007 年 1 月 13 日の M8.2 の地震 (最大震度 3) で、三宅島坪田で 43cm の津波を観測する等、日本の太平洋側沿岸を中心に広範囲で津波が観測された。また、1963 年 10 月 13 日に発生した M8.1 の地震 (最大震度 4) でも津波が発生し、漁業施設に軽微な被害が生じている (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

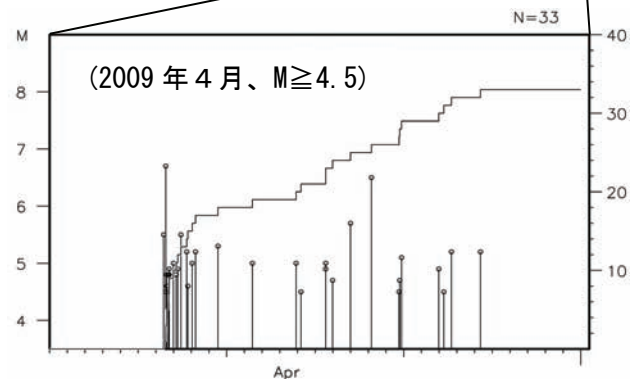
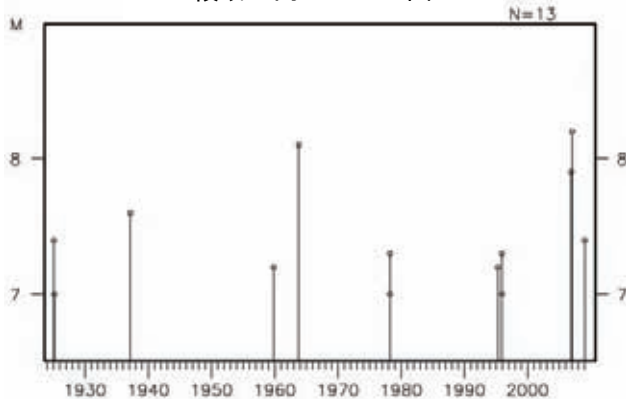
震央分布図(1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0～200km、 $M \geq 7.0$)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

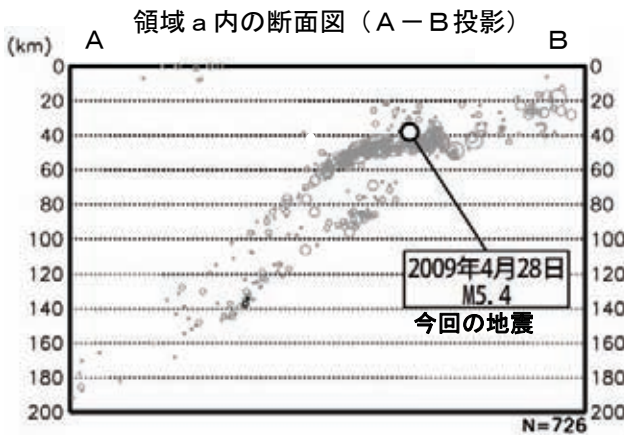
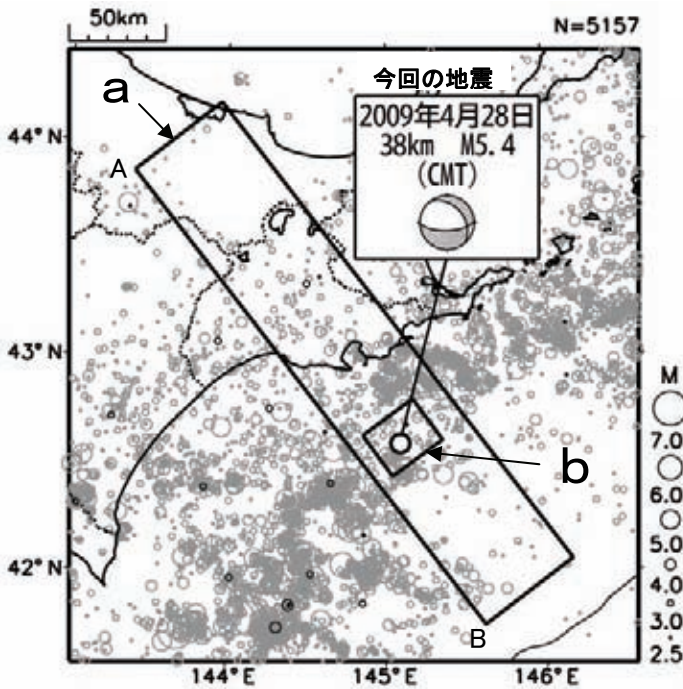


領域 b 内の M-T 図

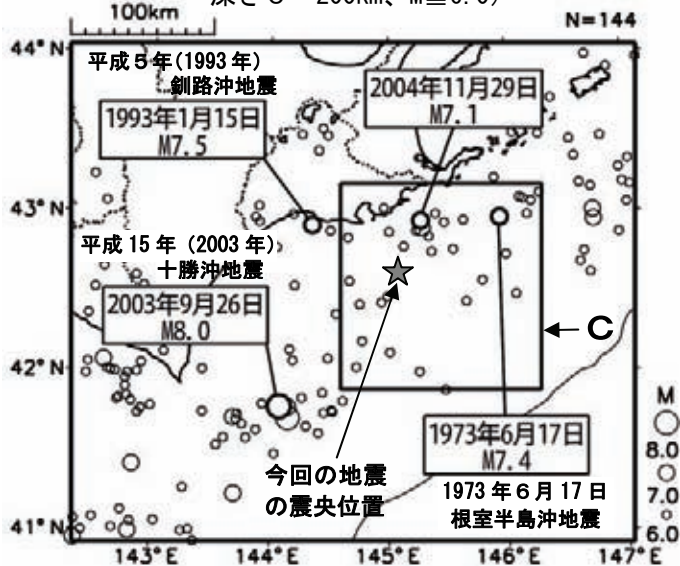


4 月 28 日 釧路沖の地震

震央分布図(2001年10月1日～2009年4月30日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)



震央分布図 (1923年8月1日～2009年4月30日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)

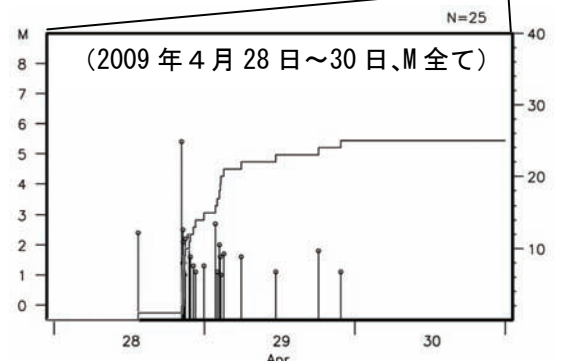
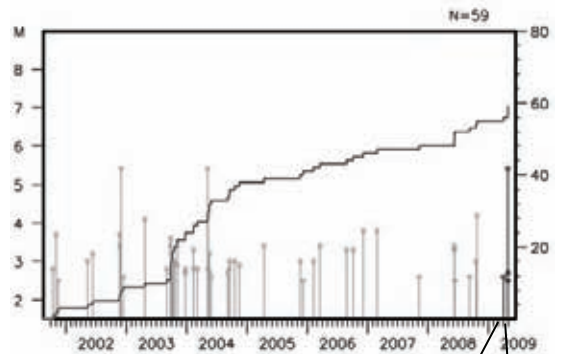


2009年4月28日20時21分に釧路沖の深さ38kmでM5.4（最大震度4）の地震が発生した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震と考えられる。発震機構（CMT解）は北北東-南南西方向に張力軸を持つ型であった。

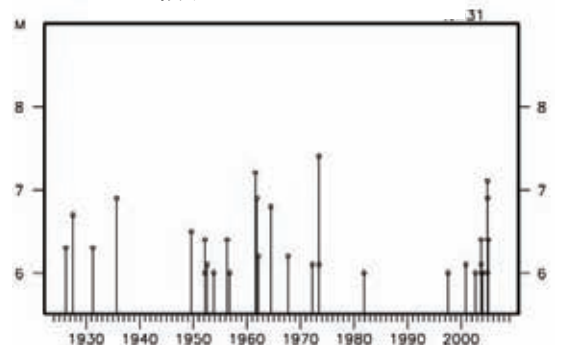
今回の地震の余震活動（領域b）は地震発生後1日程度で収まった。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）では、M6.0以上の地震が度々発生している。最大は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、負傷者26名の他、津波による被害も発生している（「最新版 日本被害地震総覧」による）。また、最近では2004年11月29日のM7.1の地震（最大震度5強）により、負傷者52名等の被害が生じた（総務省消防庁による）他、根室市花咲で12cmの津波を観測した。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

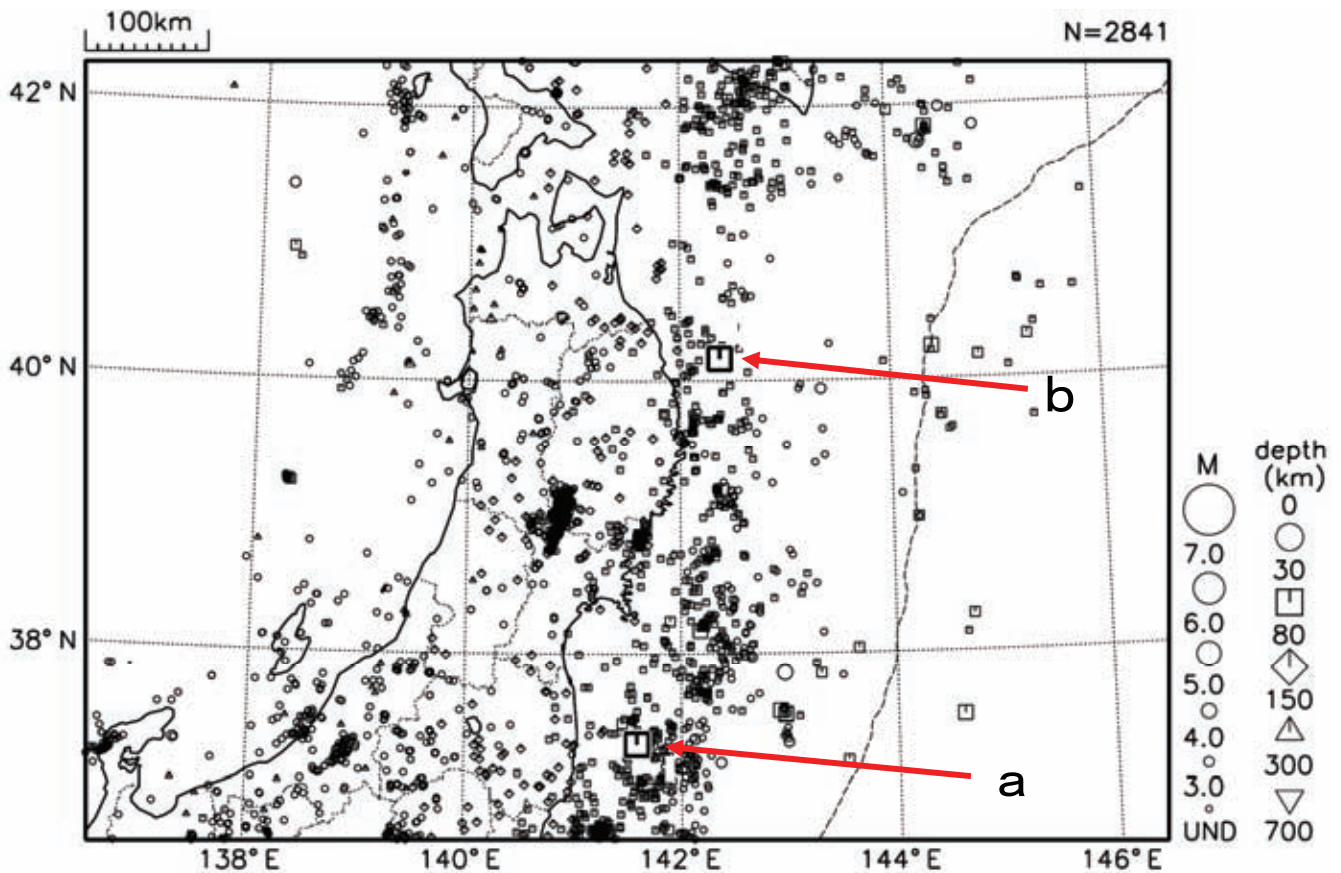


図4 東北地方の震央分布図（2009年4月1日～4月30日）

[概況]

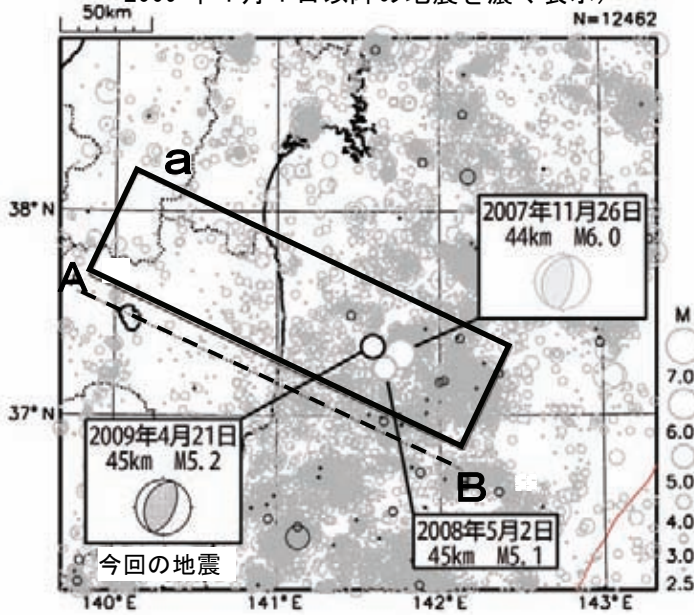
4月に東北地方で震度1以上を観測した地震は21回（3月は18回）であった。4月中の主な活動は次のとおりである。

21日18時57分に福島県沖の深さ45kmでM5.2の地震（図4中のa）が発生し、宮城県、福島県、栃木県で震度3を観測したほか、東北地方から関東地方および新潟県で震度2～1を観測した（p.10参照）。

25日22時54分に岩手県沖の深さ37kmでM5.0の地震（図4中のb）が発生し、青森県八戸市、岩手県盛岡市などで震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県で震度2～1を観測した。（p.11参照）。

4 月 21 日 福島県沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
 深さ 0 km～200 km、 $M \geq 2.5$ 、
 2009 年 4 月 1 日以降の地震を濃く表示)

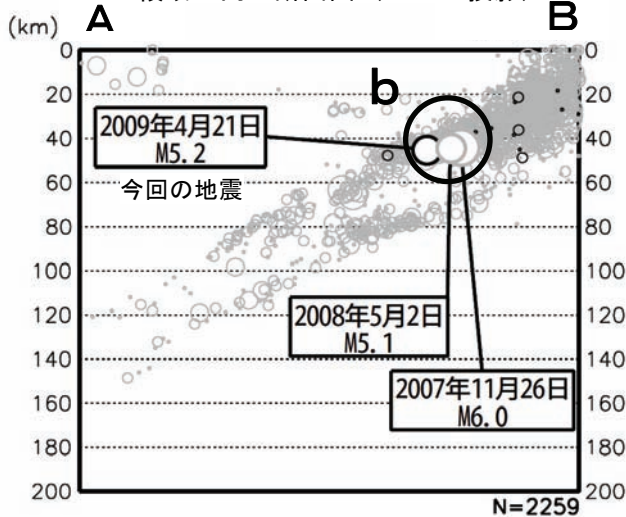


2009 年 4 月 21 日 18 時 57 分に福島県沖の深さ 45 km で $M 5.2$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

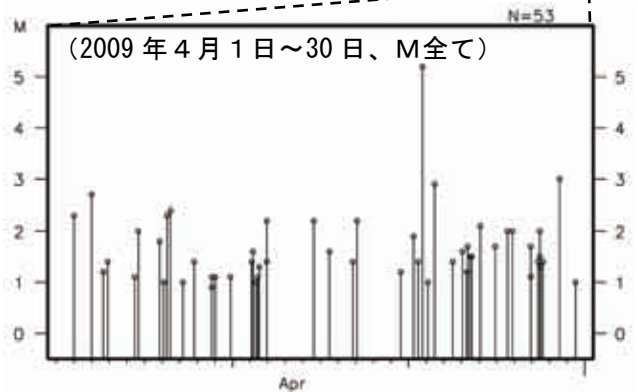
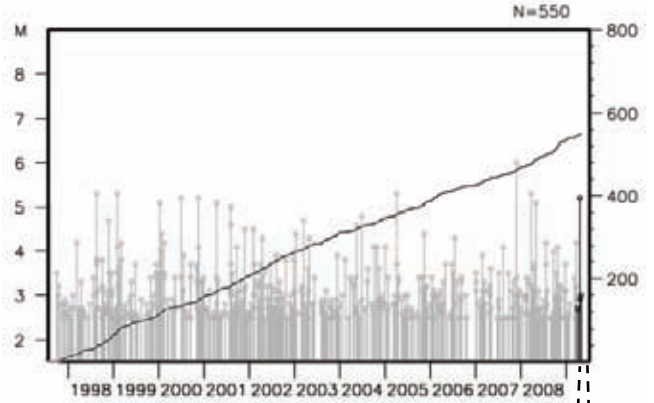
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2007 年 11 月 26 日に $M 6.0$ の地震 (最大震度 4)、2008 年 5 月 2 日に $M 5.1$ の地震 (最大震度 3) が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年に $M 7.5$ の地震を最大とする活発な活動があった。

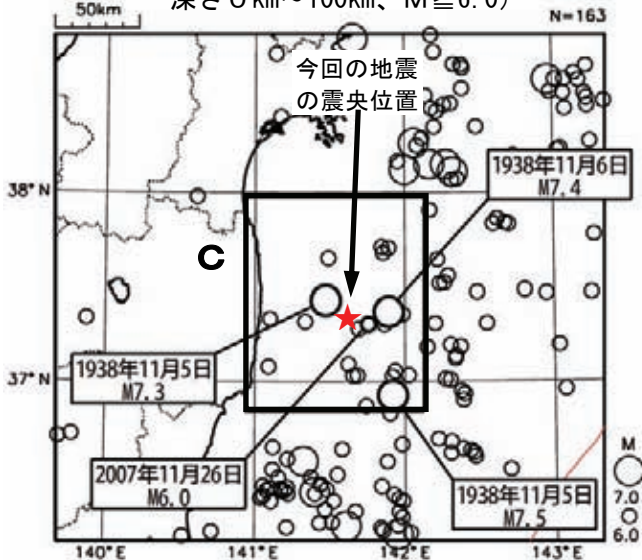
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



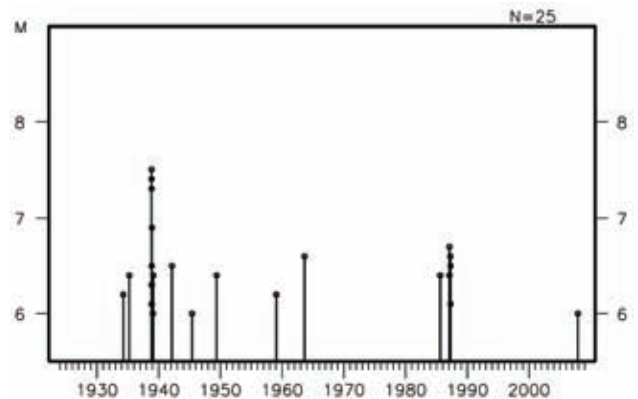
領域 b 内の M-T 図、回数積算図



震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
 深さ 0 km～100 km、 $M \geq 6.0$)



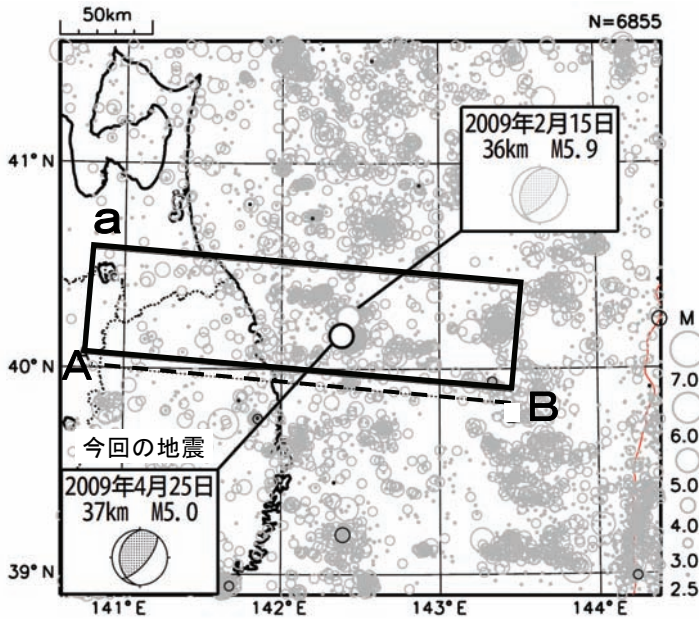
領域 c 内の M-T 図



4 月 25 日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0 km～200km、 $M \geq 2.5$ 、
2009 年 4 月 1 日以降の地震を濃く表示)

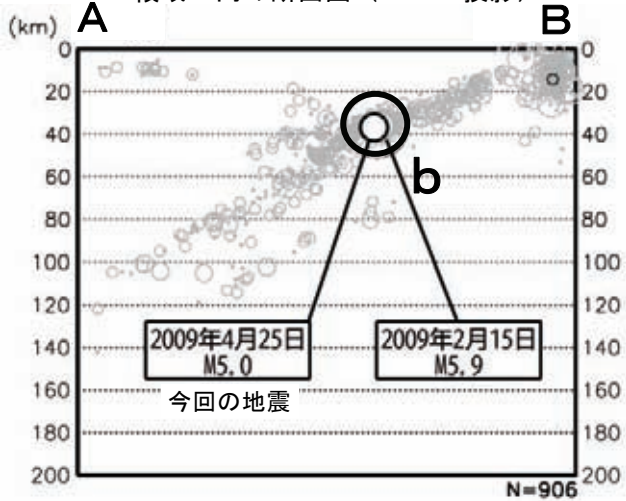


2009 年 4 月 25 日 22 時 54 分に岩手県沖の深さ 37km で M5.0 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2～3 年おきに M5.0 程度の地震が発生している。最近では、2009 年 2 月 15 日に M5.9 の地震 (最大震度 4) が発生している。

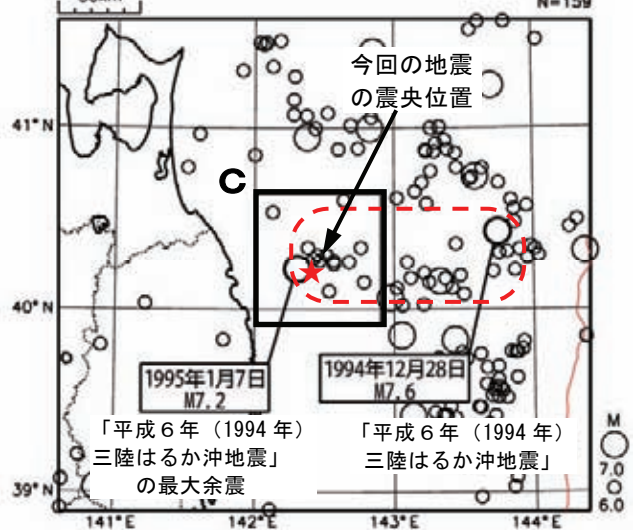
1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度 6) の最大余震 (M7.2、最大震度 5) が発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



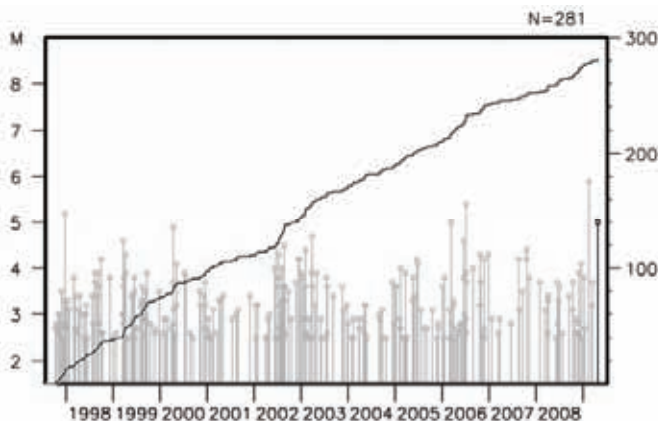
震央分布図

(1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0 km～100km、 $M \geq 6.0$)

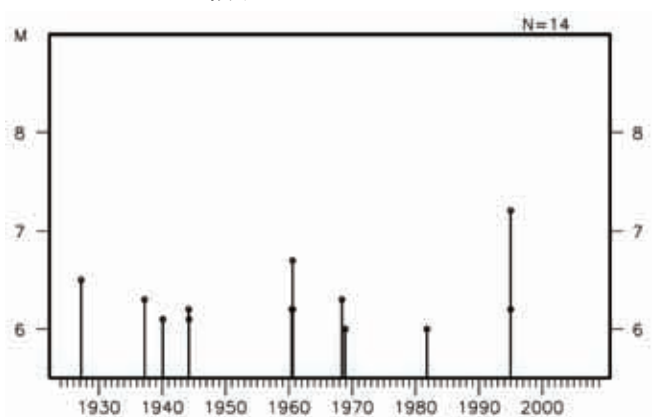


「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」の震源域 (地震調査委員会による)

領域 b 内の M-T 図、回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

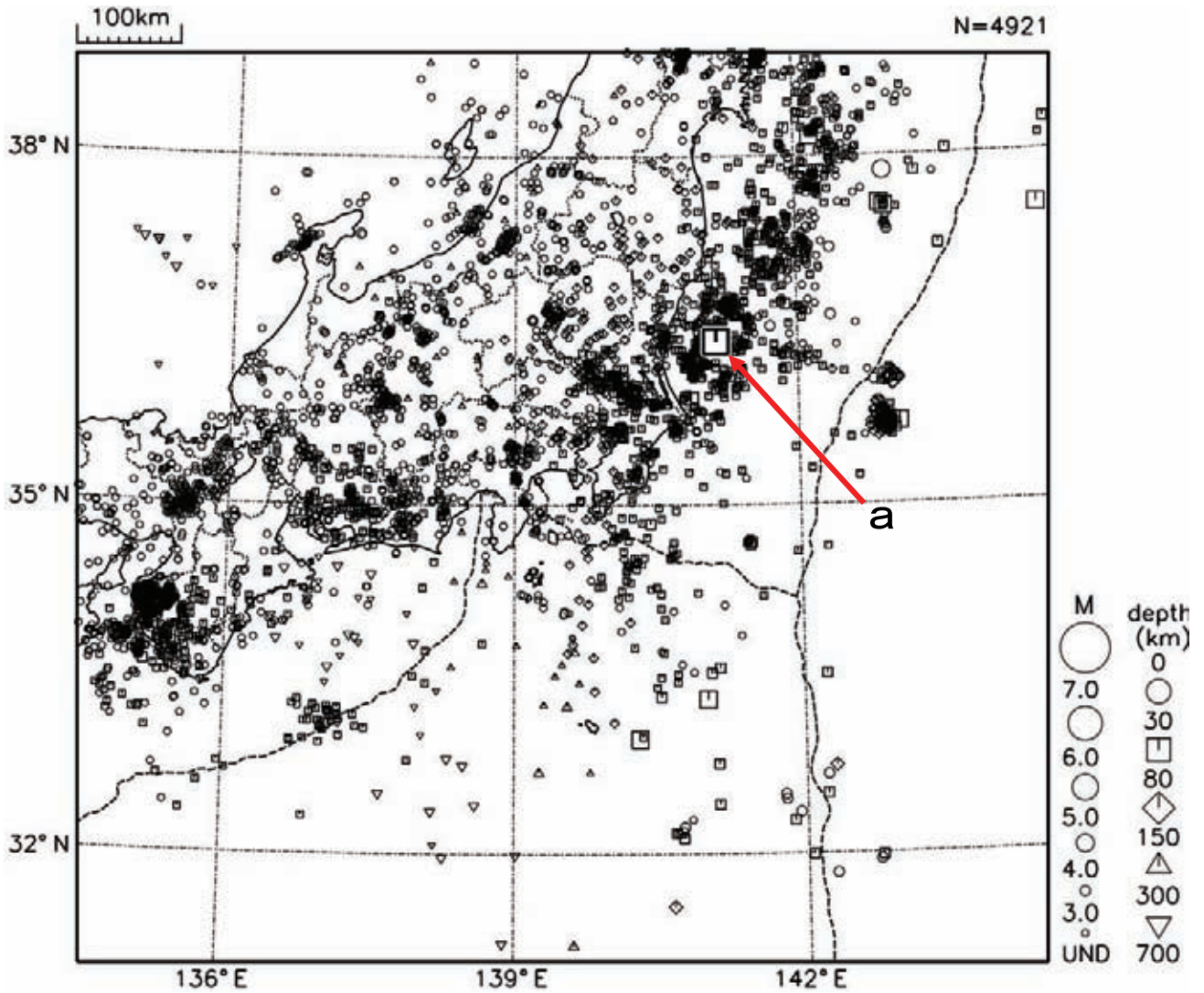


図5 関東・中部地方の震央分布図（2009年4月1日～4月30日）

[概況]

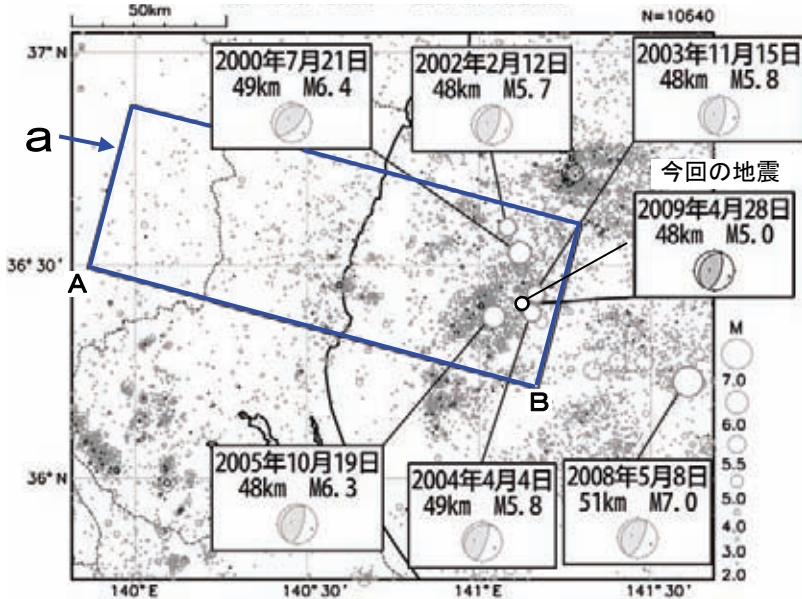
4月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は33回（3月は23回）であった。4月中の主な活動は次のとおりである。

28日06時37分に茨城県沖の深さ48kmでM5.0の地震（図5中のa）が発生し、茨城県、栃木県、及び福島県で震度3を観測したほか、岩手県南部から関東地方にかけてと長野県の一部で震度2～1を観測した（p.13参照）。

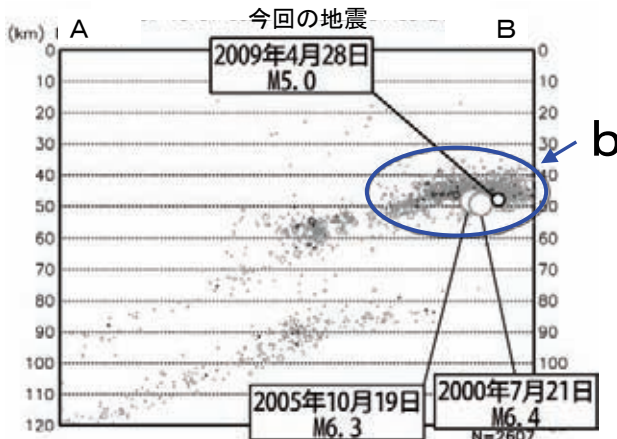
4 月 28 日 茨城県沖の地震

震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 2.0$ ）

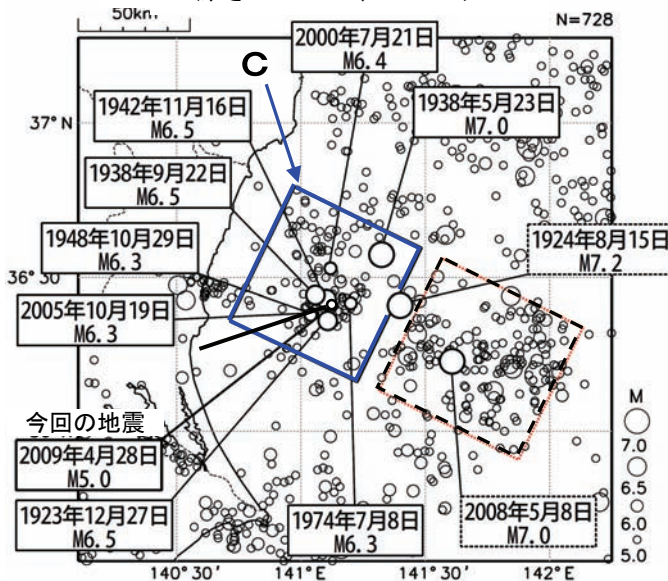
2009 年 1 月以降を濃く表示。発震機構解は全て CMT 解。



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日
深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$)

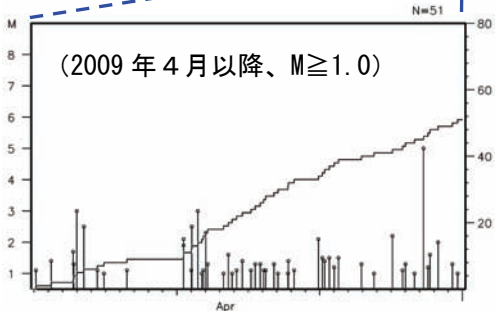
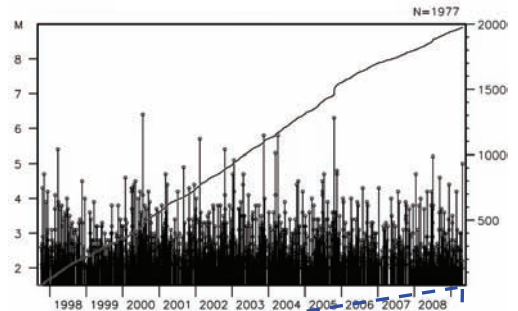


点線枠は地震調査委員会による「茨城県沖の一連の地震」の想定震源域。点線枠の吹き出しの地震は「茨城県沖の一連の地震」に含まれる。

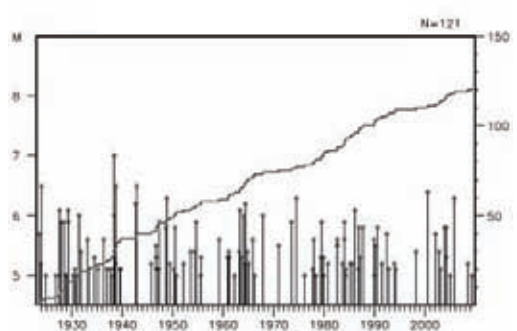
2009 年 4 月 28 日 06 時 37 分に茨城県沖の深さ 48km で $M 5.0$ (最大震度 3) の地震が発生した。発震機構 (CMT 解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。今回の震源はプレート境界付近の地震活動が活発な領域の中に位置し、付近では $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。最近では、2005 年 10 月 19 日に $M 6.3$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生し、茨城県と千葉県で負傷者各 1 名の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923 年 8 月以降、今回の震央周辺では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1938 年 5 月 23 日には $M 7.0$ の地震が発生し、この地震により津波を観測 (検潮所における最大の高さは小名浜の 41cm) するとともに、福島県と茨城県で建物等に被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図、回数積算図



領域 c 内の M-T 図、回数積算図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

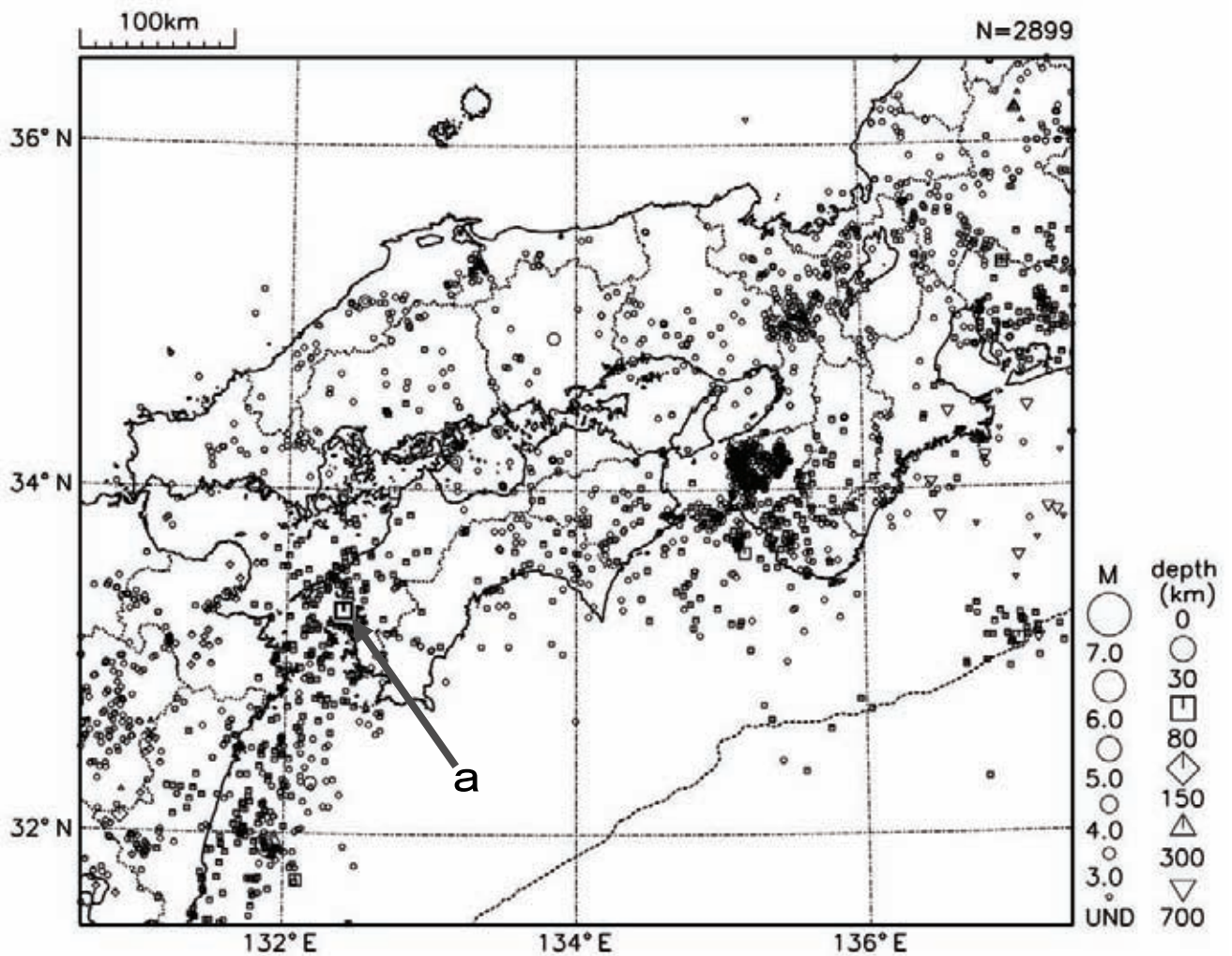


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2009年4月1日～4月30日）

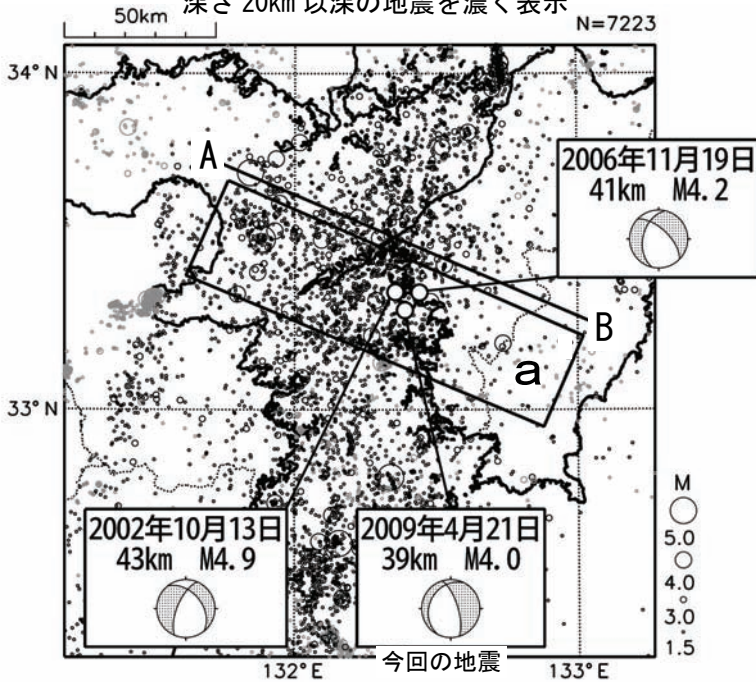
[概況]

4月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（3月は12回）であった。4月中の主な活動は次のとおりである。

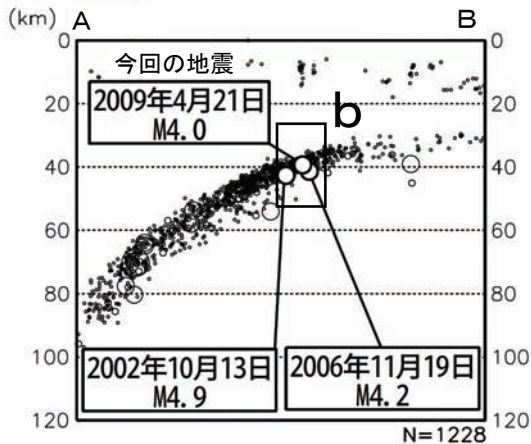
21日20時43分、豊後水道の深さ39kmでM4.0の地震（図6中のa）があり、愛媛県西予市、高知県宿毛市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、山口県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測した（p.15参照）。

4 月 21 日 豊後水道の地震

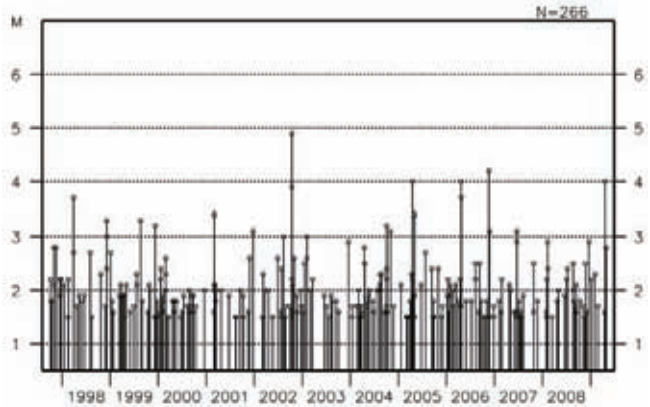
震央分布図 (1997 年 10 月 1 日~2009 年 4 月 30 日、
深さ 0~120km、M \geq 1.5)
深さ 20km 以深の地震を濃く表示



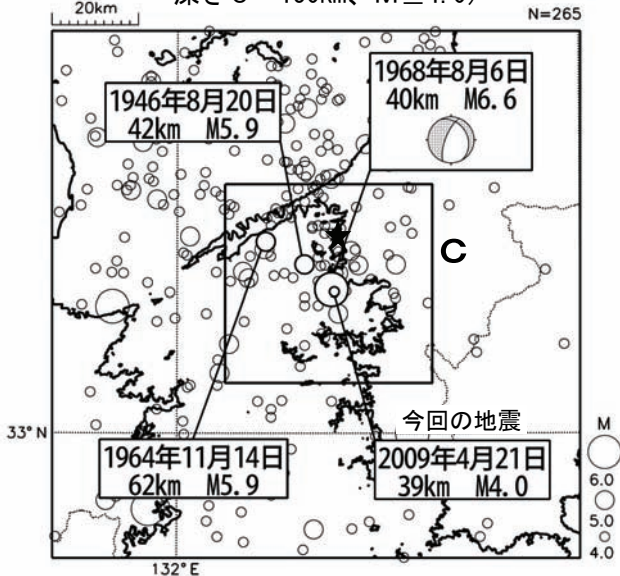
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



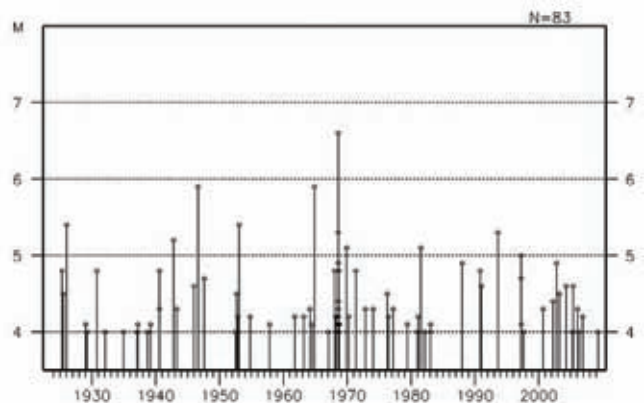
領域 b 内の M-T 図



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日~2009 年 4 月 30 日、
深さ 0~150km、M \geq 4.0)



領域 c 内の M-T 図



○九州地方の地震活動

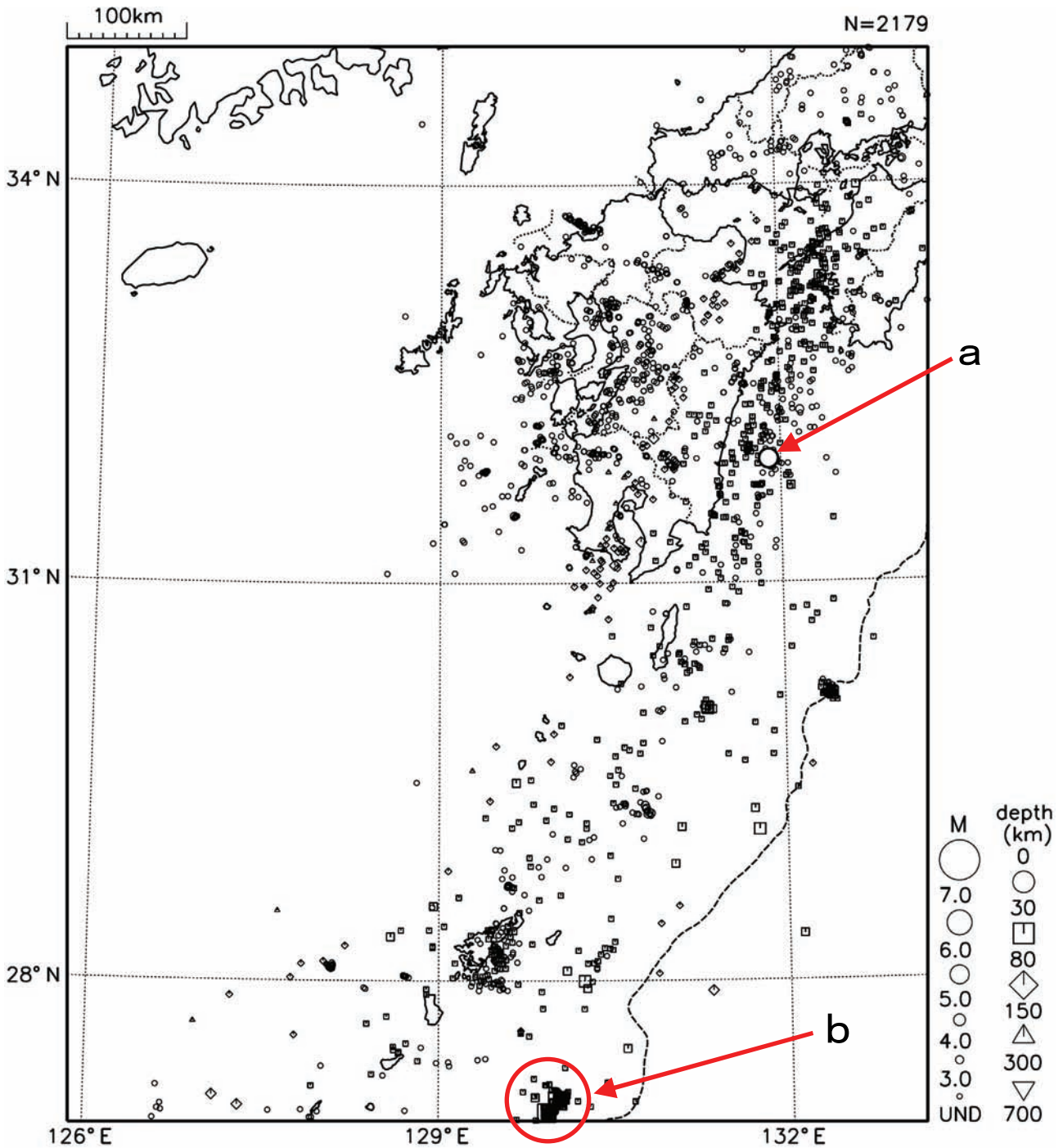


図7 九州地方の震央分布図（2009年4月1日～4月30日）

[概況]

4月に九州地方で震度1以上を観測した地震は16回（3月は29回）であった。4月中のおもな活動は次のとおりである。

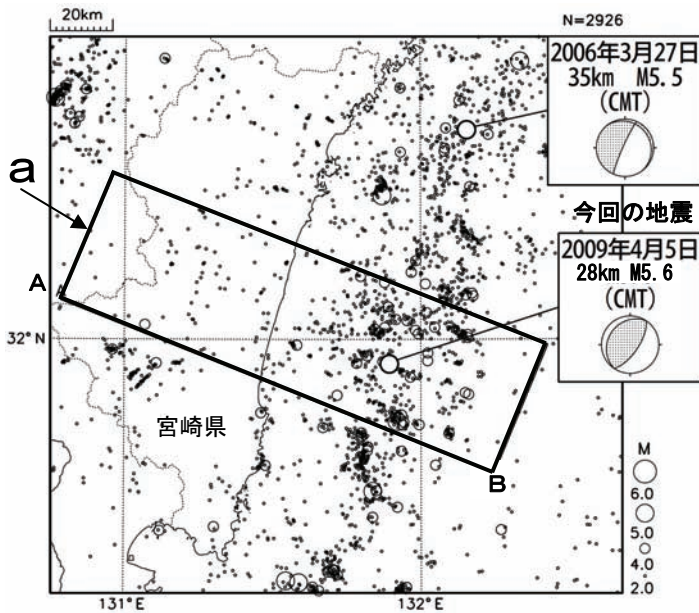
5日18時36分に日向灘の深さ28kmでM5.6の地震（図7中のa）が発生し、宮崎市で震度4を観測したほか、九州地方及び中国・四国地方の一部で震度3～1を観測した（p.17参照）。

10日ころから奄美大島近海（徳之島の南東約100km；図7中のb）で、M5.1の地震（20日16時22分、鹿児島県の奄美諸島で震度1）を最大とするまとまった地震活動があった。

4 月 5 日 日向灘の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$)

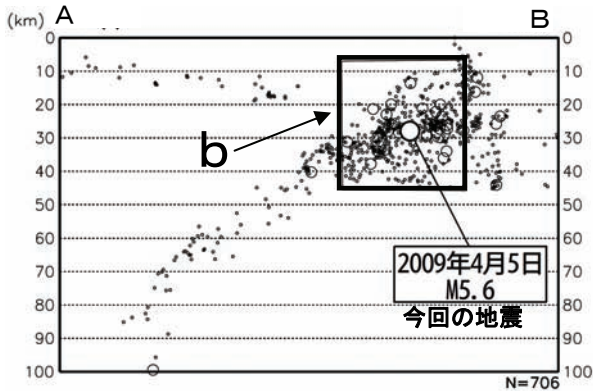


4 月 5 日 18 時 36 分に日向灘の深さ 28km で M5.6 (最大震度 4) の地震が発生した。今回の地震の発震機構 (CMT 解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動は、本震直後の数時間は活発であったが (震度 1 を観測した地震 (M4.3) 1 回を含む)、その後は次第に収まった。

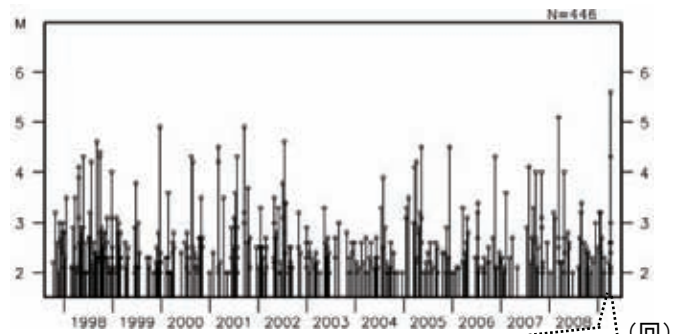
日向灘を震源とする地震で震度 4 以上を観測したのは、2006 年 3 月 27 日に日向灘北部で発生した M5.5 の地震 (深さ 35km、最大震度 5 弱) 以来である。

1923 年 8 月以降の日向灘周辺 (領域 c) の地震活動をみると、M6.5 以上の地震は数年から十数年間隔で発生している。最近では 1996 年 10 月 19 日に M6.9 の地震、同年 12 月 3 日に M6.7 の地震が発生し、ともに最大震度 5 弱を観測し、最大で十数センチの津波を観測している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

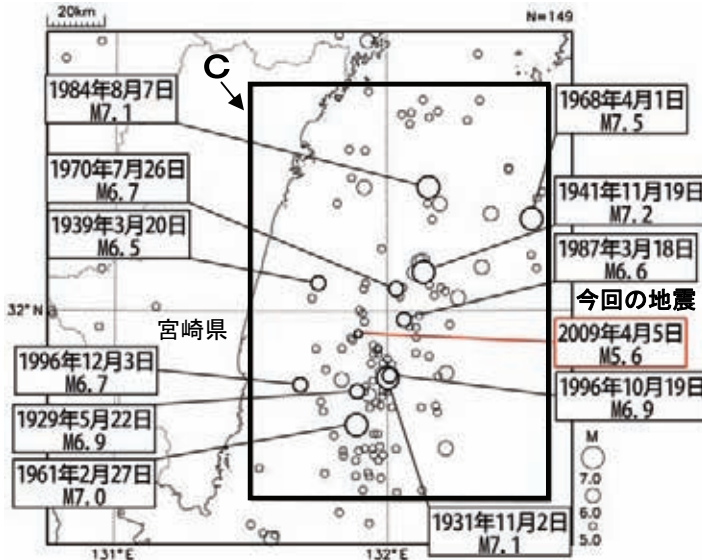


領域 b 内の M-T 図

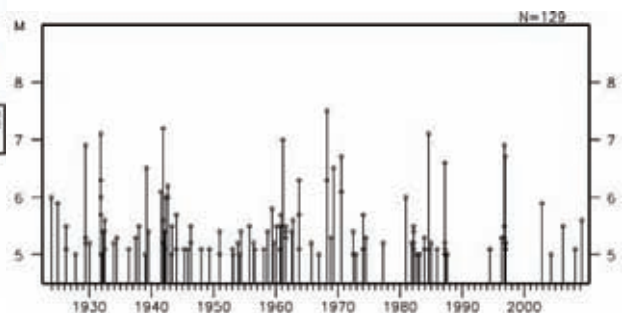


震央分布図

(1923 年 8 月 1 日～2009 年 4 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

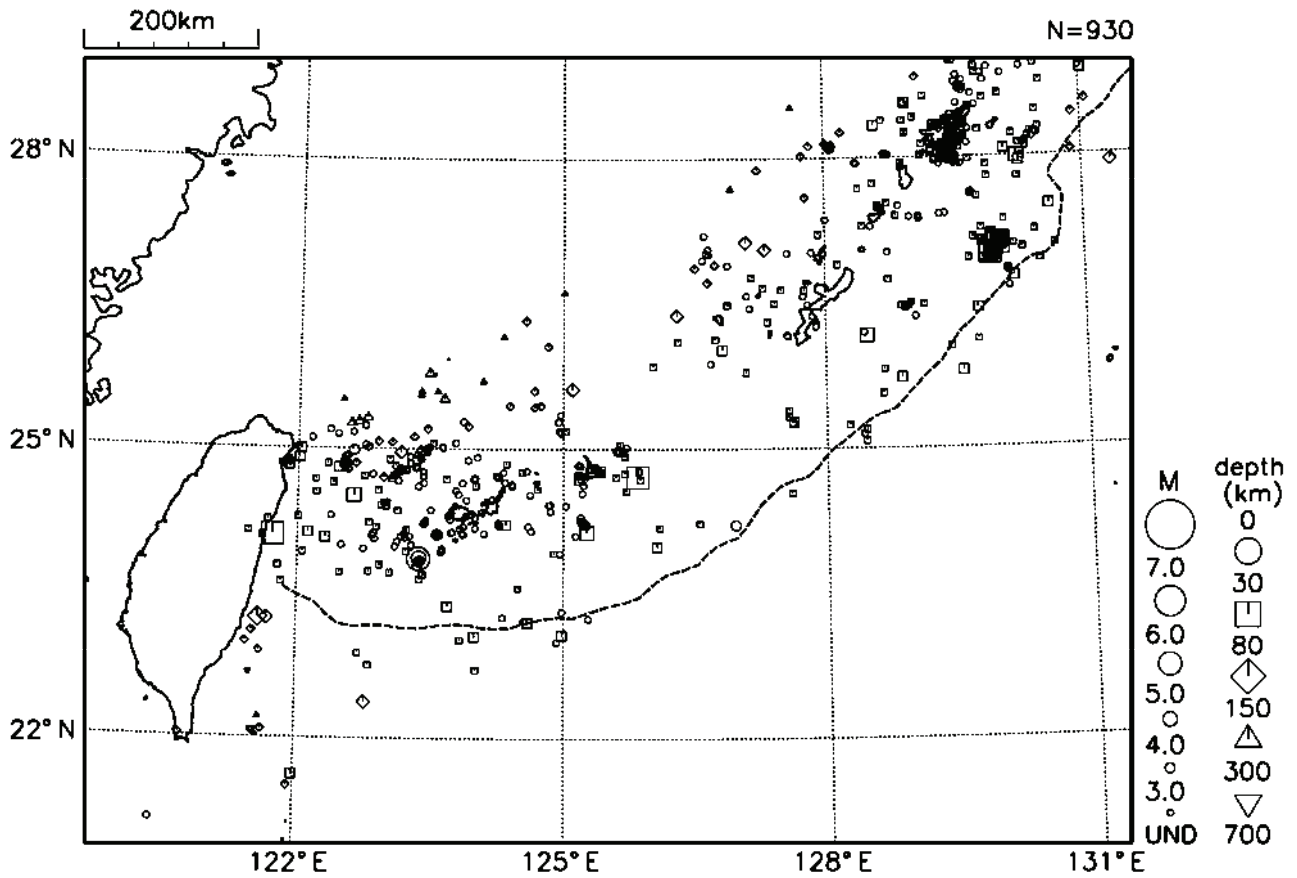


図 8 沖縄地方の震央分布図（2009 年 4 月 1 日～ 4 月 30 日）

[概況]

4 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 10 回（3 月は 4 回）であった。
4 月中、特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

特に目立った地震活動はなかった。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

4月27日に気象庁において第275回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図2～図5）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

1. 地震活動の状況

全般的には顕著な地震活動はありません。

静岡県中西部のフィリピン海プレート内ではマグニチュード3.5以上の地震の発生頻度が引き続き少ない状態が続いています。また、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内でも地震の発生頻度が引き続き少ない状態になっています。一方、静岡県中西部の地殻内では地震活動がやや活発な状態が続いています。その他の地域では概ね平常レベルです。

2. 地殻変動の状況

全般的には注目すべき特別な変化は観測されていません。

GPS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

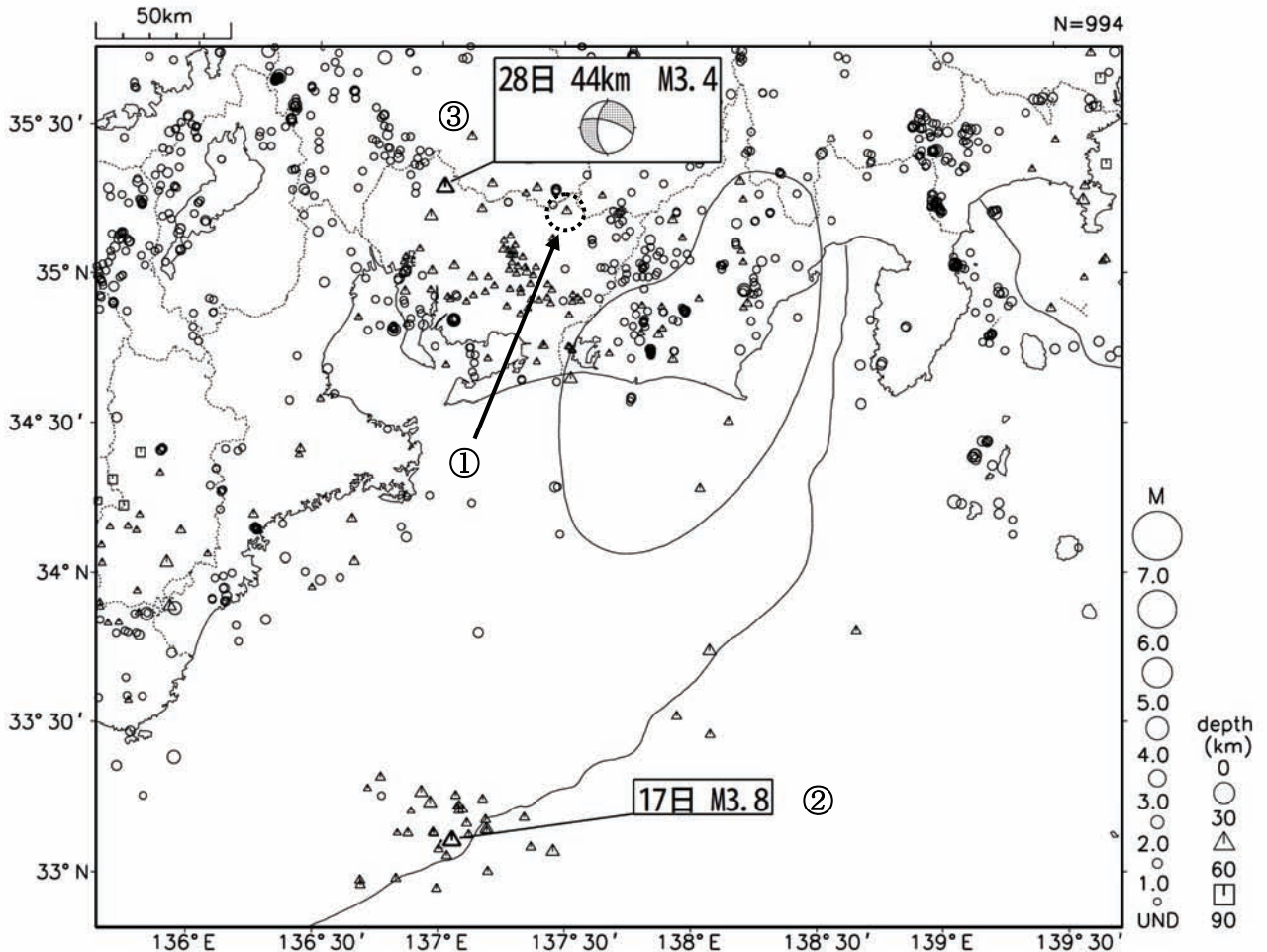


図1 震央分布図（2009年4月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

① 13日4時9分から5時8分にかけての約1時間、愛知県西部で小規模な深部低周波地震活動が観測された。

② 17日21時49分、三重県南東沖でM3.8の地震が発生した。この地震は、2004年9月5日に東海道沖（紀伊半島南東沖）で発生したM7.

4 の地震の余震域内で発生した（平成 16 年 9 月地震・火山月報（防災編）を参照）。

- ③ 28 日 5 時 34 分、愛知県西部の深さ 44km で M 3.4 の地震が発生し、最大震度 1 を観測した。発震機構は北東－南西方向に張力軸を持つ型

で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」（図 1）と「固着域」（図 2）

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」（図 2）

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくり滑り（長期的スロースリップ）」（図 2、図 3）

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2001 年頃～2005 年頃にかけて発生していたとされているゆっくりとした滑り。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 166 市町村（平成 21 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」（前頁参照）を発表している。

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2009年4月22日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	4	4	4	2	3	1	1	2
短期地震回数 (平均)	6 (6.31)	6 (5.91)	12 (13.23)	8 (14.08)	1 (2.46)	1 (5.99)	0 (3.53)	3 (6.06)
中期活動指数	6	4	4	2	2	0	0	2
中期地震回数 (平均)	25 (18.93)	19 (17.74)	41 (39.68)	32 (42.24)	2 (4.93)	3 (11.99)	1 (7.06)	8 (12.12)

- * Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M \geq 1.1、駿河湾：M \geq 1.4
- * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$
 駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- * 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間
 浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- * 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。
 静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、
 浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
 ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

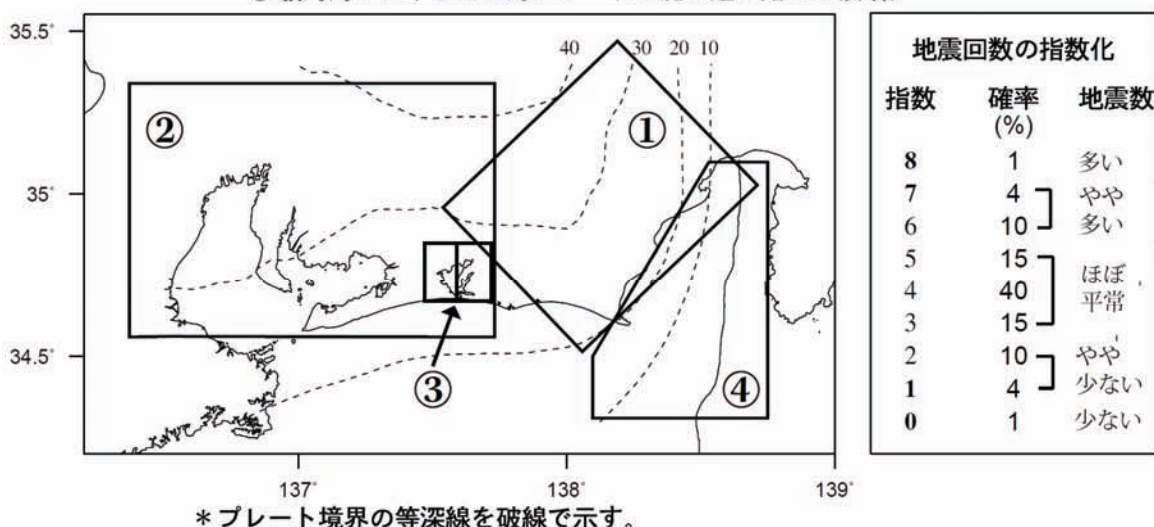


図2 東海地域の地震活動指数

中期活動指数を見ると、静岡県中西部の地殻内で活動指数がやや高く、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では低い。

東海地域の地震活動の状況

静岡県中西部のフィリピン海プレート内の地震回数積算図・地震活動経過図

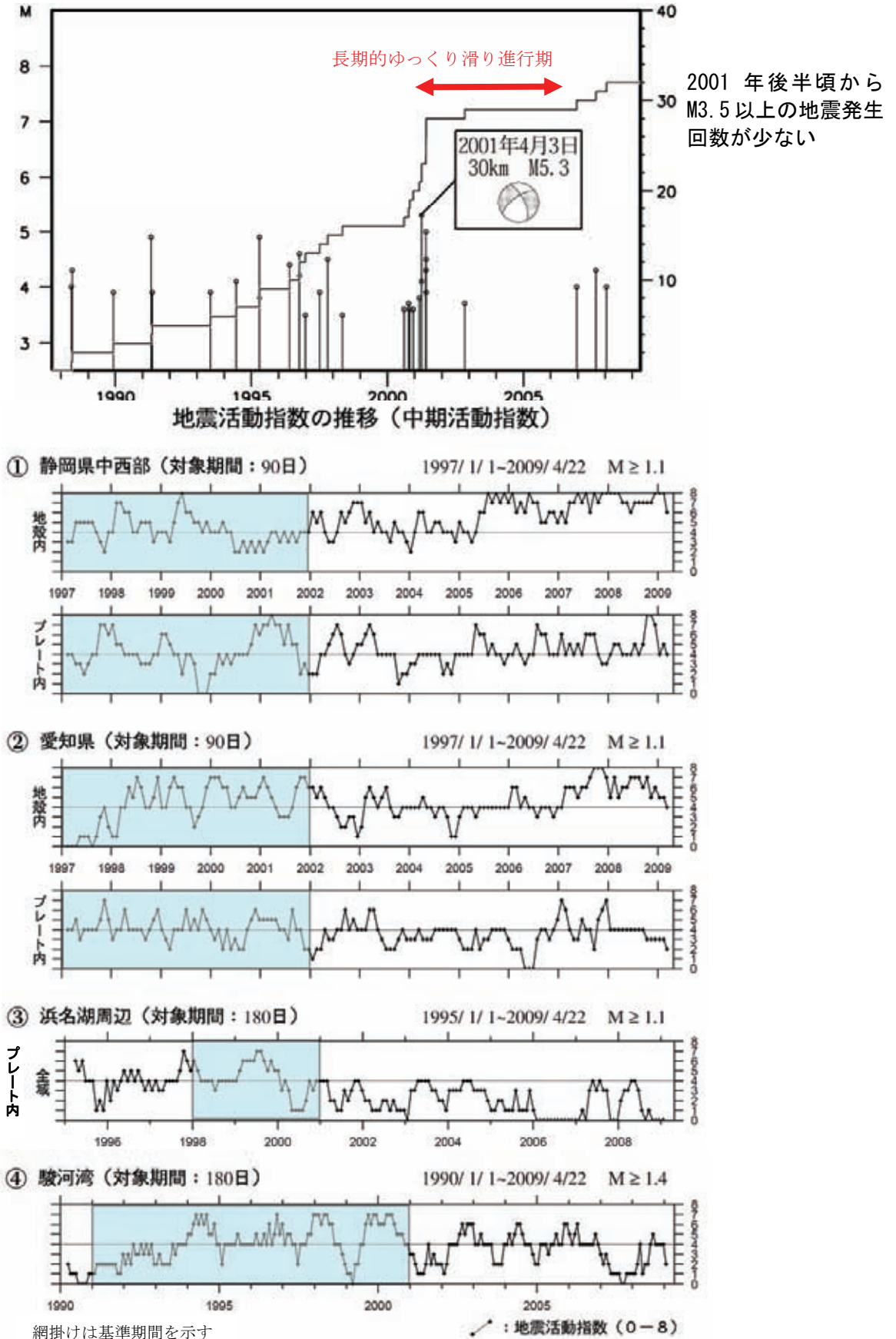


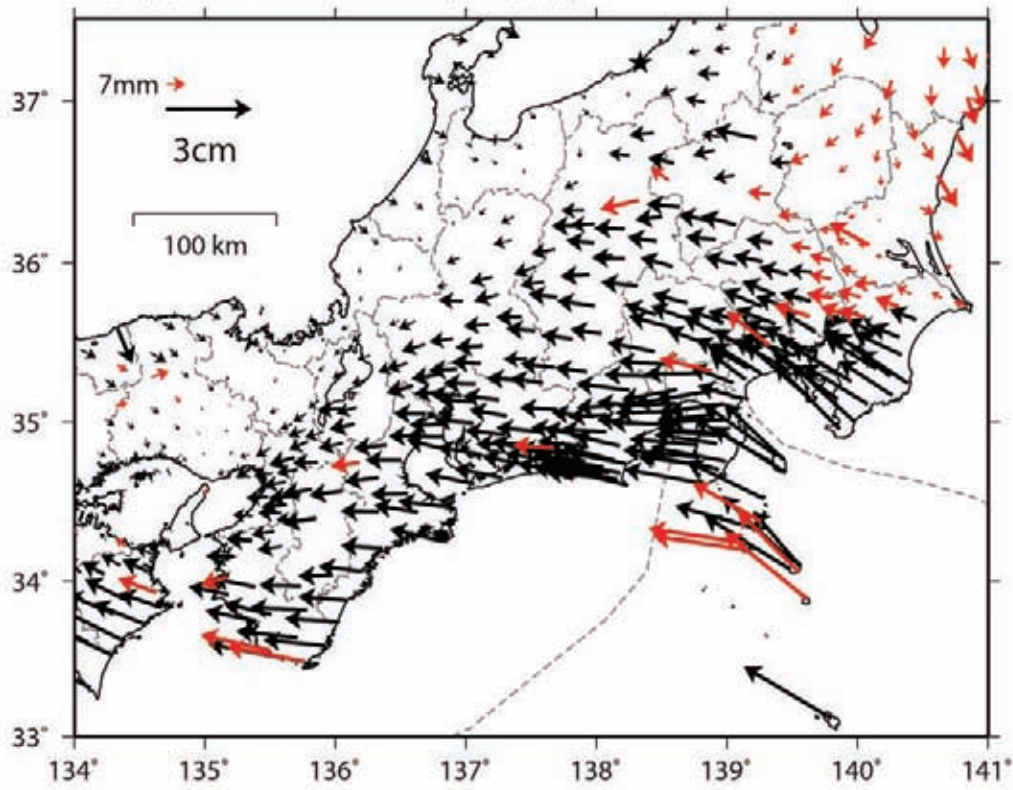
図3 東海地域の地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では地震活動がやや活発な状態が続いている。また、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度が引き続き少ない状態になっている。その他の地域では概ね平常レベルである。

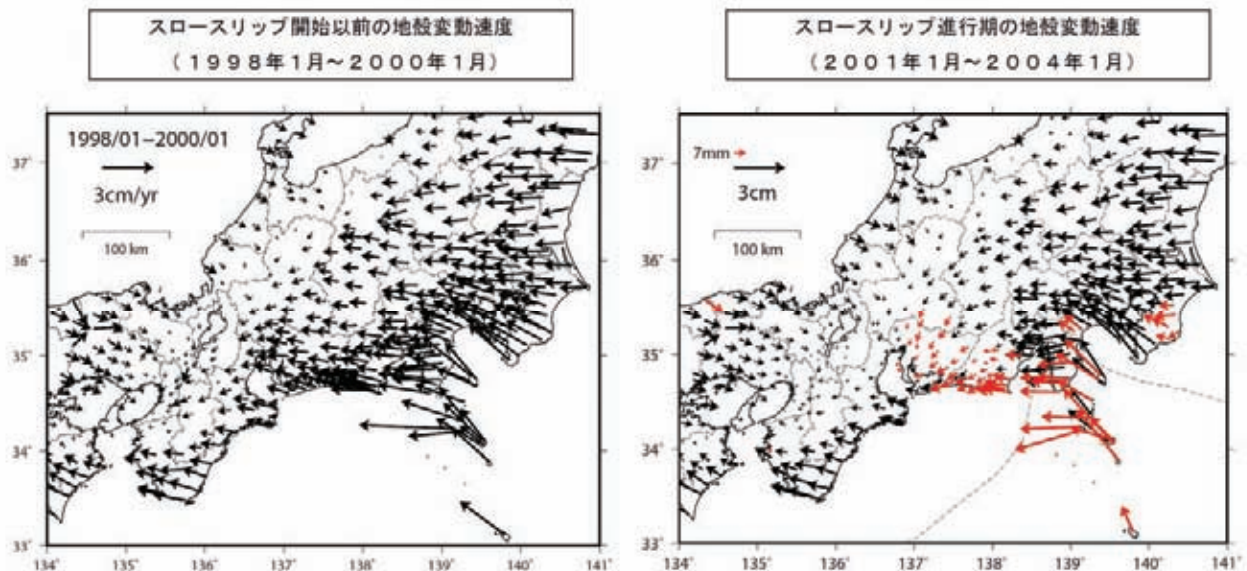
東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大潟固定】 （2008 年 4 月～2009 年 4 月）

基準期間：2008/3/26 - 2008/4/4 [F3：最終解]

比較期間：2009/3/26 - 2009/4/4 [F3：最終解]



・スロースリップ開始前の変動速度ベクトル（左下図）との差の絶対値が 7 mm 以上の変動ベクトルを赤矢印で表示している。



国土地理院資料

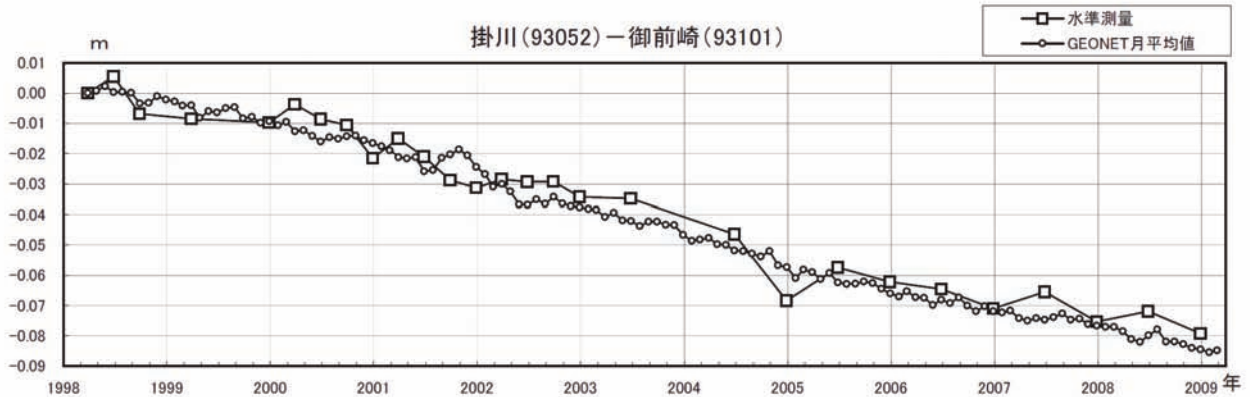
図4 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の最近の地殻変動

上図は、最近（2009年3月26日～2009年4月4日）のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである（新潟県のGPS観測点大潟を固定）。長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）開始前の変動速度ベクトルとの差の絶対値が7mm以上の変動ベクトルを、赤矢印で表示している。東海地域には西～北西方向に変動する領域が見られ、赤矢印はあまり見られない。これは、左下図の長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）開始以前の定常的な状態と最近の状態が似ていることを示している。関東地方に見られる赤矢印は、2008年5月8日の茨城県沖の地震や2008年7月19日の福島県沖の地震等の影響であると考えられる。

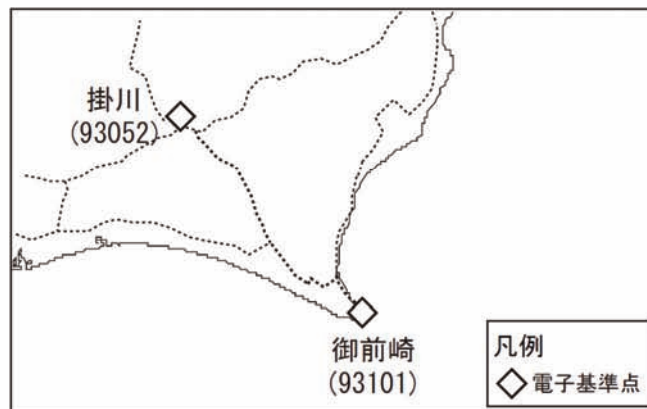
御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GPS 観測の比較

水準測量と GPS 観測の結果は、よく一致している。
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



位置図



国土地理院資料

図5 国土地理院のGPS観測結果および水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。GPS観測(○)および水準測量(□)による結果は良く一致しており、掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向が継続していることがわかる。

●日本の主な火山活動

7日、浅間山に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げた。

24日、桜島に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げた。

10日、雌阿寒岳に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げた。

また、草津白根山では山頂から概ね500mの範囲でごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、10日に噴火予報を切り替えた（噴火警戒レベル1（平常）継続）。

その他の火山で予報警報事項に変更はなかった。

4月30日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおり。

表1 4月30日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル* 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	浅間山、三宅島、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図1 4月30日現在、噴火警報発表中の火山

表 2 平成 21 年 4 月の警報、予報及び情報の発表履歴（定期発表以外）

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 91～99 号	1 日～9 日 16 時	地震・噴煙等火山活動の状況
		噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)	噴火予報（警報解除）	10 日 10 時 00 分
		火山活動解説資料	10 日 10 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況及び 7 日に行った上空からの観測結果
草津白根山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)	噴火予報	10 日 14 時 00 分	山頂から概ね 500m の範囲で、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、噴火予報を切替え（噴火警戒レベル 1（平常）継続）
		火山活動解説資料	10 日 14 時 00 分	湯釜火口内の北壁や水釜火口の北から北東側にあたる斜面での熱活動の経過
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報第 99 号	1 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
		解説情報第 100～101 号	2～3 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 102 号	4 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
		解説情報第 103～104 号	5～6 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	7 日 13 時 00 分	山頂火口から 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ
		解説情報第 105 号	7 日 16 時 00 分	噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ
		解説情報第 106～107 号	8～9 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 108 号	10 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
		解説情報第 109～111 号	11～13 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 112 号	14 日 16 時 00 分	14 日 07 時 32 分に発生したごく小規模な噴火の状況
		解説情報第 113～120 号	15～22 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 121 号	23 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況及び 22 日に行った上空からの観測結果
		解説情報第 122 号	24 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 123 号	25 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
解説情報第 124～128 号	26～30 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況		
三宅島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 1 号	1 日 17 時 20 分	1 日 16 時 17 分頃のごく小規模な噴火の状況
		火山活動解説資料	1 日 19 時 30 分	
		解説情報第 2 号	18 日 07 時 00 分	18 日 01 時 06 分頃に発生したと推定されるごく小規模な噴火の状況

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 27 号	2 日 16 時 00 分	噴火の状況を含む火山活動の状況
		解説情報第 28 号	3 日 10 時 50 分	噴火の状況を含む火山活動の状況
		解説情報第 29～32 号	3～6 日 16 時 00 分	噴火の状況を含む火山活動の状況
		解説情報第 33 号	9 日 16 時 05 分	9 日 15 時 31 分の噴火の状況
		火山活動解説資料	9 日 19 時 00 分	
		火山活動解説資料	10 日 16 時 20 分	9 日 15 時 31 分の噴火の状況と 10 日 に行った現地調査及び上空からの観 測結果
		解説情報第 34 号	10 日 16 時 25 分	
	解説情報第 35～37 号	13 日、17 日、20 日 16 時 00 分	噴火の状況を含む火山活動の状況	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	24 日 14 時 00 分	昭和火口及び南岳山頂火口から 2 k m 程度の範囲に影響を及ぼす噴火の 可能性が低くなったと考えられ、噴 火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げ
		解説情報第 38 号	24 日 16 時 00 分	噴火の状況を含む火山活動の状況及 び噴火警戒レベル引き下げ

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

各火山の 4 月の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳 めあかんだけ **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**
10 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引下げ

ポンマチネシリ火口の噴煙は 2008 年 11 月の噴火前に比べてやや多い状態で推移したが、次第に弱まってきている。火山性地震は 1 月下旬以降減少傾向となり、4 月は一日当たり数回以下で推移した。火山性微動は 3 月 19 日以降発生していない。

7 日に陸上自衛隊第 5 旅団の協力により実施した上空からの観測では、ポンマチネシリ火口の噴煙活動は前回の観測（1 月 22 日第一管区海上保安本部の協力）に比べて低下が認められた。

雌阿寒岳の火山活動は概ね落ち着いた状態となり、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったことから、10 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げた。

その後、17 日に実施した上空からの観測（北海道開発局の協力）では、ポンマチネシリ火口の状況に変化はなかった。

雌阿寒岳では火口内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性があるため、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要である。

十勝岳 としかただけ **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で経過し、17 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では火口や地熱域の状況に特段の変化はなかった。

GPS 観測によると、62-2 火口浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が 2006 年以降継続している。

62-2 火口周辺では今後の火山活動の推移に注意が必要である。

樽前山 たるまえさん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動や噴煙活動は低調な状態で、広域の地殻変動も特段の変化なかった。

溶岩ドームの A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いていると推定される。また、GPS 観測によると、山頂火口原内の溶岩ドームの地下浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が 2006 年以降継続している。

山頂溶岩ドーム周辺では今後の火山活動の推移に注意が必要である。

倶多楽 くつたら **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると大正地獄では引き続きごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られている。

有珠山 うすざん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に異常な変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

北海道駒ヶ岳 ほっかいどうこまがたけ

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

恵山 えさん **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は概ね低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【東北地方】

岩木山 いわきさん **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

岩手山 いわてさん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

栗駒山 くりこまやま **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

吾妻山 あづまやま **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

大穴火口の噴気は、高さ 50～200m 程度とやや活発な状況が続いている。

地震活動、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られるので警戒が必要である。

安達太良山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

磐梯山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

那須岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

草津白根山

[噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)] 10 日に噴火予報を切替え (噴火警戒レベル 1、(平常) 継続)

湯釜火口内の北壁や水釜火口の北から北東側にあたる斜面でわずかな熱活動の高まりがみられている。今後これらの活動がさらに高まった場合には、山頂火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性あることから、10 日 14 時 00 分に噴火予報を切り替えた (噴火警戒レベル 1 (平常) 継続)。

東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は引き続き高温の状態が継続している。

山頂から概ね 500m の範囲ではごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事

があるため注意が必要である。

浅間山

[火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)] 7 日に噴火警戒レベルを 3 (入山規制) から 2 (火口周辺規制) に引下げ。

火山性地震はやや多い状態が続いているが、2 月 2 日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないことや、二酸化硫黄の放出量も減少してきていること、傾斜計による地殻変動観測では特段の変化は認められないことなどから、山頂火口から 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、7 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3 (入山規制) から 2 (火口周辺規制) に引き下げた。

14 日 07 時 32 分頃及び 30 日 20 時 02 分頃にごく小規模な噴火が発生したが、山麓で降灰は確認されなかった。

山頂火口からの噴煙量は 3 月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上 100~500m で推移した。22 日に陸上自衛隊の協力を得て実施した上空からの観測では、山頂火口内の火口底中央部とその周辺に高温領域¹⁾が引き続き認められるなど、依然として熱活動の高まった状態が続いている。

3 日、8 日、13 日及び 24 日に実施した現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量²⁾は 3 月以降減少しているものの、2008 年 7 月以前の状態と比べ、引き続き多い状態が続いている。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いている。

傾斜計では火山活動による特段の変化は観測されていない。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒

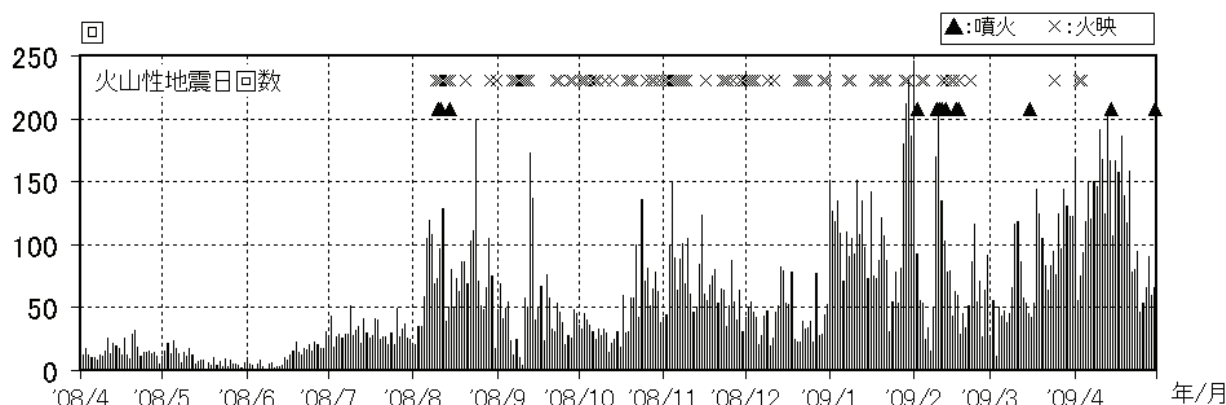


図 2 浅間山 火山性地震の日回数 (2008 年 4 月 1 日~2009 年 4 月 30 日)

- 1) 赤外線映像装置または赤外放射温度計による測定。これらは物体が放射する赤外線を検知して温度分布等を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) 小型紫外線スペクトロメータシステム (COMPUSS) による。COMPUSS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、それより小さく風の影響を受ける噴石は、例えば「風の影響を受ける小さな噴石」という表現を用いる。

が必要である。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。また、火山ガス放出量の多い状態が続いているので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要である。

新潟焼山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、28 日に実施した現地調査では、噴気の状態に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

御嶽山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

白山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

富士山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

箱根山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動は低調な状態で、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは大涌谷の噴気活動に特段の変化はなく、その他の観測データに特段の変化はなかった。

箱根山では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆東部火山群 【噴火予報（平常）】

10日から11日にかけて、熱海市網代付近の深さ約 4 km を震源とする地震がややまとまって発生した。最大の地震は10日02 時12 分に発生したマグニチュード⁴⁾ 2.2（暫定値）の地震で、熱海市泉、熱海市網代で震度 1 を観測した。

地震活動は低調な状態で、噴煙等の表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆大島 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

23 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布¹⁾ に前回（2009 年 3 月 16 日）の観測と比べて特段の変化はなかった。

GPS、光波距離計⁵⁾ 及び体積歪計⁶⁾ による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続している。

伊豆大島では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

三宅島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

1 日16 時17 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 600m まで上がり東に流れるのを観測した。1 日夕方に行った現地調査では、山頂火口から約 3 km

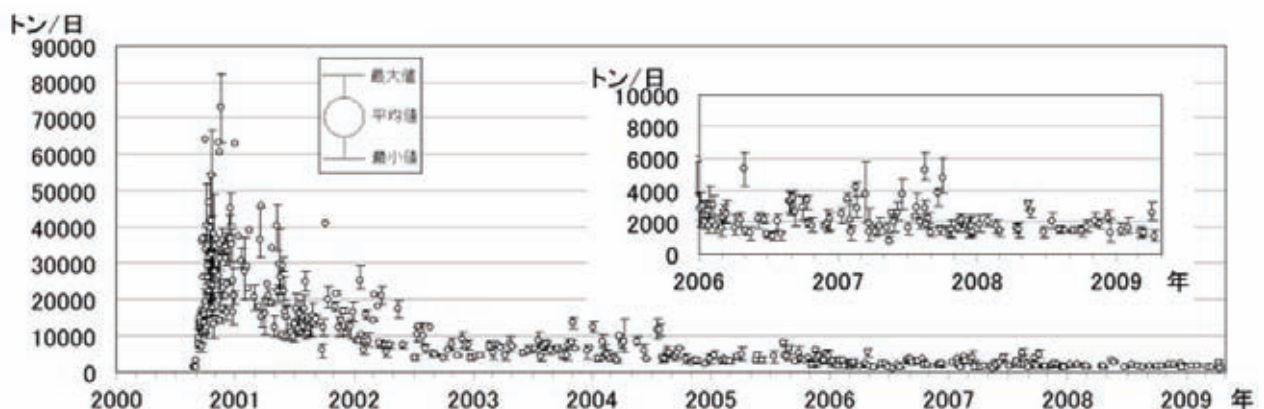


図3 三宅島 二酸化硫黄の放出量⁷⁾ の推移（2000 年 8 月～2009 年 4 月）
海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て観測を実施。

4) マグニチュードは地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。
5) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。
6) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測される。
7) 三宅島では、2005 年 4 月までは紫外線関連スペクトロメータ（COSPEC）、同年 5 月以降は小型紫外線スペクトロメータシステム（COMPUSS）を用いて観測した二酸化硫黄（SO₂）の放出量の推移を示している。

の島の東側で微量の降灰が確認された。また、18日01時06分頃、振幅のやや大きな地震が発生した。噴煙の状況は雲のため不明であったが、18日早朝に行った現地調査の結果、山麓の南東から南側にかけて微量の降灰を確認したことから、地震発生と同時にごく小規模な噴火が発生したと推定される。

噴煙高度は火口縁上概ね300mで推移した。

7日及び13日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量⁷⁾は一日あたり800～3,200トンで、前期間（2008年3月、一日あたり1,000～1,700トン）と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

1日、11日、24日に振幅のやや大きな火山性地震が一時的に増加した。1日及び11日には火山性微動が観測されたが、いずれも振幅は小さくその他の観測データに特段の変化はなかった。

地磁気連続観測⁸⁾では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はなかった。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続している。

三宅島では、山頂火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要である。降雨時には土石流にも注意が必要である。

八丈島 はちじょうしま 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

硫黄島 いおうとう 【火口周辺警報（火口周辺危険）】

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過している。

国土地理院の観測によると、2006年8月以降みられている島全体が隆起する地殻変動は継続している。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

福岡ノ場 ふくとうおかのば 【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

21日に海上自衛隊が上空から行った観測によると、福岡ノ場付近では、湧出点付近で気泡を

伴う青白色及び乳白色の変色水が、そこから西方向には幅約90m、長さ約900mの黄褐色及び青緑色の変色水が確認された。

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

福岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では警戒が必要である。

【九州地方及び南西諸島】

九重山 くじゅうざん 【噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

阿蘇山 あそざん 【噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）】

現地調査で、中岳第一火口南側火口壁の噴気孔からごく微量の火山灰が時々確認され、23日及び30日には、火口の南西側や監視所駐車場横で微量の降灰が確認された。また夜間に行った現地調査で、同噴気孔からの火炎現象⁹⁾が観測された。いずれも火口内で発生した局所的な活動と考えられる。

1日及び15日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量²⁾は一日あたり300～600トンで前期間（2009年3月、一日あたり200～700トン）と同様、少ない状態で経過した。

中岳第一火口の湯だまりの表面温度や湯量に大きな変化はなかった。

地磁気連続観測⁸⁾による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられていたが、2008年以降はその増加傾向は鈍化しており、熱活動が高まっている傾向は認められない。

その他の火山活動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要である。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要である。

雲仙岳 うんぜんだけ 【噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

8) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。地下で温度上昇があると、熱源の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

9) 熱せられた噴出物が炎のように見える現象。

霧島山（新燃岳）**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内及び火口外西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性があるため、火山灰の噴出等に警戒が必要である。

霧島山（御鉢）**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

桜島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

24日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。

2日から10日かけて、昭和火口では噴火¹⁰⁾が64回発生し、そのうち41回が爆発的噴火¹¹⁾であった。南岳山頂火口では、噴火が3回発生した。

9日15時31分の昭和火口からの噴火では、噴煙が火口縁上4,000mを超えて南西方向に流れた。また、火砕流が昭和火口の東側約1kmのところまで流下し、大きな噴石が4合目（昭和火口から800～1,300m）まで飛散した。気象庁機動調査班（JMA-MOT）が桜島島内で行った現地調査では、東桜島町から桜島赤水町付近にかけて特に降灰の量が多く、野尻町（桜島火山砂防センター付近）では、火山灰に混じって直径1cm程度の小さな噴石（火山れき）を確認した。また、鹿児島市内及び周辺で行なった降灰調査や電話による聞き取り調査では、薩摩半島の広い範囲で降灰が確認された。鹿児島地方気象台（鹿児島市東郡元町）では、9日9時から10日9時までに243g/m²の降灰を観測した。

11日以降は、昭和火口及び南岳山頂火口で発生したのはいずれもごく小規模な噴火であった。また、火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続く、山体の膨張を示す地殻変動も観測されないことなどから、24日に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げた。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良（あいら）カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマ

グマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しているが、桜島直下にマグマが新たに移動したことを示す地殻変動は観測されていない。

昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降長期的には次第に活発化している傾向がみられる。

桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から1km程度の範囲に噴石を飛散させる噴火は発生すると予想されるため、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石³⁾（火山れき¹²⁾）に注意が必要である。降雨時には土石流に注意が必要である。

薩摩硫黄島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

火山性地震はやや多い状態が続いている。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上50～700mで推移した。

27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳山頂火口から断続的に白色の噴煙が上がっているのが確認された。

薩摩硫黄島では、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要である。

口永良部島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

継続時間の短い火山性微動がやや多い状態で経過した。

遠望カメラ（新岳火口の北西約3km）の観測では、新岳火口から白色噴煙が時々観測されており、19日の観測では火口縁上400mに達するなど、噴煙活動はやや活発な状態が続いている。また、27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、新岳火口から白色の噴煙が断続的に上がっているのが確認された。

GPS連続観測では、2008年9月以降認められていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、今年2月頃から鈍化している。

口永良部島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね1kmの範囲では大きな噴石³⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石³⁾にも注意が必要である。

10) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが1,000m以上）の噴火の回数を計数している。基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火としている。

11) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。

12) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

13) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。

諏訪之瀬島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火¹³⁾が 40 回発生した。27 日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、御岳火口から灰色の噴煙が断続的に上がっているのが確認された。

諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返している。

諏訪之瀬島では、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石³⁾に警戒が必要である。

資料 1 全国の主な活火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方及び南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

（2）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

●世界の主な地震

平成 21 年（2009 年）4 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

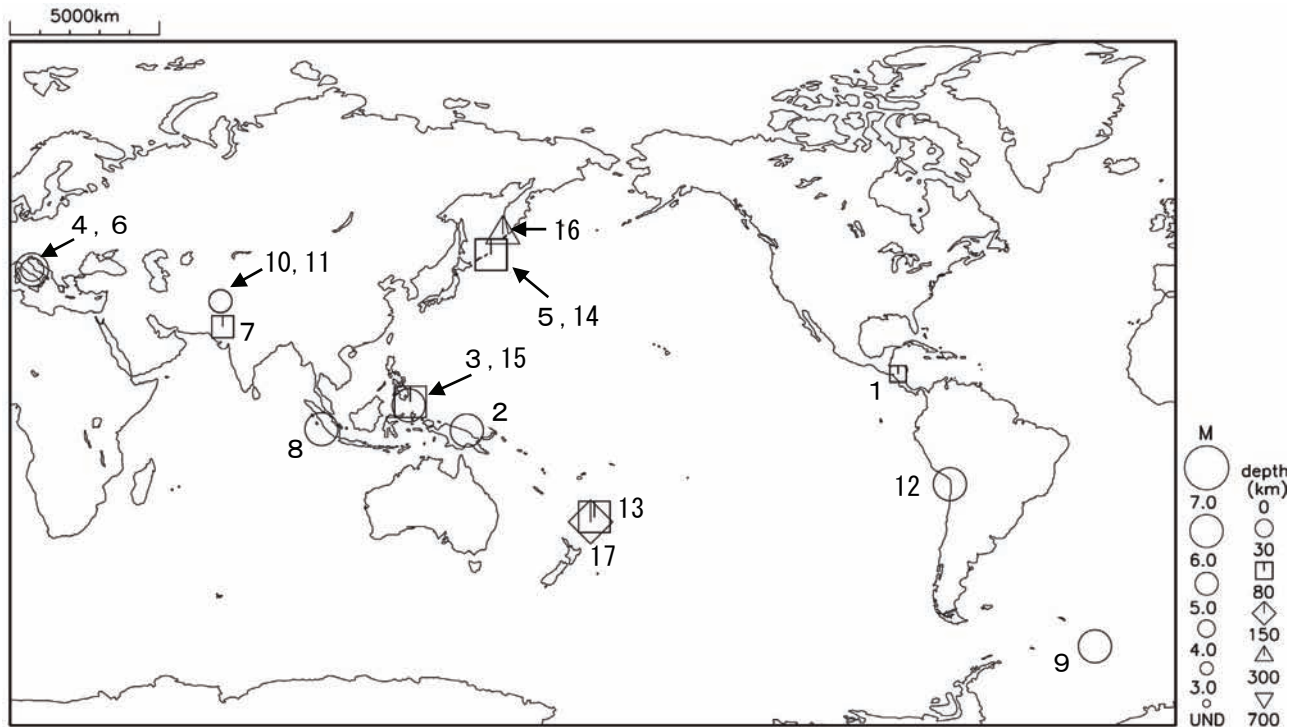


図 1 平成 21 年（2009 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは USGS による mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、及び Global CMT による Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

*** : 日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表 1 平成 21 年（2009 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考（被害状況など）
1	04月01日02時50分	N13° 27.1'	W 86° 03.0'	35	4.3			ニカラグア	住家被害13棟以上
2	04月01日12時54分	S 3° 30.5'	E144° 11.5'	10	5.9	6.5	6.4	パプアニューギニア、ニューギニア北岸	
3	04月04日14時31分	N 5° 08.9'	E127° 11.9'	48	6.1	5.8	6.3	フィリピン諸島	
4	04月06日10時32分	N42° 20.0'	E 13° 20.0'	9	5.9	6.2	6.3	イタリア中央部	死者295人以上、負傷者1000人以上、建物被害15000棟など（p.38～39参照）
5	04月07日13時23分	N46° 00.4'	E152° 11.5'	30	6.5	(6.7)	6.9	千島列島	NWPTA発表（p.7参照）
6	04月08日02時47分	N42° 20.7'	E 13° 27.0'	17	5.4		5.5	イタリア中央部	No.4の余震。死者1人、建物被害
7	04月09日10時46分	N27° 07.5'	E 70° 44.2'	44	5.2			インド-パキスタン国境	負傷者2人、住家被害数棟
8	04月16日05時01分	S 3° 07.0'	E100° 28.5'	20	6.1		6.4	インドネシア、スマトラ南部	
9	04月16日23時57分	S60° 11.2'	W 26° 50.7'	20			6.7	サウスサンドウィッチ諸島	
10	04月17日06時27分	N34° 11.2'	E 70° 03.4'	7	5.5			アフガニスタン南東部	死者19人以上、負傷者51人以上、住家被害200棟以上など
11	04月17日08時42分	N34° 07.3'	E 70° 03.0'	7	5.1			アフガニスタン南東部	
12	04月17日11時08分	S19° 34.6'	W 70° 27.1'	25	5.8	5.8	6.1	チリ北部沿岸	
13	04月18日11時03分	S28° 55.1'	W177° 26.5'	65	6.0		5.7	ケルマデック諸島	
14	04月19日04時17分	N45° 59.4'	E152° 04.4'	30	6.3	(6.5)	6.6	千島列島	(p.7参照)
15	04月19日14時23分	N 4° 07.8'	E126° 40.5'	25	5.9	5.8	6.1	インドネシア、タラウド諸島	
16	04月21日14時26分	N50° 49.5'	E155° 00.5'	152	6.0		6.2	千島列島	
17	04月26日09時06分	S30° 18.4'	W178° 35.4'	132	5.5		6.1	ケルマデック諸島	

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 21 年 5 月 7 日現在）。ただし、Mw は Global CMT による。また、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 震源時は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
- ・ NWPTA は気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

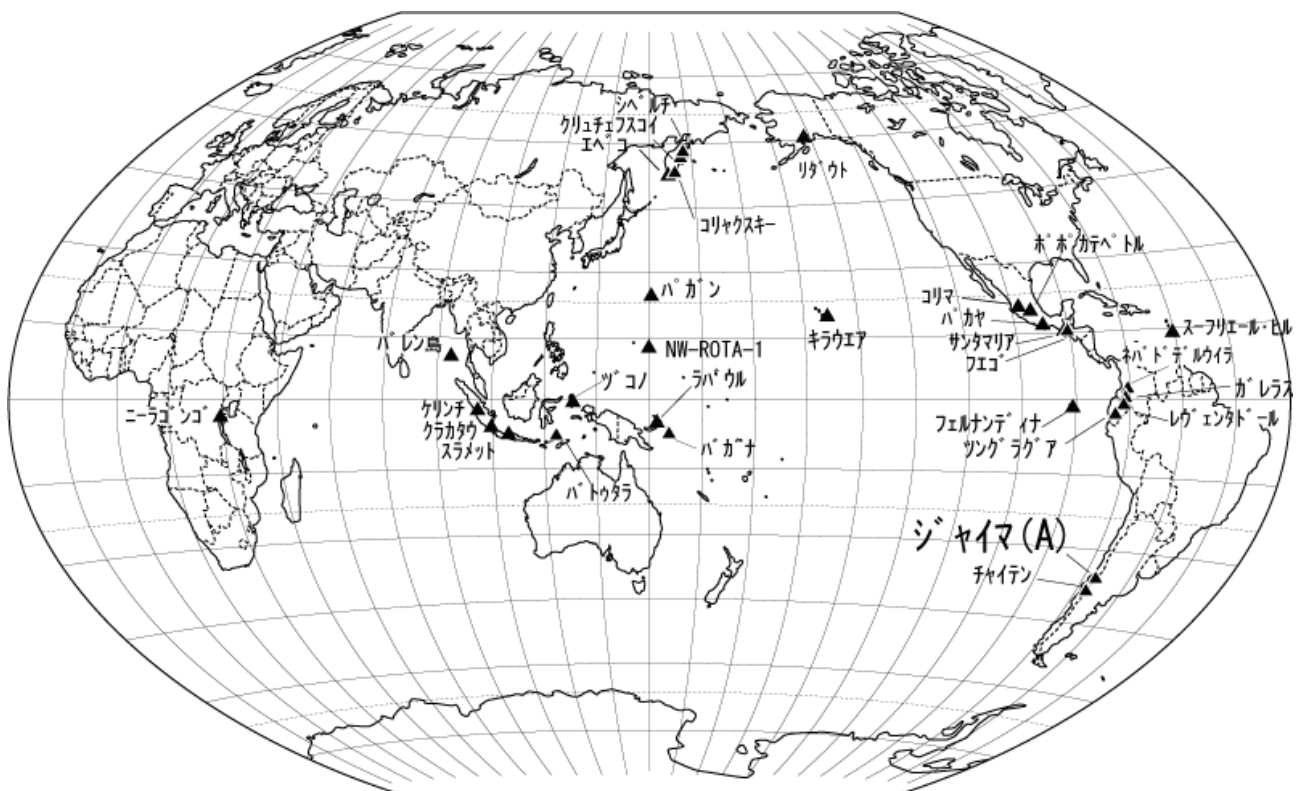
● 世界の主な火山活動

平成 21 年（2009 年）4 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

ジャイマ（チリ）（図中A）

4 日から 7 日にかけて活発な噴火活動があり、ジャイマから東にあるヴェルデ湖では、激しい降灰が報告されている。また、溶岩は西に 1 km 流れた。現地では、土石流の危険性が高い地域の住民に避難を促し、71 人が避難した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館のGVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



※NW-ROTA-1は海底火山

●特集. 2009 年 4 月 6 日に発生したイタリア中部の地震

<2009 年 4 月 6 日 10 時 32 分（日本時間） 北緯 42° 20.0′ 東経 13° 20.0′ 深さ 9 km mb5.9 Ms6.2 Mw6.3>

*1 震源要素、実体波マグニチュード mb、表面波マグニチュード Ms は米国地質調査所（以下 USGS と表記）による。

*2 モーメントマグニチュード Mw は Global CMT による。

（1）概要

2009 年 4 月 6 日 10 時 32 分頃（日本時間）、イタリア中部（首都ローマの北東約 90km）で Mw6.3 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁 CMT 解）は北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

震源に近いラクイラ周辺では、多数の建物が崩壊し、死者が 295 人以上、負傷者は 1,000 人以上に達しているほか、55,000 人以上が家を失ったとの情報がある。また、ローマやナポリなどでも揺れが観測された（5 月 7 日現在、USGS による）。

イタリアはユーラシアプレートとアフリカプレートとのプレート境界に近く、地震活動や火山活動が活発である。今回の地震の震源周辺では 1915 年 1 月 13 日に M7.0 の地震が発生し、死者 32,610 人などの被害が発生している。また、1980 年 11 月 23 日にも M6.7 の地震が発生し、死者 2,483 人などの被害が発生している（表 3-1）。

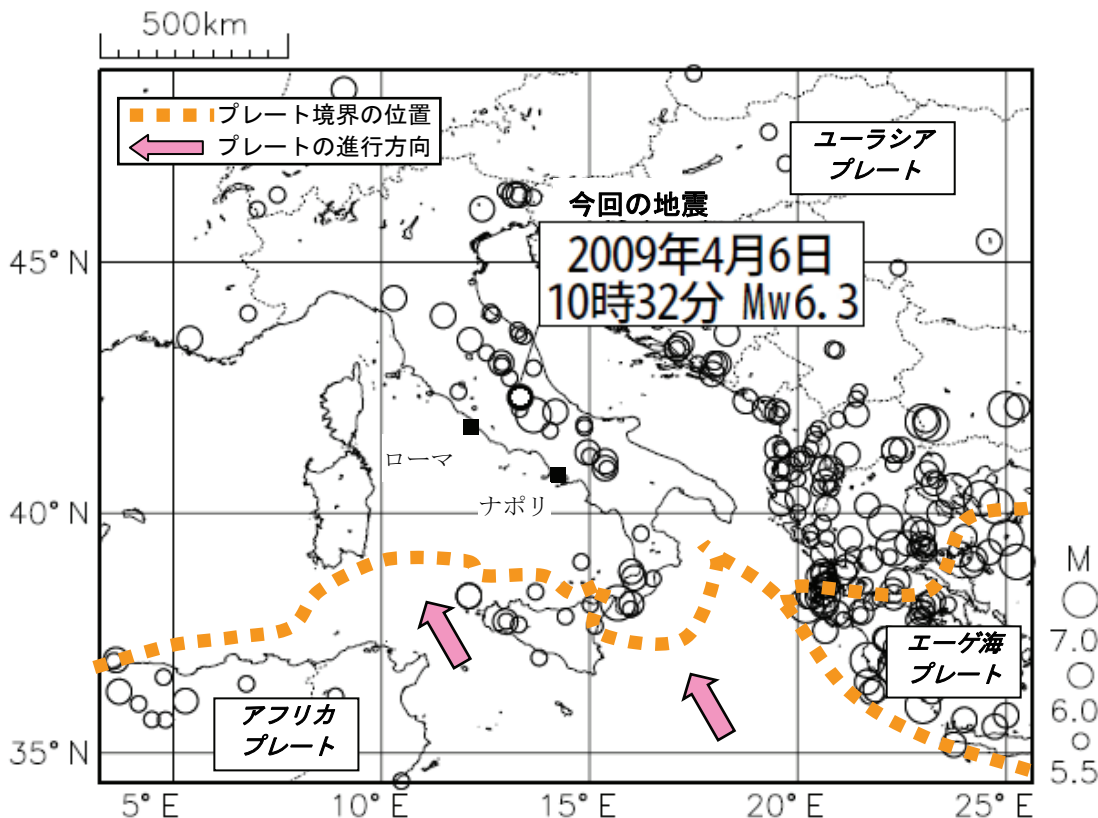
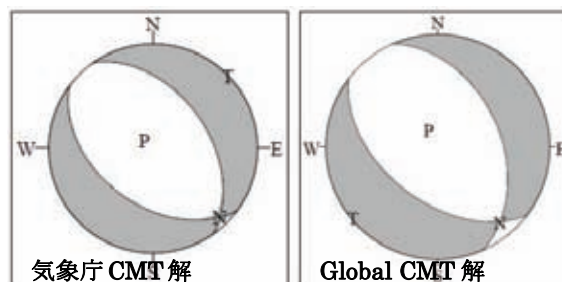


図 1-1 今回の地震の震央位置

図に示した地震は、1900 年 1 月 1 日～2009 年 4 月 30 日の期間に深さ 0～100km で発生した、M \geq 5.5 の被害を伴った地震である。震源要素は、宇津の「世界の被害地震の表」による。ただし、2003 年 8 月以降の震源要素は USGS による。

図 1-2 今回の地震の発震機構解

発震機構は気象庁 CMT 解（左）および Global CMT 解（右）の下半球投影図である。



(2) 本震及び余震の状況

4 月 14 日頃まで M5 程度の余震が発生していたが、余震活動は収束しつつある（欧州・地中海地震センター[EMSC]による）。

※ 欧州・地中海地震センター[EMSC]は、地震学の国際学会である国際地震学・地球内部物理学協会[IASPEI]の地域委員会で、地震の研究・監視を行う国際非営利組織。

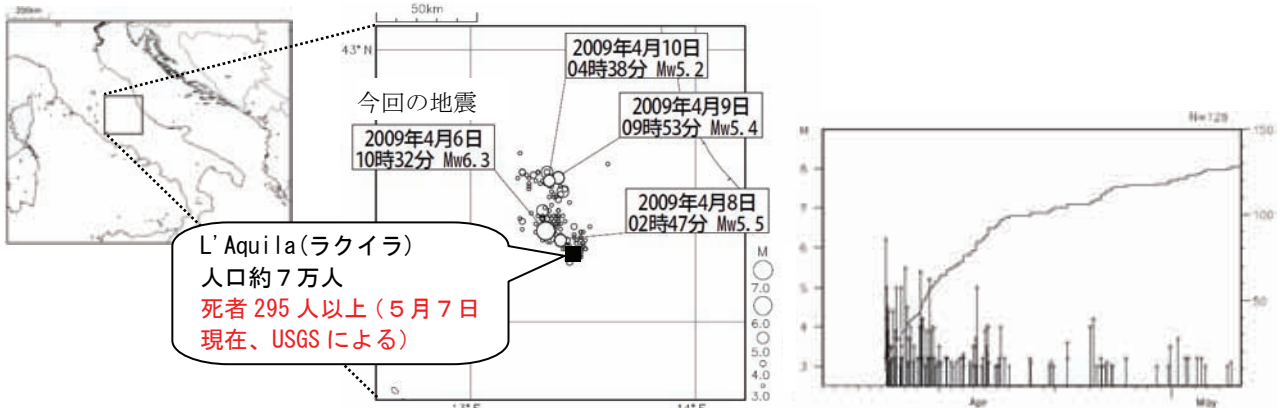


図 2-1 今回の地震の震源付近の震央分布図（左）とM-T図及び回数積算図（右）

2009 年 4 月 1 日～5 月 6 日の期間で発生した、M \geq 3、深さ 0～100km の地震を示す。震源要素は EMSC による。

(3) 過去に被害の記録がある、イタリア国内で発生した地震

イタリアでは過去にも M6.0 以上の地震がしばしば発生しており、100 人以上の死者を伴っている。

図 3-1 今回の地震と過去の被害地震の震央位置

1900 年 1 月 1 日～2009 年 4 月 30 日までの期間に深さ 0～100km で発生した M \geq 5.5 以上の被害を伴った地震の震央位置を示す。

震源要素は、宇津の「世界の被害地震の表」による。ただし、2003 年 8 月以降の震源要素は USGS による。

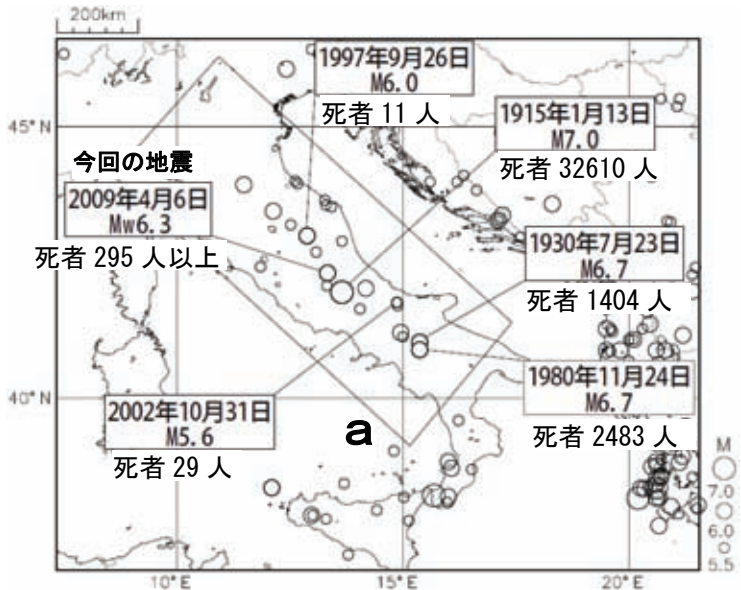


表 3-1 1900 年以降、イタリア国内で死者 100 名以上の被害を伴った地震の表

宇津の「世界の被害地震の表」による。ただし、今回の地震は除く。

年	月	日	緯度 (°)	経度 (°)	深さ (km)	マグニチュード	死者数	負傷者数
1905	9	8	38.67	16.07	-	6.8	557	2,000
1907	10	23	44.4	10.3	-	-	167	-
1908	12	28	38.15	15.68	10	7.1	82,000	-
1915	1	13	41.98	13.65	-	7	32,610	-
1919	6	29	43.95	11.48	-	6.3	100	400
1920	9	7	44.3	10.3	18	6.3	171	650
1930	7	23	41.05	15.37	35	6.7	1,404	10,000
1968	1	15	37.77	12.98	-	6.5	231	623
1976	5	6	46.3	13.3	17	6.1	965	2,400
1980	11	23	40.91	15.37	10	6.7	2,483	8,934

●付表 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」に掲載する。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

※震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	2 07 26	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.5	34° 12.2' N	135° 07.6' E	7km	M: 2.4
2	2 17 39	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市城辺福西*2.4 宮古島市城辺福北=2.2 宮古島市平良下里=1.8 宮古島市平良狩俣*=1.7 宮古島市平良西里*=1.6 1 多良間村塩川=0.7	24° 42.6' N	125° 50.6' E	54km	M: 5.1
3	3 01 45	千葉県南東沖 千葉県 1 館山市長須賀=1.4 南房総市白浜町白浜*=1.3 市原市姉崎*=0.9 大多喜町大多喜*=0.9 館山市北条*=0.8 南房総市谷向*=0.8 鴨川市八色=0.7 鴨川市横渚*=0.7 勝浦市墨名=0.6 東京都 1 伊豆大島町岡田*=0.7 伊豆大島町波浮港*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.2	34° 50.5' N	140° 25.2' E	80km	M: 3.8
4	3 05 40	沖縄本島近海 沖縄県 2 本部町役場*=1.5 1 恩納村恩納*=1.4 うるまみどり町*=1.3 国頭村辺土名*=1.2 南城市知念久手堅*=1.1 金武町金武*=0.9 中城村日間*=0.9 名護市港*=0.8 読谷村座喜味=0.6 宜野座村宜野座*=0.6	26° 10.0' N	128° 28.1' E	36km	M: 4.4
5	3 08 43	茨城県南部 栃木県 2 栃木藤岡町藤岡*=1.8 足利市名草上町=1.5 1 日光市中宮祠=1.4 鹿沼市口栗野*=1.3 大平町富田*=1.3 宇都宮市明保野町=1.2 佐野市高砂町*=1.1 壬生町通町*=1.0 鹿沼市晃望台*=1.0 佐野市中町*=0.9 鹿沼市今宮町*=0.8 小山市神鳥谷*=0.8 日光市足尾町松原*=0.8 足利市大正町*=0.7 栃木市旭町=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.7 日光市今市本町*=0.7 宇都宮市中里町*=0.6 日光市足尾町中才*=0.6 宇都宮市旭*=0.6 都賀町家中*=0.5 那須烏山市中央=0.5 日光市湯元*=0.5 日光市中鉢石町*=0.5 芳賀町祖母井*=0.5 佐野市田沼町*=0.5 佐野市葛生東*=0.5 群馬県 2 大泉町日の出*=1.8 太田市西本町*=1.6 桐生市元宿町*=1.6 1 桐生市新里町*=1.4 伊勢崎市西久保町*=1.4 邑楽町中野*=1.1 太田市浜町*=1.1 館林市美園町*=1.1 太田市大原町*=1.0 桐生市黒保根町*=1.0 群馬千代田町赤岩*=0.9 前橋市粕川町*=0.8 伊勢崎市境*=0.8 沼田市利根町*=0.8 板倉町板倉=0.8 みどり市笠懸町*=0.7 みどり市大間々町*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 富士見村田島*=0.7 桐生市織姫町=0.7 館林市城町*=0.6 群馬明和町新里*=0.6 太田市新田金井町*=0.6 みどり市東町*=0.6 片品村鎌田*=0.6 沼田市下久屋町*=0.5 片品村東小川=0.5 川場村谷地*=0.5 伊勢崎市今泉町*=0.5 茨城県 1 常陸大宮市北町*=1.3 常陸大宮市上小瀬*=0.9 城里町阿波山*=0.9 常陸大宮市野口*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 桜川市羽田*=0.7 土浦市常名=0.7 筑西市舟生=0.6 常陸大宮市山方*=0.5 筑西市門井*=0.5 埼玉県 1 熊谷市妻沼*=1.4 久喜市下早見=1.2 長瀨町野上下郷*=1.2 東松山市松葉町*=1.1 滑川町福田*=1.1 行田市本丸*=1.0 熊谷市大里*=1.0 加須市下三俣*=0.7 東松山市市ノ川*=0.7 深谷市花園*=0.6 久喜市青葉*=0.6 埼玉美里町木部*=0.5	36° 11.0' N	139° 47.7' E	55km	M: 3.7
6	3 12 30	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.8	34° 13.2' N	135° 08.3' E	9km	M: 2.0
7	3 22 55	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=1.0 三島町宮下*=0.9	37° 25.8' N	139° 41.3' E	3km	M: 2.2
8	4 20 24	紀伊水道 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.6	34° 02.2' N	135° 06.6' E	6km	M: 2.4
9	5 04 38	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.4	36° 02.9' N	137° 30.9' E	7km	M: 2.2
10	5 10 39	胆振支庁中東部 北海道 1 千歳市若草*=0.8	42° 43.4' N	142° 08.0' E	105km	M: 3.3
11	5 13 56	群馬県北部 群馬県 3 片品村鎌田*=2.6 沼田市利根町*=2.5 2 沼田市下久屋町*=2.2 沼田市西倉内町=2.0 沼田市白沢町*=2.0 川場村谷地*=1.9 片品村東小川=1.7 桐生市黒保根町*=1.6 1 群馬昭和村糸井*=1.3 渋川市赤城町*=1.2 渋川市吹屋*=1.2 みどり市東町*=0.9	36° 35.7' N	139° 10.7' E	11km	M: 3.4

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
12	5 16 40	みなかみ町鹿野沢*0.7 桐生市元宿町*0.6 栃木県 2 日光市中宮祠=1.8 1 日光市足尾町松原*1.1 日光市足尾町中才*1.0 日光市中鉢石町*0.9 鹿沼市今宮町*0.5 福島県 1 檜枝岐村上河原*1.1				
		和歌山県南部 34° 03.5' N 135° 35.5' E 61km M: 3.2 和歌山県 1 日高川町土生*0.5				
13	5 17 00	日高支庁東部 北海道 3 浦河町潮見=3.1 浦河町築地*3.1 幕別町忠類錦町*2.7 浦幌町桜町*2.6 様似町栄町*2.5 広尾町西 4 条*2.5 2 新ひだか町静内山手町=2.2 浦河町野深=2.2 えりも町えりも岬*2.2 十勝大樹町東本通*2.1 えりも町目黒*2.0 十勝大樹町生花*2.0 函館市新浜町*1.9 広尾町並木通=1.9 新ひだか町静内御幸町*1.8 新冠町北星町*1.7 新ひだか町三石旭町*1.7 釧路市音別町直別*1.7 十勝池田町西 1 条*1.6 更別村更別*1.6 平取町振内*1.5 むかわ町穂別*1.5 1 安平町早来北進*1.4 えりも町本町=1.4 鹿追町東町*1.4 芽室町東 2 条*1.4 むかわ町松風*1.3 帯広市東 6 条*1.3 函館市泊町*1.3 音更町元町*1.2 室蘭市寿町*1.2 豊頃町茂岩本町*1.2 中札内村東 2 条*1.2 白糠町西 1 条*1.2 千歳市若草*1.2 帯広市東 4 条=1.1 日高支庁日高町門別*1.1 幕別町忠類明和=1.1 幕別町本町*1.1 新得町 2 条*1.0 恵庭市京町*1.0 登別市桜木町*1.0 本別町向陽町*1.0 千歳市支笏湖温泉*1.0 釧路市阿寒町中央*1.0 釧路町別保*1.0 十勝清水町南 4 条=1.0 安平町追分柏が丘*1.0 上士幌町上士幌*0.9 本別町北 2 丁目=0.9 足寄町南 1 条*0.9 新ひだか町静内農屋*0.9 胆振伊達市大滝区本町*0.8 江別市緑町*0.8 函館市川汲町*0.8 別海町西春別*0.8 釧路市音別町尺別=0.8 三笠市若松町*0.7 上士幌町清水谷*0.7 新千歳空港=0.7 札幌北区太平*0.7 苫小牧市旭町*0.7 千歳市北栄=0.7 白老町大町=0.6 釧路市幸町=0.6 標茶町塘路*0.6 小樽市勝納町=0.6 士幌町上幌*0.5 別海町本別海*0.5 日高支庁日高町日高*0.5 鹿部町宮浜*0.5 別海町常盤=0.5 青森県 2 東通村小田野沢*1.5 1 東通村砂子又*1.3 むつ市大畑町中島*0.8 大間町大間*0.7 八戸市湊町=0.5 岩手県 1 野辺地町野辺地*0.5 七戸町森ノ上*0.5 1 二戸市福岡=0.5	42° 18.9' N 143° 00.2' E 54km M: 4.8			
14	5 18 36	日向灘 宮崎県 4 宮崎市松橋*3.6 宮崎市高岡町内山*3.5 3 宮崎市霧島=3.4 日南市南郷町南町*3.4 高鍋町上江*3.3 国富町本庄*3.3 串間市都井*3.2 都城市高崎町大牟田*3.2 小林市真方=3.2 延岡市古城町*3.1 西都市聖陵町*3.0 都城市山之口町花木*3.0 高千穂町三田井=3.0 三股町五本松*2.9 野尻町東麓*2.9 日南市吾田東*2.9 宮崎市田野町体育館*2.8 綾町役場*2.8 都城市菖蒲原=2.8 高原町西麓*2.7 西都市上の宮*2.7 都城市北原*2.7 綾町南俣健康センター*2.7 都城市山田町山田*2.7 川南町川南*2.6 清武町船引*2.6 日南市中央通*2.6 都城市高城町穂満坊*2.6 宮崎市佐土原町下田島*2.5 日南市油津=2.5 都城市姫城町*2.5 日南市北郷町郷之原*2.5 新富町上富田=2.5 2 宮崎都農町役場*2.3 えびの市加久藤*2.3 木城町高城*2.2 椎葉村総合運動公園*2.2 小林市中原*2.2 延岡市北浦町古江*2.2 椎葉村下福良*2.1 宮崎市田野支所*2.1 串間市奈留=2.1 小林市役所*2.1 小林市細野*2.1 延岡市北方町末=2.1 延岡市北川町川内名白石*2.1 延岡市東小路*2.1 延岡市北方町卯*2.1 高千穂町寺迫*2.0 延岡市天神小路=1.9 五ヶ瀬町三ヶ所*1.9 宮崎美郷町田代*1.9 日向市東郷町山陰*1.7 門川町本町*1.7 日向市亀崎=1.6 日向市富高*1.6 1 宮崎都農町川北=1.4 宮崎美郷町宇納間*1.4 宮崎美郷町神門*1.4 延岡市北川町総合支所*1.3 諸塚村家代*1.2 日之影町岩井川*1.2 西米良村板谷*0.9 熊本県 3 人吉市城本町=3.0 植木町岩野*2.6 多良木町多良木=2.5 天草市五和町*2.5 宇城市豊野町*2.5 2 熊本美里町永富*2.4 宇城市小川町*2.4 人吉市蟹作町*2.4 多良木町上球磨消防署*2.4 山江村山田*2.4 産山村山鹿*2.3 芦北町芦北=2.3 八代市平山新町=2.3 熊本氷川町島地*2.3 合志市竹迫*2.3 八代市鏡町*2.3 玉名市天水町*2.3 宇城市三角町*2.2 あさぎり町免田東*2.2 宇城市不知火町*2.2 宇土市浦田町*2.2 山都町今*2.2 上天草市大矢野町=2.2 八代市千丁町*2.2 熊本美里町馬場*2.2 八代市松江城町*2.1 西原村小森*2.1 熊本高森町高森*2.1 阿蘇市波野*2.1 宇城市松橋町=2.1 玉名市横島町*2.1 相良村深水*2.1 益城町宮園*2.0 湯前町役場*2.0 津奈木町小津奈木*2.0 和水町江田*2.0 長洲町長洲*2.0 錦町一武*2.0 南阿蘇村河陽*2.0 嘉島町上島*1.9 山都町大平*1.9 八代市坂本町*1.9 阿蘇市一の宮町*1.8 荒尾市宮内出目*1.8 熊本市京町=1.8 熊本氷川町宮原*1.8 菊池市旭志*1.8 合志市御代志*1.7 南阿蘇村吉田*1.7 上天草市松島町*1.7 城南町宮地*1.7 玉東町木葉*1.7 五木村甲*1.7 山鹿市鹿央町*1.7 水俣市牧ノ内*1.7 菊池市七城町*1.6 南阿蘇村河陰*1.6 熊本市東町*1.6 芦北町田浦町*1.6 菊陽町久保田*1.6 南関町関町*1.5 玉名市岱明町*1.5 山鹿市山鹿*1.5 玉名市中尾*1.5 1 熊本市大江*1.4 八代市泉町=1.4 菊池市泗水町*1.4 大津町大津*1.4 甲佐町豊内*1.4 球磨村渡*1.4 御船町御船*1.3 水俣市陣内*1.3 山鹿市老人福祉センター*1.3 上天草市姫戸町*1.2 八代市泉支所*1.2 山鹿市菊鹿町*1.2 山鹿市鹿本町*1.2 水上村岩野*1.2 南阿蘇村中松=1.1 天草市天草町*1.1 熊本小国町宮原*1.0 天草市東浜町*0.8 大分県 3 佐伯市鶴見*3.1 竹田市直入町*2.8 臼杵市臼杵*2.8 豊後大野市清川町*2.7 竹田市荻町*2.7 佐伯市蒲江=2.6 2 佐伯市中村南=2.4 大分市碩田町*2.3 大分市長浜=2.2 佐伯市上浦*2.2 大分市舞鶴町*2.1 由布市湯布院町川上*2.1 佐伯市春日町*2.1 佐伯市役所*2.1 竹田市久住町*2.1 津久見市宮本町*2.0 由布市湯布院町川北*2.0 佐伯市米水津*1.9 竹田市竹田小学校*1.7	31° 55.7' N 131° 53.6' E 28km M: 5.6			

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		豊後大野市大野町*1.6 竹田市会々*1.6 佐伯市弥生*1.5 佐伯市直川*1.5 姫島村役場*1.5 1 津久見市立花町*1.3 国東市鶴川=1.1 臼杵市乙見=1.1 豊後大野市三重町=1.1 国東市田深*1.0 別府市鶴見=1.0 杵築市南杵築*0.9 佐伯市宇目*0.8 豊後高田市御玉*0.8 日田市田島*0.7 3 鹿屋市新栄町=3.0 鹿屋市輝北町上百引*2.8 大崎町仮宿*2.8 加治木町本町*2.7 鹿児島空港=2.7 鹿屋市串良町岡崎*2.7 錦江町田代支所*2.7 肝付町新富*2.7 鹿屋市礼元*2.6 霧島市国分中央*2.5 伊佐市菱刈前目*2.5 垂水市田神*2.5 2 鹿児島市喜入町*2.4 蒲生町上久徳*2.4 曾於市財部町南俣*2.4 曾於市末吉町二之方*2.4 鹿児島市桜島赤水新島*2.3 始良町宮島町*2.3 湧水町吉松*2.3 東串良町川西*2.3 南大隅町根占*2.3 鹿児島市本城*2.2 南さつま市金峰町尾下*2.2 志布志市志布志町志布志=2.2 さつま町神子*2.1 霧島市隼人町内山田=2.1 錦江町城元*2.1 指宿市山川新生町=2.0 薩摩川内市神田町*2.0 薩摩川内市祁答院町*2.0 霧島市牧園町宿窪田*2.0 曾於市大隅町中之内*2.0 伊佐市大口鳥巢*1.9 錦江町田代麓=1.9 指宿市十町*1.9 南大隅町佐多伊座敷*1.8 いちき串木野市湊町*1.8 志布志市松山町新橋*1.8 薩摩川内市東郷町*1.7 南九州市瀬田町之内*1.7 鹿児島市東郡元=1.7 長島町伊唐島*1.7 志布志市有明町野井倉*1.7 霧島市横川町中ノ*1.6 霧島市霧島田口*1.6 阿久根市鶴見町*1.6 伊佐市大口山野=1.6 日置市日吉町日置*1.6 日置市吹上町中原*1.6 霧島市溝辺町有川*1.5 薩摩川内市樋脇町*1.5 薩摩川内市入来町*1.5 さつま町宮之城保健センター*1.5 湧水町栗野*1.5 肝付町北方*1.5 鹿児島市祇園之洲町*1.5 いちき串木野市緑町*1.5 1 鹿児島市上谷口*1.4 日置市伊集院町郡*1.4 さつま町宮之城屋地=1.3 南九州市川辺町平山*1.3 薩摩川内市中郷=1.2 南さつま市加世田川畑*1.2 霧島市福山町福山*1.2 阿久根市赤瀬川=1.0 鹿児島出水市緑町*1.0 薩摩川内市上甌町*1.0 枕崎市高見町=0.9 長島町鷹巣*0.9 鹿児島市下福元=0.8 枕崎市若葉町*0.5 島根県 愛媛県 2 大田市仁摩町仁万*1.5 2 八幡浜市保内町*2.0 西予市明浜町*1.8 今治市大三島町*1.8 伊方町湊浦*1.6 松山市中島大浦*1.5 西予市宇和町*1.5 1 宇和島市吉田町*1.4 宇和島市住吉町=1.3 宇和島市津島町*1.3 西予市三瓶町*1.3 伊予市下吾川*1.2 愛南町船越*0.8 八幡浜市五反田*0.7 高知県 2 四万十市八反原児童公園*1.5 山口県 1 宿毛市桜町*1.4 黒潮町佐賀*1.1 宿毛市片島=1.0 2 柳井市南町*1.5 福岡県 1 萩市江向*1.2 岩国市今津=1.2 柳井市大島*1.0 宇部市東須恵*1.0 阿東町徳佐*1.0 岩国市横山*0.9 周防大島町小松*0.9 周防大島町東和総合支所*0.8 周防大島町平野*0.8 山口市阿知須*0.7 平生町平生*0.6 周防大島町久賀*0.6 防府市西浦*0.5 2 大川市酒見*2.0 柳川市三橋町*1.9 久留米市津福本町=1.9 柳川市本町*1.8 みやま市高田町*1.8 大木町八町牟田*1.7 筑前町篠隈*1.6 久留米市城島町*1.6 柳川市大和町*1.6 1 久留米市小森野町*1.4 久留米市北野町*1.4 みやま市瀬高町*1.4 大牟田市有明町*1.3 八女市本町*1.3 筑後市山ノ井*1.2 筑前町新町*1.2 遠賀町今古賀*1.2 中間市長津*1.1 水巻町頃末*1.1 久留米市三潞町*1.1 宗像市東郷*1.1 久留米市田主丸町*1.0 八女市吉田*1.0 大牟田市笹林=1.0 朝倉市宮野*1.0 みやま町勝山上田*0.9 嘉麻市上白井*0.9 新宮町緑ヶ浜*0.9 大刀洗町富多*0.9 うきは市吉井町*0.9 筑前町下高場=0.9 久留米市城南町*0.9 福岡広川町新代*0.8 行橋市今井*0.8 福岡西区今宿*0.8 宗像市江口神原*0.8 小郡市小郡*0.8 うきは市浮羽町*0.7 朝倉市杷木池田*0.7 添田町添田*0.7 行橋市中央*0.6 豊前市吉木*0.6 福岡中央区舞鶴*0.6 みやま市山川町*0.6 春日市原町*0.6 黒木町今*0.5 中間市中間*0.5 福岡南区塩原*0.5 福智町赤池*0.5 佐賀県 2 白石町有明*2.1 みやま町北茂安*1.7 上峰町坊所*1.7 1 神埼市神埼*1.3 鳥栖市宿町*1.2 佐賀市栄町*1.1 佐賀市駅前中央=1.0 長崎県 2 南島原市口之津町*2.0 南島原市加津佐町*1.9 南島原市布津町*1.7 南島原市有家町*1.7 雲仙市小浜町雲仙=1.6 南島原市北有馬町*1.5 南島原市深江町*1.5 1 諫早市多良見町*1.4 雲仙市南串山町*1.3 南島原市南有馬町*1.1 諫早市森山町*1.1 島原市下折橋町*1.0 雲仙市愛野町*1.0 島原市有明町*0.9 雲仙市国見町=0.8 雲仙市千々石町*0.8 大村市玖島*0.7 松浦市志佐町*0.7 雲仙市吾妻町*0.7 雲仙市瑞穂町*0.6 鳥取県 1 境港市東本町=1.0 広島県 1 広島中区上八丁堀=0.9 呉市宝町=0.9 15 5 18 53 日向灘 31° 56.1' N 131° 52.3' E 27km M: 4.3 熊本県 1 人吉市城本町=0.5 大分県 1 佐伯市蒲江=0.6 宮崎県 1 宮崎市松橋*1.4 国富町本庄*1.4 宮崎市霧島=1.3 西都市上の宮*1.3 高鍋町上江*1.3 延岡市古城町*1.2 西都市聖陵町*1.0 高千穂町三田井=0.9 宮崎都農町役場*0.7 小林市真方=0.7 川南町川南*0.6 延岡市北川町川内名白石*0.6 延岡市天神小路=0.5 鹿児島県 1 大崎町仮宿*0.7 鹿屋市新栄町=0.6 16 6 01 44 宮城県沖 38° 47.4' N 141° 36.3' E 73km M: 3.4 岩手県 1 陸前高田市高田町*0.9 一関市室根町*0.7 大船渡市猪川町=0.6 宮城県 1 南三陸町歌津*0.7 気仙沼市唐桑町*0.5 17 6 02 50 岩手県内陸南部 39° 07.0' N 140° 58.2' E 8km M: 3.9 岩手県 2 奥州市胆沢区*2.1 奥州市衣川区*1.7 1 奥州市前沢区*1.4 奥州市水沢区大鐘町=1.0 宮城県 1 栗原市栗駒=1.0 栗原市高清水*1.0 栗原市若柳*0.8 涌谷町新町=0.8 栗原市志波姫*0.8 栗原市金成*0.7 栗原市築館*0.7 石巻市桃生町*0.7 栗原市一迫*0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
18	6 11 31	岩手県沖 青森県 岩手県 宮城県	39° 11.6' N	142° 23.2' E	33km	M: 4.4
		2 階上町道仏*=1.5 1 青森南部町平*=1.0 八戸市湊町=1.0 五戸町古館=0.9 八戸市内丸*=0.8 おいらせ町中下田*=0.6 東通村小田野沢*=0.6 2 大槌町新町*=1.7 一関市室根町*=1.6 山田町大沢*=1.5 1 釜石市中妻町*=1.4 北上市二子町*=1.4 遠野市松崎町*=1.3 花巻市東和町*=1.3 八幡平市田頭*=1.3 一関市千厩町*=1.2 大船渡市猪川町=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 釜石市只越町=1.1 軽米町軽米*=1.0 野田村野田*=1.0 二戸市浄法寺町*=0.9 宮古市五月町*=0.9 藤沢町藤沢*=0.9 盛岡市玉山区藪川*=0.9 二戸市福岡=0.9 遠野市宮守町*=0.8 宮古市鉾ヶ崎=0.8 住田町世田米*=0.8 花巻市大迫町=0.8 花巻市材木町*=0.8 普代村銅屋*=0.8 川井村川井*=0.8 川井村田代*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 奥州市胆沢区*=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5 山田町八幡町=0.5 一関市舞川=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 八幡平市大更=0.5 2 栗原市金成*=1.6 1 南三陸町志津川=1.4 石巻市桃生町*=1.4 南三陸町歌津*=1.3 栗原市栗駒=1.2 栗原市志波姫*=1.1 大崎市古川三日町=1.1 大崎市田尻*=1.1 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 栗原市一迫*=0.9 大崎市古川北町*=0.9 涌谷町新町=0.9 栗原市若柳*=0.8 登米市迫町*=0.8 栗原市築館*=0.7 栗原市瀬峰*=0.7 栗原市鷺沢*=0.7 栗原市清水*=0.7 登米市南方町*=0.7 宮城美里町北浦*=0.6 宮城加美町小野田*=0.6 登米市中田町=0.6 色麻町四竈*=0.6 登米市米山町*=0.6 栗原市花山*=0.5 大崎市松山*=0.5 大崎市鹿島台*=0.5 登米市登米町*=0.5				
19	7 09 37	山梨県中・西部 埼玉県	35° 51.7' N	138° 46.4' E	12km	M: 2.7
		1 秩父市中津川*=0.5				
20	7 13 23	千島列島 北海道	46° 00.4' N	152° 11.5' E	30km F	M: 6.7
		3 釧路町別保*=2.6 2 浦幌町桜町*=2.1 白糠町西1条*=2.1 厚岸町真栄町*=2.0 別海町常盤=2.0 標津町北2条*=1.9 釧路市音別町直別*=1.9 別海町本別海*=1.8 釧路市黒金町*=1.6 標茶町塘路*=1.6 浦河町潮見=1.5 釧路市阿寒町中央*=1.5 十勝大樹町東本通*=1.5 1 清里町羽衣町*=1.4 新冠町北星町*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.4 浦河町築地*=1.4 別海町西春別*=1.4 函館市新浜町*=1.3 様似町栄町*=1.3 弟子屈町弟子屈*=1.3 釧路市幸町=1.3 浜中町霧多布*=1.3 標茶町川上*=1.3 鶴居村鶴居東*=1.3 新ひだか町静内御幸町*=1.3 根室市落石東*=1.3 大空町東藻琴*=1.2 浦河町野深=1.1 幕別町忠類錦町*=1.1 大空町女満別西3条*=1.1 更別村更別*=1.0 十勝大樹町生花*=1.0 音更町元町*=1.0 幕別町本町*=1.0 斜里町本町=1.0 羅臼町緑町*=0.9 厚岸町尾幌=0.9 十勝清水町南4条=0.9 弟子屈町美里=0.8 帯広市東4条=0.8 根室市瑤瑤瑠*=0.8 弟子屈町サワラチサップ*=0.8 鹿追町東町*=0.7 芽室町東2条*=0.7 根室市牧の内*=0.6 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=0.6 根室市弥栄=0.6 青森県 1 八戸市南郷区*=1.0 東通村小田野沢*=1.0 東北町上北南*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 おいらせ町上明堂*=0.7 七戸町森ノ上*=0.7 六戸町犬落瀬*=0.7 五戸町古館=0.7 七戸町七戸*=0.6 大間町大間*=0.6 外ヶ浜町蟹田*=0.5 野辺地町野辺地*=0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川*=1.1 二戸市福岡=0.6 宮城県 1 涌谷町新町=0.8 登米市迫町*=0.8 栗原市金成*=0.7				
21	8 10 13	千葉県北東部 千葉県	35° 25.9' N	140° 22.2' E	27km	M: 3.3
		2 大網白里町大網*=1.7 九十九里町片貝*=1.5 1 市原市姉崎*=1.4 東金市日吉台*=1.3 千葉一宮町一宮=1.2 白子町関*=1.2 茂原市道表*=1.2 大多喜町大多喜*=1.2 長南町長南*=1.1 千葉緑区おゆみ野*=1.1 東金市東岩崎*=1.0 長生村本郷*=1.0 山武市殿台*=1.0 東金市東新宿=0.9 芝山町小池*=0.9 横芝光町横芝*=0.8 睦沢町下之郷*=0.7 長柄町大津倉=0.7 長柄町桜谷*=0.7 いすみ市国府台*=0.7 千葉中央区都町*=0.6 千葉中央区千葉市役所*=0.5				
22	8 17 56	宮城県北部平野部 宮城県	32° 13.1' N	131° 32.6' E	17km	M: 2.5
		1 宮崎都農町役場*=1.2 西都市上の宮*=0.8				
23	9 03 53	日高支庁西部 北海道	42° 44.1' N	142° 21.8' E	26km	M: 3.0
		1 平取町振内*=0.9 平取町本町*=0.5				
24	9 04 20	茨城県南部 茨城県	35° 55.4' N	140° 08.0' E	63km	M: 3.6
		1 筑西市門井*=1.4 鉾田市当間*=1.1 つくば市小茎*=1.0 土浦市常名=1.0 石岡市八郷*=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.7 石岡市柿岡=0.7 取手市寺田*=0.7 つくば市谷田部*=0.7 土浦市下高津*=0.6 つくばみらい市福田*=0.6 つくば市天王台*=0.6 坂東市山*=0.6 栃木県 1 栃木市旭町=1.2 茂木町小井戸*=0.9 宇都宮市明保野町=0.6 足利市名草上町=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=0.5				
25	9 06 40	新潟県中越地方 新潟県	37° 16.3' N	138° 56.5' E	11km	M: 2.6
		1 魚沼市今泉*=1.2				
26	9 19 26	日高支庁東部 北海道	42° 13.7' N	142° 54.9' E	55km	M: 3.9
		1 浦河町潮見=1.4 浦河町築地*=1.3 新ひだか町静内山手町=1.1 新ひだか町三石旭町*=1.1 浦河町野深=0.9 函館市新浜町*=0.7 新ひだか町静内御幸町*=0.7 新冠町北星町*=0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		芽室町東2条*0.7 幕別町忠類錦町*0.7 函館市泊町*0.5 千歳市支笏湖温泉*0.5 安平町追分柏が丘*0.5 恵庭市京町*0.5				
27	10 02 12	静岡県伊豆地方 静岡県 1 熱海市網代=1.2 熱海市泉*0.6	35° 02.1' N	139° 05.1' E	4km	M: 2.2
28	10 03 34	岩手県沿岸北部 岩手県 1 遠野市松崎町*1.4 川井村川井*1.0 宮古市茂市*1.0 遠野市宮守町*0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 花巻市大迫総合支所*0.8 北上市二子町*0.8 普代村銅屋*0.8 川井村田代*0.8 八幡平市田頭*0.7 盛岡市玉山区藪川*0.6 田野畑村田野畑=0.6 花巻市東和町*0.6 山田町大沢*0.5 野田村野田*0.5 葛巻町消防分署*0.5 一関市室根町*0.5	39° 45.4' N	141° 51.0' E	57km	M: 3.6
29	10 17 24	徳島県南部 徳島県 1 那賀町木頭和無田*0.8 牟岐町中村*0.5	33° 49.6' N	134° 03.6' E	33km	M: 3.0
30	10 20 01	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 薩摩川内市下甌町青瀬=1.2 鹿児島市喜入町*1.0 薩摩川内市下甌町手打*0.9 鹿児島市下福元=0.6 枕崎市高見町=0.6 南さつま市加世田川畑*0.5 南九州市穎娃町牧之内*0.5	31° 30.4' N	129° 38.9' E	13km	M: 3.7
31	11 02 36	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町三根=0.6	33° 19.9' N	140° 59.9' E	42km	M: 4.0
32	11 17 25	茨城県南部 茨城県 1 土浦市常名=0.5	35° 59.3' N	140° 16.5' E	41km	M: 3.0
33	11 20 58	鹿児島湾 鹿児島県 2 鹿屋市新栄町=1.5 1 鹿屋市礼元*1.3 鹿屋市輝北町上百引*1.1 大崎町仮宿*1.1 錦江町田代支所*1.1 中種子町野間*1.0 鹿児島市喜入町*0.8 錦江町田代麓=0.7 屋久島町宮之浦*0.7 肝付町北方*0.5 宮崎県 1 都城市菖蒲原=0.8	31° 18.5' N	130° 45.6' E	106km	M: 3.8
34	11 23 50	岡山県南部 岡山県 1 真庭市下方*1.1 高梁市原田南町*1.0 岡山北区建部町*1.0 高梁市有漢町*0.9 真庭市落合垂水*0.9 新見市唐松*0.8 真庭市西河内=0.7 真庭市久世*0.7 岡山北区御津金川*0.7 美作市栄町*0.7 総社市中央*0.6 和気町矢田*0.6 岡山美咲町西川*0.5 新見市新見=0.5	34° 52.9' N	133° 50.5' E	19km	M: 3.2
35	12 02 47	和歌山県南方沖 和歌山県 1 日高川町土生*0.7	33° 38.0' N	135° 10.1' E	39km	M: 3.3
36	12 21 13	日高支庁東部 北海道 1 幕別町忠類錦町*1.2 更別村更別*0.9 十勝大樹町東本通*0.6	42° 18.5' N	143° 03.6' E	51km	M: 3.7
37	13 02 46	千葉県北西部 神奈川県 1 横浜神奈川区白幡上町*0.5	35° 37.4' N	140° 05.3' E	66km	M: 2.8
38	13 10 34	茨城県南部 茨城県 2 鉾田市当間*1.8 坂東市山*1.7 筑西市海老ヶ島*1.6 桜川市羽田*1.5 坂東市役所*1.5 大子町池田*1.5 坂東市馬立*1.5 筑西市門井*1.5 桜川市岩瀬*1.5 1 境町旭町*1.4 土浦市常名=1.3 茨城古河市下大野*1.3 結城市結城*1.3 笠間市中央*1.3 筑西市舟生=1.3 常陸大宮市北町*1.3 小美玉市小川*1.3 石岡市柿岡=1.2 笠間市下郷*1.2 小美玉市堅倉*1.1 下妻市本城町*1.1 城里町阿波山*1.1 石岡市八郷*1.1 笠間市石井*1.0 つくば市谷田部*1.0 土浦市下高津*1.0 坂東市岩井=1.0 小美玉市上玉里*1.0 つくば市小茎*0.9 水戸市金町=0.9 土浦市藤沢*0.9 筑西市下中山*0.8 かすみがうら市上土田*0.8 常総市新石下*0.8 水戸市内原町*0.8 八千代町菅谷*0.8 下妻市鬼怒*0.8 取手市寺田*0.8 桜川市真壁*0.7 五霞町小福田*0.7 常陸大宮市野口*0.7 常陸大宮市山方*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.7 水戸市千波町*0.7 日立市助川小学校*0.6 つくば市天王台*0.6 つくばみらい市福田*0.6 栃木県 2 宇都宮市明保野町=2.4 茂木町小井戸*1.9 益子町益子=1.9 下野市田中*1.8 真岡市石島*1.8 栃木市旭町=1.7 岩舟町静*1.7 佐野市高砂町*1.6 栃木藤岡町藤岡*1.5 鹿沼市晃望台*1.5 1 宇都宮市中里町*1.4 佐野市中町*1.2 小山市神鳥谷*1.2 下野市石橋*1.2 下野市小金井*1.2 日光市中宮祠=1.2 高根沢町石末*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 宇都宮市旭*1.1 鹿沼市今宮町*1.1 小山市中央町*1.1 上三川町しらさぎ*1.1 壬生町通町*1.1 佐野市田沼町*1.0 日光市中鉢石町*1.0 日光市日蔭*1.0 西方町本城*1.0 宇都宮市塙田*1.0 真岡市田町*0.9 日光市今市本町*0.9 日光市足尾町松原*0.9 佐野市葛生東*0.9 塩谷町玉生*0.9 鹿沼市口栗野*0.8 足利市名草上町=0.8 大平町富田*0.8 栃木市入舟町*0.8 那須烏山市大金*0.8 栃木那珂川町小川*0.8 日光市足尾町中才*0.8 日光市藤原*0.7 都賀町家中*0.7 栃木那珂川町馬頭*0.6 大田原市湯津上*0.6 栃木さくら市喜連川*0.6 栃木さくら市氏家*0.5 日光市瀬川=0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*2.0 久喜市下早見=1.9 大和町北下新井*1.6 騎西町騎西*1.5 1 加須市下三俣*1.2 東松山市松葉町*1.1 羽生市東*1.1 さいたま岩槻区本町*1.1 滑川町福田*1.0 川口市中青木分室*1.0 春日部市金崎*1.0 行田市本丸*0.9	36° 05.0' N	139° 51.2' E	47km	M: 3.9

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		長瀬町野上下郷*0.9 熊谷市桜町=0.8 東松山市市ノ川*0.8 久喜市青葉*0.8 熊谷市宮町*0.7 春日部市谷原新田*0.7 上尾市本町*0.7 嵐山町杉山*0.6 本庄市児玉町=0.5 小川町大塚*0.5				
		福島県 群馬県 千葉県 東京都				
39	13 12 23	紀伊水道 和歌山県	34° 10.8' N	135° 08.0' E	7km	M: 2.8
		1 海南市下津*0.8 海南市日方*0.6 和歌山市一番丁*0.6				
40	14 01 58	千葉県東方沖 千葉県	35° 39.3' N	140° 42.8' E	46km	M: 4.2
		2 旭市南堀之内*2.3 多古町多古=1.9 成田市花崎町=1.9 匝瑳市八日市場*1.7 旭市萩園*1.6 香取市佐原下川岸=1.5 香取市役所*1.5 旭市高生*1.5				
		1 東金市日吉台*1.4 旭市二*1.3 香取市仁良*1.3 横芝光町宮川*1.3 山武市蓮沼*1.3 成田国際空港=1.3 山武市殿台*1.2 成田市役所*1.2 成田市松子*1.2 芝山町小池*1.1 横芝光町横芝*1.1 香取市佐原諏訪台*1.1 東金市東新宿=1.0 成田市中台*1.0 九十九里町片貝*1.0 東金市東岩崎*1.0 千葉中央区千葉市役所*0.9 千葉中央区都町*0.9 千葉一宮町一宮=0.9 匝瑳市今泉*0.9 千葉佐倉市海隣寺町*0.9 市原市姉崎*0.9 千葉花見川区花島町*0.8 大網白里町大網*0.7 千葉中央区中央港=0.7 銚子市若宮町*0.6 稲敷市結佐*1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 稲敷市須賀津*0.9 行方市麻生*0.9 潮来市辻*0.8 稲敷市江戸崎甲*0.7 茨城鹿嶋市宮中*0.7 石岡市柿岡=0.6 筑西市舟生=0.6 利根町布川=0.5				
		茨城県 神奈川県				
41	14 02 47	沖縄本島近海 沖縄県	26° 01.5' N	126° 48.6' E	56km	M: 3.7
		1 久米島町謝名堂=0.7 久米島町比嘉*0.7				
42	15 08 54	奄美大島近海 鹿児島県	27° 06.2' N	130° 01.4' E	73km	M: 4.8
		1 奄美市笠利町里*0.8 奄美市名瀬港町=0.7 伊仙町伊仙*0.5				
43	15 12 06	千葉県南部 千葉県	35° 18.6' N	140° 17.6' E	18km	M: 2.8
		1 睦沢町下之郷*0.5				
44	15 12 11	沖縄本島北西沖 沖縄県	27° 03.2' N	127° 18.0' E	96km	M: 3.8
		1 久米島町謝名堂=1.0 座間味村座間味*0.6				
45	15 16 23	奄美大島近海 鹿児島県	27° 00.1' N	129° 54.8' E	62km	M: 5.0
		1 喜界町滝川=0.8 奄美市名瀬港町=0.8 奄美市名瀬幸町*0.8				
46	16 00 29	紀伊水道 和歌山県	33° 53.1' N	134° 53.5' E	43km	M: 3.2
		1 日高川町土生*0.8 由良町里*0.7 御坊市菌=0.7 湯浅町湯浅*0.5				
47	16 11 30	石川県能登地方 石川県	37° 14.4' N	136° 44.4' E	10km	M: 3.4
		2 穴水町大町*1.5				
		1 輪島市門前町走出*1.3 志賀町富来領家町=0.8 輪島市鳳至町=0.7 志賀町香能*0.7 七尾市中島町中島*0.5				
48	16 14 47	岩手県内陸南部 宮城県	39° 01.4' N	140° 48.0' E	4km	M: 3.1
		1 栗原市栗駒=0.5				
49	16 16 19	茨城県南部 茨城県	36° 03.9' N	139° 52.7' E	48km	M: 3.8
		2 筑西市舟生=1.7 筑西市門井*1.6 坂東市馬立*1.6 小美玉市小川*1.5 坂東市役所*1.5 銚田市当間*1.5				
		1 笠間市下郷*1.4 小美玉市上玉里*1.4 土浦市常名=1.4 筑西市海老ヶ島*1.4 桜川市岩瀬*1.3 下妻市本城町*1.3 坂東市岩井=1.3 石岡市柿岡=1.3 石岡市八郷*1.2 常総市新石下*1.2 茨城古河市下大野*1.2 土浦市藤沢*1.1 つくば市谷田部*1.1 笠間市中央*1.1 坂東市山*1.1 茨城古河市仁連*1.1 常陸大宮市北町*1.1 桜川市羽田*1.1 土浦市下高津*1.1 結城市結城*1.1 つくば市天王台*1.0 城里町阿波山*1.0 境町旭町*1.0 小美玉市堅倉*1.0 つくばみらい市福田*1.0 取手市寺田*1.0 つくば市小釜*0.9 かすみがうら市上土田*0.9 笠間市石井*0.9 下妻市鬼怒*0.8 桜川市真壁*0.8 茨城古河市長谷町*0.8 常陸大宮市野口*0.7 常総市水海道諏訪町*0.7 行方市玉造*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 八千代町菅谷*0.7 常陸大宮市山方*0.6 銚田市汲上*0.6 常陸大宮市上小瀬*0.5 かすみがうら市大和田*0.5 水戸市金町=0.5 行方市麻生*0.5 つくばみらい市加藤*0.5				
		栃木県				
		2 真岡市石島*2.2 栃木市旭町=1.5 茂木町小井戸*1.5				
		1 宇都宮市明保野町=1.4 下野市田中*1.2 益子町益子=1.2 岩舟町静*1.2 栃木藤岡町藤岡*1.1 下野市小金井*1.1 足利市大正町*1.1 足利市高砂町*1.0 下野市石橋*1.0 沼田市晃望台*0.9 小山市中央町*0.9 真岡市田町*0.9 小山市神鳥谷*0.8 壬生町通町*0.8 佐野市田沼町*0.7 鹿沼市今宮町*0.7 日光市中宮祠=0.7 西方町本城*0.7 足利市名草上町*0.7 茂木町茂木*0.6 宇都宮市旭*0.6 大平町富田*0.6 宇都宮市中里町*0.6 佐野市葛生東*0.6 上三川町しらさぎ*0.6 佐野市中町*0.5 都賀町家中*0.5				
		埼玉県				
		2 騎西町騎西*1.8 宮代町笠原*1.7 川口市中青木分室*1.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 東松山市松葉町*=1.4 久喜市下早見=1.3 春日部市金崎*=1.3 さいたま浦和区高砂=1.3 加須市下三俣*=1.2 さいたま岩槻区本町*=1.2 上尾市本町*=1.1 長瀨町野上下郷*=1.1 東松山市市ノ川*=0.9 羽生市東*=0.9 滑川町福田*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 久喜市青葉*=0.8 小川町大塚*=0.8 春日部市谷原新田*=0.8 行田市本丸*=0.8 坂戸市千代田*=0.7 さいたま大宮区天沼町*=0.7 秩父市近戸町*=0.7 嵐山町杉山*=0.7 越生町越生*=0.6 川島町平沼*=0.6 埼玉美里町木部*=0.6 本庄市児玉町=0.6 北本市本町*=0.6 吉川市吉川*=0.6 熊谷市桜町=0.5 群馬県 1 大泉町日の出*=1.4 板倉町板倉=1.0 館林市美園町*=0.9 邑楽町中野*=0.9 群馬明和町新里*=0.8 桐生市元宿町*=0.8 伊勢崎市西久保町*=0.8 太田市西本町*=0.8 沼田市利根町*=0.7 太田市大原町*=0.7 群馬千代田町赤岩*=0.6 片品村鎌田*=0.5 前橋市柏川町*=0.5 桐生市新里町*=0.5 千葉県 1 成田市花崎町=1.0 香取市佐原下川岸=0.9 柏市旭町=0.8 千葉花見川区花島町*=0.7 野田市東宝珠花*=0.6 東京都 1 東京新宿区上落合*=0.8 東京足立区伊興*=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京中野区江古田*=0.7 東京杉並区高井戸*=0.6				
50	16 19 54	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁=0.5	34° 14.4' N	135° 12.0' E	6km	M: 2.3
51	16 19 58	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 枕崎市高見町=0.6	31° 12.6' N	130° 16.4' E	5km	M: 2.7
52	17 12 48	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=0.6	35° 59.4' N	137° 21.0' E	8km	M: 1.8
53	17 21 37	台湾付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.7	24° 06.0' N	121° 43.2' E	78km	M: 5.0
54	17 23 51	千島列島 北海道 1 別海町常盤=0.8 根室市落石東*=0.6	46° 05.9' N	152° 06.3' E	30km F	M: 5.7
55	18 01 14	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.5	24° 06.8' N	123° 34.3' E	21km	M: 3.9
56	18 01 21	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.5	24° 06.7' N	123° 34.8' E	20km	M: 3.3
57	18 17 58	富山県東部 長野県 1 大町市役所=1.1 小川村高府*=0.6 大町市大町図書館*=0.5	36° 29.7' N	137° 39.3' E	2km	M: 3.1
58	19 04 17	千島列島 北海道 3 釧路町別保*=2.5 2 浦幌町桜町*=2.2 白糠町西1条*=2.2 別海町常盤=2.2 別海町本別海*=1.9 釧路市音別町直別*=1.8 標津町北2条*=1.8 標茶町塘路*=1.7 厚岸町真栄町*=1.6 釧路市黒金町*=1.6 十勝大樹町東本通*=1.6 釧路市阿寒町中央*=1.5 1 新冠町北星町*=1.4 釧路市幸町=1.4 根室市落石東*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.3 弟子屈町弟子屈*=1.3 函館市新浜町*=1.2 清里町羽衣町*=1.2 標茶町川上*=1.2 幕別町忠類錦町*=1.2 十勝清水町南4条=1.1 大空町東藻琴*=1.1 鶴居村鶴居東*=1.1 新ひだか町静内御幸町*=1.1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.0 浜中町霧多布*=1.0 音更町元町*=1.0 様似町栄町*=1.0 幕別町本町*=1.0 根室市瑤瑤瑠*=1.0 更別村更別*=0.9 十勝大樹町生花*=0.9 厚岸町尾幌=0.8 斜里町本町=0.8 弟子屈町サワンチサップ*=0.8 帯広市東4条=0.8 弟子屈町美里=0.8 鹿追町東町*=0.7 根室市弥栄=0.6 根室市牧の内*=0.6 芽室町東2条*=0.6 浦河町潮見=0.5 青森県 1 東通村小田野沢*=1.0 東北町上北南*=0.9 おいらせ町中下田*=0.8 六戸町犬瀨瀬*=0.7 五戸町古館=0.6 おいらせ町上明堂*=0.6 七戸町森ノ上*=0.6 外ヶ浜町蟹田*=0.5 東通村砂子又*=0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区蕨川*=1.0 二戸市福岡=0.5 宮城県 1 登米市迫町*=0.9 栗原市金成*=0.6 登米市米山町*=0.5	45° 59.4' N	152° 04.4' E	30km F	M: 6.5
59	19 18 05	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.6	23° 33.3' N	142° 39.9' E	180km	M: 5.5
60	19 22 31	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町大賀郷金土川*=1.0 八丈町三根=0.9	32° 59.5' N	140° 17.7' E	48km	M: 4.0
61	20 16 22	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市笠利町里*=1.1 天城町平土野*=1.1 奄美市名瀬港町=0.7 伊仙町伊仙*=0.7	27° 05.6' N	130° 00.3' E	59km	M: 5.1
62	21 01 55	瀬戸内海中部 岡山県 1 浅口市天草公園=1.3 笠岡市笠岡*=1.0 笠岡市殿川*=1.0 浅口市鴨方町*=0.8 里庄町里見*=0.7 井原市井原町*=0.6 広島県 1 福山市沼隈町*=1.2 福山市内海町*=1.1 尾道市向島町*=0.8 福山市東桜町*=0.8 三原市本郷南*=0.8 三原市円一町=0.7 福山市松永町=0.6 福山市鞆町*=0.6 三原市館町*=0.5 香川県 1 多度津町家中=0.7 多度津町栄町*=0.7 三豊市高瀬町*=0.7 坂出市室町*=0.5 三豊市山本町*=0.5	34° 20.4' N	133° 27.2' E	19km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
63	21 05 10	津軽海峡 北海道 1 木古内町木古内*=1.1	41° 40.2' N	140° 30.4' E	15km	M: 2.8
64	21 05 16	津軽海峡 北海道 2 木古内町木古内*=1.5 1 知内町重内*=0.7	41° 40.3' N	140° 30.3' E	15km	M: 3.1
65	21 07 54	茨城県沖 茨城県 3 神栖市溝口*=2.7 2 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 茨城鹿嶋市宮中*=2.3 鉾田市汲上*=2.2 鉾田市当間*=2.2 小美玉市上玉里*=2.0 神栖市波崎*=2.0 小美玉市小川*=1.9 ひたちなか市南神敷台*=1.9 潮来市辻*=1.9 土浦市下高津*=1.8 行方市麻生*=1.8 行方市玉造*=1.8 土浦市常名=1.8 鉾田市造谷*=1.8 つくば市谷田部*=1.7 鉾田市鉾田=1.7 石岡市柿岡=1.7 日立市役所*=1.6 稲敷市須賀津*=1.6 稲敷市結佐*=1.6 かすみがうら市上土田*=1.6 小美玉市堅倉*=1.6 水戸市内原町*=1.6 行方市山田*=1.6 稲敷市役所*=1.5 土浦市藤沢*=1.5 常陸太田市高柿町*=1.5 1 水戸市金町=1.4 茨城町小堤*=1.4 美浦村受領*=1.4 稲敷市江戸崎甲*=1.4 筑西市門井*=1.4 阿見町中央*=1.3 笠間市中央*=1.3 筑西市舟生=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 つくばみらい市加藤*=1.3 石岡市石岡*=1.3 取手市井野*=1.3 つくば市小荖*=1.3 日立市助川小学校*=1.3 那珂市瓜連*=1.2 取手市寺田*=1.2 稲敷市柴崎*=1.2 常陸大宮市野口*=1.2 筑西市下山*=1.2 牛久市中央*=1.2 かすみがうら市大和田*=1.2 つくば市天王台*=1.2 桜川市真壁*=1.2 那珂市福田*=1.2 常陸大宮市山方*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.1 笠間市石井*=1.1 東海村東海*=1.1 桜川市羽田*=1.1 常総市水海道諏訪町*=1.1 水戸市中央*=1.1 石岡市八郷*=1.0 水戸市千波町*=1.0 つくばみらい市福田*=1.0 守谷市大柏*=1.0 大子町池田*=1.0 大洗町磯浜町*=0.9 常陸大宮市北町*=0.8 城里町阿波山*=0.8 利根町布川=0.7 坂東市岩井=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 筑西市海老ヶ島*=0.7 高萩市安良川*=0.6 千葉県 3 旭市南堀之内*=2.6 旭市萩園*=2.6 旭市高生*=2.5 2 香取市仁良*=2.3 多古町多古=2.2 匝瑳市今泉*=2.2 旭市二*=2.1 香取市佐原下川岸=2.0 香取市役所*=2.0 香取市羽根川*=2.0 横芝光町宮川*=2.0 東金市日吉台*=1.9 成田市花崎町=1.9 匝瑳市八日市場ハ*=1.8 山武市殿台*=1.8 東庄町笹川*=1.8 銚子市川口町=1.7 銚子市若宮町*=1.7 山武市蓮沼ハ*=1.7 香取市佐原諏訪台*=1.7 横芝光町横芝*=1.6 九十九里町片貝*=1.6 山武市埴谷*=1.6 千葉神崎町神崎本宿*=1.5 東金市東新宿=1.5 東金市東岩崎*=1.5 1 香取市岩部*=1.4 山武市松尾町松尾*=1.4 成田市松子*=1.4 市原市姉崎*=1.4 芝山町小池*=1.3 成田国際空港=1.3 成田市中台*=1.3 成田市役所*=1.3 印西市大森*=1.3 千葉栄町安食台*=1.3 八街市八街*=1.2 本塾村笠神*=1.2 富里市七栄*=1.2 千葉倉市海隣寺町*=1.1 千葉中央区都町*=1.1 千葉花見川区花島町*=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 千葉一宮町一宮=1.0 長生村本郷*=1.0 印旛村瀬戸*=1.0 君津市久留里市場*=1.0 大多喜町大多喜*=1.0 茂原市道表*=0.9 四街道市鹿渡*=0.9 千葉中央区中央港=0.8 長柄町大津倉=0.6 銚子市天王台=0.5 栃木県 2 真岡市石島*=1.9 茂木町小井戸*=1.8 真岡市田町*=1.6 1 益子町益子=1.3 真岡市荒町*=1.2 市貝町市塙*=1.2 那須烏山市中央=1.2 大田原市湯津上*=1.0 小山市神鳥谷*=0.8 日光市中宮祠=0.5 宇都宮市明保野町=0.5 鹿沼市晃望台*=0.5 福島県 1 玉川村小高*=1.3 白河市東*=1.2 鏡石町不時沼*=1.0 古殿町松川*=1.0 須賀川市八幡山*=0.9 白河市新白河*=0.6 浅川町浅川*=0.5 郡山市朝日=0.5 いわき市錦町*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=1.0 久喜市下早見=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6	35° 54.0' N	140° 50.6' E	41km	M: 4.6
66	21 07 56	津軽海峡 北海道 1 木古内町木古内*=1.0	41° 40.4' N	140° 30.4' E	15km	M: 2.9
67	21 10 16	択捉島南東沖 北海道 1 別海町常盤=1.3 根室市落石東*=1.3 標津町北2条*=1.1 標茶町塘路*=1.0 根室市瑠瑠瑠*=1.0 別海町本別海*=0.9 白糠町西1条*=0.8 釧路市阿寒町中央*=0.6	44° 03.8' N	148° 04.9' E	0km	M: 5.0
68	21 18 57	福島県沖 宮城県 3 石巻市桃生町*=3.0 岩沼市桜*=2.8 角田市角田*=2.5 2 丸森町鳥屋*=2.3 名取市増田*=2.2 宮城川崎町前川*=2.2 仙台空港=2.1 山元町浅生原*=2.1 石巻市門脇*=2.1 塩竈市旭町*=2.1 東松島市矢本*=2.1 亘理町下小路*=2.0 宮城美里町木間塚*=2.0 仙台青葉区作並*=2.0 大崎市古川三日町=2.0 大崎市松山*=2.0 涌谷町新町=2.0 栗原市金成*=2.0 蔵王町円田*=2.0 大河原町新南*=2.0 登米市中田町=2.0 登米市迫町*=2.0 栗原市瀬峰*=1.9 大崎市田尻*=1.9 色麻町四籠*=1.9 登米市南方町*=1.8 白石市亘理町*=1.8 大衡村大衡*=1.8 宮城加美町中新田*=1.8 栗原市築館*=1.8 登米市米山町*=1.8 仙台若林区遠見塚*=1.8 大崎市鹿島台*=1.8 栗原市志波姫*=1.7 仙台宮城野区五輪=1.7 村田町村田*=1.7 登米市登米町*=1.7 東松島市小野*=1.7 利府町利府*=1.7 仙台宮城野区苦竹*=1.6 柴田町船岡=1.6 栗原市若柳*=1.6 石巻市前谷地*=1.6 大崎市古川北町*=1.6 南三陸町志津川=1.6 大郷町粕川*=1.6 宮城美里町北浦*=1.6 栗原市高清水*=1.5 仙台太白区山田*=1.5 栗原市一迫*=1.5 仙台青葉区雨宮*=1.5 仙台青葉区落合*=1.5 南三陸町歌津*=1.5 1 栗原市栗駒=1.4 仙台青葉区大倉=1.4 仙台泉区将監*=1.4 石巻市北上町*=1.4 七ヶ浜町東宮浜*=1.4 富谷町富谷*=1.3 七ヶ宿町関*=1.3 石巻市泉町=1.3 気仙沼市赤岩=1.3 石巻市相野谷*=1.3 宮城加美町小野田*=1.3 登米市東和町*=1.2 登米市石越町*=1.2 大和町吉岡*=1.2 大崎市三本木*=1.2 丸森町上滝=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.2 松島町松島=1.1 大崎市鳴子*=1.1 女川町女川浜*=1.0 宮城加美町宮崎*=1.0 栗原市鷺沢*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 大崎市岩出山*=0.9 栗原市花山*=0.8 石巻市大瓜=0.7 多賀城市中央*=0.7 登米市津山町*=0.6	37° 20.4' N	141° 35.2' E	45km	M: 5.2

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		福島県 3 本吉町津谷*=-0.6 石巻市雄勝町*=-0.5 いわき市三和町*=-3.4 富岡町本岡*=-3.1 榑葉町北田*=-3.0 田村市大越町*=-2.9 大熊町下野上*=-2.8 葛尾村落合閣下*=-2.8 いわき市平四ツ波*=-2.7 福島広野町下北迫大谷地原*=-2.7 浪江町幾世橋*=-2.7 平田村永田*=-2.7 白河市新白河*=-2.6 川内村上川内早渡*=-2.5 本宮市糠沢*=-2.5 2 白河市表郷*=-2.4 双葉町新山*=-2.4 南相馬市鹿島区*=-2.4 田村市滝根町*=-2.3 田村市都路町*=-2.3 いわき市錦町*=-2.3 福島広野町下北迫苗代替*=-2.3 大熊町野上*=-2.3 玉川村小高*=-2.3 須賀川市岩瀬支所*=-2.2 飯館村伊丹沢*=-2.2 南相馬市小高区*=-2.2 本宮市本宮*=-2.2 川俣町五百田*=-2.2 郡山市湖南町*=-2.1 田村市常葉町*=-2.1 福島伊達市霊山町*=-2.1 福島伊達市月館町*=-2.1 白河市郭内*=-2.1 相馬市中村*=-2.1 川内村上川内小山平*=-2.1 二本松市油井*=-2.1 二本松市針道*=-2.1 葛尾村落合落合*=-2.1 新地町谷地小屋*=-2.1 国見町藤田*=-2.1 南相馬市原町区高見町*=-2.1 中島村滑津*=-2.1 小野町小野新町*=-2.1 川内村下川内*=-2.0 天栄村下松本*=-2.0 西郷村熊倉*=-2.0 田村市船引町*=-2.0 会津若松市古川町*=-2.0 二本松市郭内*=-2.0 鏡石町不時沼*=-1.9 白河市東*=-1.9 福島伊達市梁川町*=-1.9 棚倉町棚倉中居野*=-1.9 須賀川市八幡山*=-1.9 小野町中通*=-1.9 いわき市小名浜*=-1.9 福島市五老内町*=-1.8 桑折町東大隅*=-1.8 郡山市朝日*=-1.8 南相馬市原町区三島町*=-1.8 福島伊達市前川原*=-1.8 郡山市開成*=-1.8 福島伊達市保原町*=-1.8 いわき市平梅本*=-1.8 須賀川市八幡町*=-1.8 浅川町浅川*=-1.8 古殿町松川*=-1.8 矢吹町一本木*=-1.7 福島市桜木町*=-1.7 猪苗代町千代田*=-1.6 二本松市金色*=-1.6 大玉村玉井*=-1.6 白河市八幡小路*=-1.6 泉崎村泉崎*=-1.6 福島市松木町*=-1.6 石川町下泉*=-1.6 南相馬市原町区本町*=-1.5 白河市大信*=-1.5 須賀川市長沼支所*=-1.5 1 矢祭町東館館本*=-1.4 三春町大町*=-1.4 会津美里町新鶴庁舎*=-1.4 福島市飯野町*=-1.3 大玉村曲藤*=-1.3 猪苗代町城南*=-1.2 西会津町登世島*=-1.1 会津若松市東栄町*=-1.0 喜多方市塩川町*=-1.0 磐梯町磐梯*=-1.0 矢祭町東館下上野内*=-1.0 塙町塙*=-0.9 会津若松市材木町*=-0.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*=-0.7 西会津町野沢*=-0.6 会津美里町本郷庁舎*=-0.6 鮫川村赤坂中野*=-0.6 二本松市小浜*=-0.5 下郷町高隣*=-0.5				
		栃木県 3 茂木町小井戸*=-2.6 2 大田原市湯津上*=-2.2 那須町寺子*=-2.2 市貝町市塙*=-1.8 宇都宮市明保野町*=-1.7 那須烏山市中央*=-1.6 益子町益子*=-1.5 1 真岡市石島*=-1.4 高根沢町石末*=-1.4 栃木那珂川町小川*=-1.4 大田原市本町*=-1.3 鹿沼市晃望台*=-1.3 芳賀町祖母井*=-1.3 栃木那珂川町馬頭*=-1.3 宇都宮市中里町*=-1.2 栃木さくら市喜連川*=-1.2 下野市小金井*=-1.2 日光市今市本町*=-1.1 大田原市黒羽田町*=-1.1 那須塩原市鍋掛*=-1.1 小山市神鳥谷*=-1.1 真岡市田町*=-1.1 茂木町茂木*=-1.1 那須烏山市大金*=-1.1 那須塩原市中塩原*=-1.0 那須塩原市塩原庁舎*=-1.0 足利市大正町*=-1.0 鹿沼市今宮町*=-1.0 日光市中宮祠*=-1.0 日光市中鉢石町*=-1.0 那須塩原市共壘社*=-0.9 鹿沼市口栗野*=-0.9 真岡市荒町*=-0.9 日光市瀬川*=-0.9 日光市鬼怒川温泉大原*=-0.9 矢板市本町*=-0.9 下野市石橋*=-0.8 那須塩原市藁沼*=-0.7 那須烏山市役所*=-0.7 栃木市旭町*=-0.7 佐野市中町*=-0.6 宇都宮市塙田*=-0.5 足利市名草上町*=-0.5 日光市足尾町中才*=-0.5				
		岩手県 2 北上市二子町*=-1.7 一関市花泉町*=-1.7 一関市室根町*=-1.7 一関市千厩町*=-1.6 陸前高田市高田町*=-1.6 藤沢町藤沢*=-1.5 1 盛岡市玉山区薮川*=-1.4 矢巾町南矢幅*=-1.4 平泉町平泉*=-1.4 大槌町新町*=-1.3 釜石市中妻町*=-1.3 奥州市前沢区*=-1.3 奥州市胆沢区*=-1.2 大船渡市大船渡町*=-1.2 花巻市東和町*=-1.2 普代村銅屋*=-1.1 盛岡市山王町*=-1.1 一関市舞川*=-1.1 一関市山目*=-1.1 二戸市福岡*=-1.0 八幡平市野駄*=-1.0 山田町大沢*=-1.0 金ヶ崎町西根*=-1.0 花巻市石鳥谷町*=-1.0 奥州市衣川区*=-0.9 北上市柳原町*=-0.9 八幡平市田頭*=-0.8 遠野市松崎町*=-0.8 一関市川崎町*=-0.8 花巻市大迫町*=-0.7 遠野市宮守町*=-0.7 奥州市水沢区大鐘町*=-0.7 奥州市水沢区佐倉河*=-0.7 川井村田代*=-0.7 住田町世田米*=-0.6 一関市大東町*=-0.5 大船渡市猪川町*=-0.5 釜石市越町*=-0.5 川井村川井*=-0.5 宮古市五月町*=-0.5				
		山形県 2 米沢市林泉寺*=-1.5 1 上山市河崎*=-1.3 高畠町高畠*=-1.3 河北町谷地*=-1.1 白鷹町荒砥*=-1.1 東根市中央*=-1.0 米沢市駅前*=-0.9 尾花沢市若葉町*=-0.8 西川町大井沢*=-0.7 白鷹町黒鴨*=-0.6 大蔵村肘折*=-0.5 山形市薬師町*=-0.5				
		茨城県 2 大子町池田*=-2.3 日立市十王町友部*=-2.0 高萩市安良川*=-2.0 常陸大宮市野口*=-2.0 鉾田市当間*=-2.0 日立市助川小学校*=-1.9 日立市役所*=-1.8 水戸市金町*=-1.7 常陸太田市高柿町*=-1.7 笠間市石井*=-1.7 常陸大宮市山方*=-1.7 土浦市常名*=-1.7 北茨城市磯原町*=-1.6 笠間市中央*=-1.6 ひたちなか市南神敷台*=-1.6 常陸大宮市北町*=-1.6 城里町石塚*=-1.6 小美玉市堅倉*=-1.6 筑西市舟生*=-1.6 桜川市岩瀬*=-1.6 水戸市内原町*=-1.5 那珂市瓜連*=-1.5 城里町阿波山*=-1.5 常陸太田市金井町*=-1.5 土浦市下高津*=-1.5 石岡市柿岡*=-1.5 桜川市真壁*=-1.5 桜川市羽田*=-1.5 高萩市本町*=-1.5 1 常陸太田市町屋町*=-1.4 筑西市門井*=-1.4 水戸市千波町*=-1.3 水戸市中央*=-1.3 常陸太田市町田町*=-1.3 常陸太田市大中町*=-1.3 笠間市下郷*=-1.3 ひたちなか市東石川*=-1.3 常陸大宮市小瀬*=-1.3 那珂市福田*=-1.3 小美玉市小川*=-1.3 石岡市八郷*=-1.3 坂東市山*=-1.3 小美玉市上玉里*=-1.2 土浦市藤沢*=-1.2 取手市寺田*=-1.2 茨城鹿嶋市鉢形*=-1.2 美浦村受領*=-1.2 稲敷市江戸崎甲*=-1.2 かすみがうら市土上土田*=-1.2 鉾田市汲上*=-1.2 茨城町小堤*=-1.2 鉾田市鉾田*=-1.1 取手市井野*=-1.1 つくば市天王台*=-1.1 つくば市小荻*=-1.1 常陸大宮市中富町*=-1.1 稲敷市役所*=-1.1 茨城鹿嶋市宮中*=-1.0 東海村東海*=-1.0 五霞町小福田*=-1.0 常陸大宮市高部*=-1.0 筑西市下中山*=-1.0 筑西市海老ヶ島*=-1.0 行方市麻生*=-1.0 鉾田市造谷*=-1.0 常総市新石下*=-1.0 つくばみらい市福田*=-1.0 坂東市岩井*=-0.9 常総市水海道諏訪町*=-0.9 稲敷市柴崎*=-0.9 潮来市辻*=-0.9 阿見町中央*=-0.9 行方市山田*=-0.9 下妻市本城町*=-0.8 かすみがうら市大和田*=-0.8 守谷市大柏*=-0.8 利根町布川*=-0.8 行方市玉造*=-0.8 坂東市役所*=-0.8 茨城古河市仁連*=-0.8 茨城古河市下大野*=-0.7 牛久市中央*=-0.7				
		青森県 1 階上町道仏*=-1.1 五戸町古館*=-0.7 六戸町犬落瀬*=-0.7 東通村小田野沢*=-0.6 おいらせ町中下田*=-0.5 東北町上北南*=-0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		秋田県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県				
		1 大仙市刈和野*0.6 仙北市西木町上桧木内*0.6 大仙市高梨*0.5 1 邑楽町中野*1.2 沼田市白沢町*1.0 伊勢崎市西久保町*1.0 富士見村田島*1.0 大泉町日の出*1.0 桐生市黒保根町*0.9 太田市西本町*0.9 沼田市利根町*0.8 桐生市新里町*0.8 群馬千代田町赤岩*0.8 桐生市元宿町*0.7 館林市城町*0.7 群馬明和町新里*0.6 六合村小雨*0.6 高崎市高松町*0.6 伊勢崎市今泉町*0.6 館林市美園町*0.6 吉岡町下野田*0.6 太田市浜町*0.5 板倉町板倉=0.5				
		1 熊谷市大里*1.1 久喜市下早見=1.1 鴻巣市中央*1.0 吉見町下細谷*1.0 春日部市金崎*1.0 東松山市松葉町*0.9 久喜市青葉*0.8 春日部市谷原新田*0.8 行田市本丸*0.8 川島町平沼*0.7 さいたま大宮区天沼町*0.7 東松山市市ノ川*0.7 滑川町福田*0.7 嵐山町杉山*0.7 加須市下三俣*0.6 埼玉美里町木部*0.6 坂戸市千代田*0.6 熊谷市妻沼*0.5 北本市本町*0.5 秩父市近戸町*0.5				
		1 香取市佐原下川岸=1.2 印西市大森*1.2 成田市花崎町=1.1 本埜村笠神*1.1 千葉栄町安食台*1.1 香取市役所*1.0 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 印旛村瀬戸*1.0 千葉中央区都町*0.9 千葉花見川区花島町*0.9 成田国際空港=0.9 千葉若葉区小倉台*0.8 野田市東宝珠花*0.8 香取市仁良*0.7 多古町多古=0.6 香取市佐原諏訪台*0.6 東金市日吉台*0.5				
		1 東京千代田区大手町=0.9 東京杉並区桃井*0.8 東京杉並区高井戸*0.8 町田市中町*0.8 東京北区赤羽南*0.6 東京葛飾区金町*0.6 東京千代田区九段南*0.5 東京中央区日本橋兜町*0.5 東京港区南青山*0.5 東京中野区江古田*0.5 東京北区西ヶ原*0.5 東京荒川区東尾久*0.5 武蔵野市吉祥寺東町*0.5 三鷹市野崎*0.5				
		1 横浜中区山手町=0.5 1 見附市昭和町*1.2				
69	21 20 43	豊後水道 愛媛県	33° 17.7' N	132° 23.4' E	39km	M: 4.0
		3 西予市明浜町*2.8 2 宇和島市丸穂*2.4 宇和島市三間町*2.4 西予市野村町=2.3 宇和島市吉田町*2.2 西予市三瓶町*2.1 伊方町湊浦*1.9 松野町松丸*1.9 大洲市脇川町*1.9 内子町平岡*1.9 西予市宇和町*1.8 宇和島市津島町*1.8 宇和島市住吉町=1.7 内子町内子*1.7 愛南町一本松*1.7 愛媛鬼北町近永*1.6 八幡浜市保内町*1.5 八幡浜市五反田*1.5 1 大洲市大洲*1.4 愛南町船越*1.3 愛南町柏*1.2 愛南町城辺*1.2 久万高原町久万*1.1 伊方町三机*1.1 西予市城川町*1.1 愛媛鬼北町下鍵山*0.9 西条市丹原町鞍瀬=0.9 東温市南方*0.9 大洲市長浜*0.9 内子町小田*0.8 伊方町三崎*0.8 今治市南宝来町一丁目*0.7 八幡浜市広瀬=0.7 愛南町御荘*0.6 松山市北条辻*0.5 伊予市中山町*0.5				
		高知県 3 宿毛市桜町*3.0 2 黒潮町佐賀*1.7 宿毛市片島=1.5 1 黒潮町入野=1.4 四万十市西土佐江川崎*1.3 四万十市中村大橋通*1.1 四万十市八反原児童公園*1.1 大月町弘見*1.0 四万十町田野々*1.0 三原村来栖野*1.0 四万十町十川*0.9 中土佐町久礼*0.5				
		山口県 1 上関町長島*1.3 周防大島町東和総合支所*1.1 周防大島町平野*1.0 柳井市大島*0.8 田布施町役場*0.8 周防大島町久賀*0.5				
		大分県 1 佐伯市中村南=1.3 国東市田深*1.0 津久見市立花町*0.9 佐伯市蒲江=0.6 国東市鶴川=0.6				
		宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石*0.7 高千穂町三田井=0.7				
70	22 01 23	宮古島近海 沖縄県	24° 46.5' N	125° 25.2' E	46km	M: 3.3
		1 宮古島市城辺福北=1.0 宮古島市平良西仲宗根=0.6 宮古島市城辺福西*0.5				
71	22 20 24	種子島南東沖 鹿児島県	30° 03.6' N	131° 18.9' E	37km	M: 4.8
		2 南種子町中之上*2.0 南種子町西之*1.9 中種子町野間*1.8 1 屋久島町宮之浦*1.4 錦江町田代支所*1.3 屋久島町口永良部島公民館*1.2 鹿屋市新栄町=1.0 大崎町仮宿*0.8 西之表市住吉=0.8 西之表市役所*0.6 西之表市西之表=0.5				
72	22 20 31	種子島南東沖 鹿児島県	30° 03.1' N	131° 19.3' E	33km	M: 4.0
		1 屋久島町宮之浦*0.5				
73	23 02 26	種子島近海 鹿児島県	30° 27.9' N	130° 58.9' E	11km	M: 2.5
		1 中種子町野間*0.6				
74	23 09 19	宮崎県北部平野部 宮崎県	32° 13.0' N	131° 32.7' E	17km	M: 2.3
		1 宮崎都農町役場*0.6				
75	24 00 34	釧路沖 北海道	42° 45.0' N	144° 16.1' E	66km	M: 3.2
		1 標茶町塘路*0.6				
76	24 04 19	奄美大島近海 鹿児島県	27° 59.7' N	130° 14.6' E	34km	M: 4.4
		2 喜界町滝川=1.9 喜界町湾*1.6 1 奄美市笠利町里*1.2 奄美市市瀬港町=0.9				
77	24 13 45	山形県村山地方 山形県	38° 27.6' N	140° 11.6' E	12km	M: 2.7
		1 寒河江市中央*1.2 大蔵村肘折*1.0 河北町谷地=1.0 西川町海味*1.0 寒河江市寒河江*0.5				
78	24 15 03	茨城県沖 茨城県	36° 07.2' N	140° 52.6' E	43km	M: 3.5
		2 鉾田市当間*1.5 1 水戸市金町=1.2 ひたちなか市南神敷台*1.0 土浦市常名=1.0 茨城鹿嶋市宮中*1.0				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		鉾田市造谷*0.8 常陸大宮市北町*0.7 日立市助川小学校*0.7 鉾田市波上*0.7 水戸市中央*0.6 かすみがうら市上土田*0.6 水戸市千波町*0.5 水戸市内原町*0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*0.5				
79	24 22 04	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村金長=0.9 神津島村役場*0.9	34° 14.6' N	139° 04.0' E	8km	M: 2.3
80	24 23 37	宮城県沖 岩手県 1 北上市二子町*0.8 宮城県 1 石巻市桃生町*0.7 南三陸町歌津*0.6	38° 10.1' N	142° 10.6' E	42km	M: 4.0
81	25 00 52	渡島支庁東部 北海道 1 七飯町本町*0.7	41° 55.0' N	140° 43.7' E	12km	M: 2.1
82	25 22 54	岩手県沖 青森県 3 八戸市南郷区*2.8 五戸町古館=2.8 青森南部町平*2.6 階上町道仏*2.6 八戸市湊町=2.5 東通村小田野沢*2.5 2 三沢市桜町*2.4 青森南部町苜米地*2.3 八戸市内丸*2.2 野辺地町田沢沢*2.2 平内町小湊=2.1 おいらせ町中下田*2.1 野辺地町野辺地*2.1 七戸町森ノ上*2.1 東北町上北南*2.1 青森南部町沖田面*2.0 東通村砂子又*2.0 七戸町七戸*2.0 五戸町倉石中*1.9 六戸町大落瀬*1.9 青森市花園=1.9 おいらせ町上明堂*1.9 むつ市金谷*1.7 むつ市金谷*1.7 八戸市島守=1.7 外ヶ浜町蟹田*1.7 青森市中央*1.6 横浜町林ノ脇*1.6 十和田市西二番町*1.6 十和田市奥瀬*1.6 田子町田子*1.6 むつ市大畑町中島*1.6 横浜町寺下*1.5 東北町塔ノ沢山*1.5 1 十和田市西十二番町*1.4 六ヶ所村尾駈=1.4 むつ市川内町*1.4 むつ市脇野沢*1.3 新郷村戸来*1.3 三戸町在府小路*1.2 平内町東田沢*1.2 佐井村長後*1.2 大間町大間*1.1 中泊町中里*0.9 蓬田村蓬田*0.9 中泊町小泊*0.8 田舎館村田舎館*0.8 青森市浪岡*0.8 五所川原市金木町*0.7 東通村尻屋*0.7 藤崎町西豊田*0.7 外ヶ浜町三蔵*0.6 今別町今別*0.6 つがる市市柏*0.5 つがる市車力町*0.5 平川市柏木町*0.5 外ヶ浜町平館*0.5 岩手県 3 盛岡市玉山区薮川*3.4 普代村銅屋*3.2 野田村野田*2.9 盛岡市玉山区洪民*2.9 二戸市福岡=2.9 二戸市浄法寺町*2.9 八幡平市田頭*2.8 北上市二子町*2.7 八幡平市叭田*2.6 一戸町高善寺*2.5 八幡平市野駄*2.5 軽米町軽米*2.5 久慈市長内町*2.5 2 矢巾町南矢幅*2.4 久慈市川崎町=2.3 滝沢村鶴飼*2.3 岩手洋野町種市=2.2 盛岡市山王町=2.2 葛巻町葛巻元木=2.2 岩手町五日市*2.2 花巻市東和町*2.2 八幡平市大更=2.1 花巻市石鳥谷町*2.1 奥州市胆沢区*2.1 山田町大沢*2.0 川井村川井*2.0 九戸村伊保内*2.0 陸前高田市高田町*2.0 花巻市大迫町=2.0 大槌町新町*2.0 紫波町日詰*1.9 二戸市石切所*1.9 花巻市材木町*1.9 宮古市田老*1.9 盛岡市馬場町*1.9 北上市柳原町=1.8 一関市花泉町*1.8 奥州市江刺区*1.8 宮古市五月町*1.8 遠野市松崎町*1.7 遠野市宮守町*1.7 平泉町平泉*1.7 一関市千厩町*1.6 西和賀町沢内川舟*1.6 奥州市前沢区*1.6 宮古市茂市*1.6 雫石町千刈田=1.6 花巻市大迫総合支所*1.6 川井村田代*1.6 金ヶ崎町西根*1.5 奥州市衣川区*1.5 藤沢町藤沢*1.5 釜石市中妻町*1.5 1 奥州市水沢区大鐘町=1.4 奥州市水沢区佐倉河*1.4 岩泉町岩泉*1.3 田野畑村田野畑=1.3 田野畑村役場*1.3 葛巻町消防分署*1.3 一関市室根町*1.3 西和賀町沢内太田*1.2 岩手洋野町大野*1.2 大船渡市大船渡町=1.2 山田町八幡町=1.2 葛巻町役場*1.2 一関市山目*1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.1 久慈市山形町*1.1 釜石市只越町=1.0 一関市舞川=1.0 西和賀町尻*1.0 住田町世田*0.9 宮古市長沢=0.8 一関市大東町=0.7 大船渡市猪川町=0.6 大船渡市盛町*0.5 北海道 2 函館市泊町*1.6 1 函館市新浜町*1.3 様似町栄町*0.9 函館市日ノ浜町*0.8 新冠町北星町*0.7 知内町重内*0.6 宮城県 2 涌谷町新町=2.0 栗原市金成*2.0 石巻市桃生町*2.0 栗原市若柳*1.8 登米市迫町*1.8 登米市登米町*1.7 栗原市栗駒=1.6 登米市南方町*1.6 栗原市一迫*1.5 栗原市志波姫*1.5 登米市米山町*1.5 気仙沼市笹が陣*1.5 南三陸町志津川=1.5 宮城美里町木間塚*1.5 大崎市田尻*1.5 1 登米市中田町=1.4 大崎市松山*1.4 石巻市相野谷*1.4 石巻市前谷地*1.4 気仙沼市赤岩=1.3 栗原市瀬峰*1.3 大崎市古川三日町=1.3 大崎市古川北町*1.3 大崎市鹿島台*1.3 東松島市矢本*1.3 丸森町鳥屋*1.2 石巻市門脇*1.1 気仙沼市唐桑町*1.1 栗原市高清水*1.1 栗原市鶯沢*1.0 大河原町新南*1.0 宮城美里町北浦*1.0 栗原市築館*1.0 名取市増田*0.9 岩沼市桜*0.9 色麻町四籠*0.9 栗原市花山*0.9 利府町利府*0.8 大衡村大衡*0.8 石巻市北上町*0.8 宮城加美町中新田*0.8 蔵王町円田*0.7 亘理町下小路*0.7 登米市東和町*0.6 登米市石越町*0.5 南三陸町歌津*0.5 山元町浅生原*0.5 宮城加美町小野田*0.5 大崎市岩出山*0.5 秋田県 2 北秋田市新田目*1.9 大館市比内町扇田*1.5 大館市早口*1.5 1 大館市桜町*1.4 大館市中城*1.4 北秋田市花園町=1.4 大仙市高梨*1.4 由利本荘市前郷*1.2 鹿角市花輪*1.2 小坂町小坂砂森*1.2 大仙市刈和野*1.2 仙北市田沢湖生保内上清水*1.2 北秋田市米内沢*1.1 横手市大雄*1.1 能代市二ツ井町上台*1.1 仙北市角館町東勝堂丁=1.1 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.1 仙北市角館町小勝田*1.0 上小阿仁村小沢田*1.0 大仙市北長野*0.9 北秋田市阿仁銀山*0.8 横手市雄物川町今宿=0.8 横手市平鹿町浅舞*0.8 横手市大森町*0.8 湯沢市沖鶴=0.8 羽後町西馬音内*0.8 秋田美郷町六郷東根=0.8 藤里町藤琴*0.8 大館市比内町味噌内=0.8 仙北市西木町上荒井*0.8 東成瀬村田子内*0.7 横手市中央町*0.7 秋田市河辺和田*0.7 秋田美郷町飯詰*0.6 東成瀬村椿川*0.6 小坂町小坂鉱山*0.6 秋田美郷町土崎*0.6 湯沢市佐竹町*0.5 湯沢市川連町*0.5 三種町鶴川*0.5 大仙市神宮寺*0.5 由利本荘市矢島町矢島町*0.5 横手市増田町増田*0.5 大仙市太田町太田*0.5 横手市十文字町*0.5 横手市山内土淵*0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
83	26 09 47	栃木県南部 茨城県 栃木県 群馬県	36° 17.2' N	139° 48.3' E	68km	M: 3.2
		1 常陸大宮市北町*0.5 1 足利市名草上町=1.0 佐野市中町*0.6 茂木町小井戸*0.5 1 邑楽町中野*0.5				
84	26 12 56	関東東方沖 栃木県	36° 04.5' N	143° 00.0' E	88km	M: 4.7
		1 茂木町小井戸*0.6				
85	27 07 45	島根県西部 島根県	35° 05.5' N	132° 30.4' E	14km	M: 3.0
		2 大田市仁摩町仁万*1.6 1 川本町川本*1.1 大田市温泉津町小浜*0.8 島根美郷町邑智高校*0.8				
86	27 13 22	詳細不明 東京都				
		1 小笠原村母島=1.2 小笠原村父島三日月山=1.1				
87	27 18 54	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 34.3' N	136° 23.7' E	12km	M: 2.7
		1 揖斐川町東津波*1.4 揖斐川町東杉原*1.2 揖斐川町西横山*0.8				
88	28 05 34	愛知県西部 長野県 岐阜県 愛知県	35° 18.1' N	137° 00.7' E	44km	M: 3.4
		1 長野高森町下市田*0.5 王滝村役場*0.5 1 恵那市上矢作町*1.1 恵那市山岡町*0.7 可児市広見*0.6 美濃加茂市太田町=0.5 多治見市笠原町*0.5 1 北名古屋市西之保*0.7 岡崎市若宮町=0.6 一宮市緑*0.5				
89	28 06 37	茨城県沖 福島県	36° 24.4' N	141° 07.8' E	48km	M: 5.0
		3 玉川村小高*2.7 2 須賀川市岩瀬支所*2.4 葛尾村落合関下*2.4 白河市新白河*2.3 川俣町五百田*2.2 鏡石町不時沼*2.2 平田村永田*2.2 本宮市糠沢*2.2 檜葉町北田*2.2 浪江町幾世橋=2.2 白河市東*2.2 いわき市小名浜=2.1 白河市表郷*2.1 大熊町下野上*2.1 二本松市針道*2.1 郡山市湖南町*2.1 福島広野町下北迫大谷地原*2.0 白河市郭内=2.0 須賀川市八幡山*2.0 天栄村下松本*2.0 郡山市開成*2.0 二本松市郭内*2.0 川内村上川内早渡*1.9 大熊町野上*1.9 田村市大越町*1.9 泉崎村泉崎*1.9 二本松市油井*1.9 飯館村伊丹沢*1.9 会津若松市古川町*1.9 相馬市中村*1.9 古殿町松川*1.9 田村市滝根町*1.9 棚倉町棚倉中居野=1.8 西郷村熊倉*1.8 福島伊達市壺山町*1.8 富岡町本岡*1.8 中島村滑津*1.8 田村市船引町=1.8 いわき市三和町=1.8 福島市五老内町*1.7 南相馬市原町区高見町*1.7 南相馬市鹿島区*1.7 須賀川市八幡町*1.7 浅川町浅川*1.7 田村市都路町*1.7 国見町藤田*1.7 本宮市本宮*1.7 石川町下泉*1.6 双葉町新山*1.6 郡山市朝日=1.6 いわき市平四ツ波*1.6 葛尾村落合落合*1.6 新地町谷地小屋*1.6 いわき市錦町*1.6 南相馬市原町区三島町=1.6 田村市常葉町*1.6 川内村上川内小山平*1.5 須賀川市長沼支所*1.5 南相馬市小高区*1.5 白河市八幡小路*1.5 猪苗代町千代田*1.5 二本松市金色*1.5 福島市松木町=1.5 矢吹町一本木*1.5 白河市大信*1.5 1 福島市桜木町*1.4 桑折町東大隅*1.4 大玉村曲藤=1.4 大玉村玉井*1.4 矢祭町東館館本*1.4 小野町小野新町*1.4 福島広野町下北迫苗代替*1.4 小野町中通*1.3 福島伊達市梁川町*1.3 福島伊達市保原町*1.3 いわき市平梅本*1.3 川内村下川内=1.3 南相馬市原町区本町*1.3 喜多方市塩川町*1.3 福島伊達市前川原*1.2 猪苗代町城南=1.2 三春町大町*1.2 福島市飯野町*1.2 湯川村笈川*1.1 福島伊達市月館町*1.1 塙町塙*1.0 矢祭町東館下上野内*1.0 会津美里町新鶴庁舎*0.9 磐梯町磐梯*0.9 檜枝岐村上河原*0.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.8 鮫川村赤坂中野*0.6 南会津町田島=0.6 会津美里町本郷庁舎*0.5 茨城県 3 鉾田市当間*3.3 鉾田市汲上*3.3 ひたちなか市南神敷台*2.8 高萩市安良川*2.8 茨城町小堤*2.7 水戸市金町=2.6 土浦市常名=2.6 茨城鹿嶋市鉢形=2.6 茨城鹿嶋市宮中*2.5 常陸大宮市野口*2.5 日立市助川小学校*2.5 水戸市内原町*2.5 2 水戸市中央*2.4 高萩市本町*2.4 石岡市八郷*2.4 土浦市下高津*2.3 日立市役所*2.3 桜川市羽田*2.3 鉾田市鉾田=2.3 鉾田市造谷*2.3 日立市十王町友部*2.2 常陸太田市高柿町*2.2 大子町池田*2.2 那珂市福田*2.2 小美玉市小川*2.2 小美玉市堅倉*2.2 石岡市柿岡=2.2 つくば市谷田部*2.2 筑西市門井*2.2 水戸市千波町*2.2 小美玉市上玉里*2.1 北茨城市磯原町*2.1 笠間市石井*2.1 取手市寺田*2.1 笠間市中央*2.1 潮来市辻*2.1 ひたちなか市東石川*2.1 かすみがうら市上土田*2.1 行方市山田*2.1 桜川市岩瀬*2.1 東海村東海*2.1 笠間市下郷*2.0 坂東市馬立*2.0 坂東市山*2.0 かすみがうら市大和田*2.0 常陸大宮市山方*1.9 常陸太田市金井町*1.9 神栖市溝口*1.9 行方市玉造*1.9 つくば市天王台*1.9 つくば市小茎*1.9 常陸大宮市北町*1.9 稲敷市江戸崎甲*1.9 桜川市真壁*1.8 阿見町中央*1.8 常総市新石下*1.8 筑西市舟生=1.8 土浦市藤沢*1.8 常陸大宮市上小瀬*1.8 行方市麻生*1.8 那珂市瓜連*1.8 城里町石塚*1.8 大洗町磯浜町*1.7 境町旭町*1.7 常陸太田市町屋町=1.7 常総市海道諏訪町*1.7 坂東市役所*1.7 稲敷市役所*1.7 下妻市本城町*1.7 取手市井野*1.7 城里町阿波山*1.7 美浦村受領*1.7 稲敷市結佐*1.6 筑西市海老ヶ島*1.6 結城市結城*1.6 石岡市石岡*1.5 稲敷市須賀津*1.5 筑西市下中山*1.5 茨城古河市仁連*1.5 1 下妻市鬼怒*1.4 取手市藤代*1.4 牛久市中央*1.4 五霞町小福田*1.4 つくばみらい市福田*1.4 神栖市波崎*1.3 つくばみらい市加藤*1.3 常陸太田市町田町*1.3 常陸大宮市中富町=1.3 守谷市大柏*1.3 坂東市岩井=1.3 稲敷市柴崎*1.3 八千代町菅谷*1.2 利根町布川=1.2 常陸太田市大中町*1.2 茨城古河市下大野*1.2 龍ヶ崎市寺後*1.1 城里町徳蔵*1.1 常陸大宮市高部*1.0 栃木県 3 茂木町小井戸*2.9 真岡市石島*2.5 2 市貝町市塙*2.1 大田原市湯津上*2.0 益子町益子=2.0 宇都宮市中里町*1.9 小山市神鳥谷*1.9				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		真岡市田町*=1.8 那須町寺子*=1.7 宇都宮市明保野町=1.7 茂木町茂木*=1.7 高根沢町石末*=1.7 那須烏山市中央=1.7 下野市小金井*=1.7 下野市田中*=1.6 真岡市荒町*=1.6 栃木那珂川町馬頭*=1.5 日光市鬼怒川温泉大原*=1.5				
		1 鹿沼市晃望台*=1.4 芳賀町祖母井*=1.4 那須烏山市大金*=1.4 下野市石橋*=1.4 日光市中宮祠=1.3 大田原市本町*=1.3 栃木市旭町=1.3 小山市中央町*=1.3 岩舟町静*=1.3 栃木那珂川町小川*=1.3 鹿沼市今宮町*=1.2 日光市今市本町*=1.2 那須塩原市鍋掛*=1.2 那須塩原市あたご町*=1.1 足利市大正町*=1.1 日光市中鉢石町*=1.1 栃木藤岡町藤岡*=1.1 栃木さくら市喜連川*=1.0 大田原市黒羽田町=1.0 那須塩原市共懇社*=1.0 鹿沼市口栗野*=1.0 上三川町しらさぎ*=1.0 日光市足尾町中才*=0.9 大平町富田*=0.9 日光市足尾町松原*=0.9 栃木さくら市氏家*=0.9 矢板市本町*=0.9 那須烏山市役所*=0.9 那須塩原市塩原庁舎*=0.9 足利市名草上町=0.9 佐野市高砂町*=0.9 日光市瀬川=0.9 塩谷町玉生*=0.8 壬生町通町*=0.8 日光市日蔭*=0.8 佐野市葛生東*=0.7 日光市湯元*=0.7 宇都宮市埜田*=0.6 西方町本城*=0.6 宇都宮市旭*=0.6 栃木市入舟町*=0.6 佐野市中町*=0.5 日光市藤原*=0.5 那須塩原市藁沼=0.5				
		2 岩沼市桜*=2.0 山元町浅生原*=1.5 石巻市桃生町*=1.5 蔵王町円田*=1.5				
		1 宮城加美町中新田*=1.4 大崎市田尻*=1.4 名取市増田*=1.4 大河原町新南*=1.4 塩竈市旭町*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 色麻町四竈*=1.3 宮城川崎町前川*=1.3 亙理町下小路*=1.3 仙台青葉区作並*=1.3 大崎市古川三日町=1.2 大崎市松山*=1.2 村田町村田*=1.2 涌谷町新町=1.2 東松島市矢本*=1.1 丸森町鳥屋*=1.1 丸森町上滝=1.1 白石市亙理町*=1.0 仙台空港=1.0 大衡村大衡*=1.0 大崎市鹿島台*=1.0 登米市中田町=1.0 仙台宮城野区五輪=1.0 仙台宮城野区苦竹*=1.0 石巻市門脇*=1.0 登米市南方町*=0.9 栗原市金成*=0.9 利府町利府*=0.9 大郷町粕川*=0.9 大崎市古川北町*=0.9 登米市迫町*=0.9 登米市米山町*=0.9 柴田町船岡=0.9 東松島市小野*=0.8 南三陸町志津川=0.8 仙台青葉区雨宮*=0.7 仙台青葉区落合*=0.7 栗原市志波姫*=0.7 宮城美里町北浦*=0.7 栗原市瀬峰*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 七ヶ浜町東宮浜*=0.7 栗原市若柳*=0.6 栗原市高清水*=0.6 登米市登米町*=0.6 石巻市前谷地*=0.6 富谷町富谷*=0.6 大崎市三本木*=0.6 栗原市一迫*=0.6 栗原市築館*=0.5 七ヶ宿町関*=0.5 大和町吉岡*=0.5 石巻市北上町*=0.5 石巻市相野谷*=0.5				
		2 沼田市利根町*=1.5 桐生市黒保根町*=1.5 渋川市赤城町*=1.5				
		1 桐生市新里町*=1.4 太田市西本町*=1.4 沼田市西倉内町=1.3 沼田市白沢町*=1.3 渋川市吹屋*=1.3 邑楽町中野*=1.3 片品村東小川=1.2 富士見村田島*=1.2 大泉町日の出*=1.2 片品村鎌田*=1.1 前橋市粕川町*=1.1 桐生市元宿町*=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.1 六合村小雨*=1.0 伊勢崎市今泉町*=1.0 伊勢崎市境*=1.0 太田市粕川町*=1.0 群馬千代田町赤岩*=1.0 沼田市下久屋町*=0.9 館林市美園町*=0.8 館林市城町*=0.8 東吾妻町本宿*=0.8 群馬明和町新里*=0.8 高崎市高松町*=0.8 太田市浜町*=0.7 川場村谷地*=0.7 みなかみ町鹿野沢*=0.7 神流町生利*=0.7 桐生市織姫町=0.7 吉岡町下野田*=0.6 板倉町板倉=0.6 みどり市笠懸町*=0.6 群馬吉井町吉井川*=0.5 太田市新田金井町*=0.5				
		2 宮代町笠原*=1.6 久喜市下早見=1.5 埼玉美里町木部*=1.5				
		1 春日部市谷原新田*=1.4 春日部市中央*=1.3 春日部市金崎*=1.3 埼玉三芳町藤久保*=1.2 東松山市松葉町*=1.1 久喜市青葉*=1.1 川口市中青木分室*=1.1 三郷市幸房*=1.1 吉川市吉川*=1.1 吉見町下細谷*=1.0 上尾市本町*=1.0 草加市高砂*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 加須市下三俣*=0.9 本庄市尻玉町=0.9 滑川町福田*=0.8 嵐山町杉山*=0.8 熊谷市大里*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 長瀨町野上郷*=0.8 深谷市花園*=0.7 熊谷市妻沼*=0.7 川島町平沼*=0.7 さいたま大宮区天沼町*=0.7 行田市本丸*=0.7 東松山市市ノ川*=0.7 秩父市近戸町*=0.6 所沢市北有楽町*=0.6 越谷市越ヶ谷*=0.6 鳩ヶ谷市三ツ和*=0.6 越生町越生*=0.5 北本市本町*=0.5				
		2 香取市佐原下川岸=2.2 香取市役所*=2.2 旭市南堀之内*=2.1 成田市花崎町=2.1 香取市仁良*=2.0 成田国際空港=1.9 香取市佐原諏訪台*=1.8 旭市萩園*=1.6 千葉中央区都町*=1.6 成田市松子*=1.6 本埜村笠神*=1.6 東金市日吉台*=1.5 旭市二*=1.5 多古町多古=1.5 芝山町小池*=1.5 香取市羽根川*=1.5 千葉若葉区小倉台*=1.5 成田市役所*=1.5 千葉佐倉市海隣寺町*=1.5 印西市大森*=1.5				
		1 銚子市川口町=1.4 東金市東新宿=1.4 東金市東岩崎*=1.4 千葉神崎町神崎本宿*=1.4 匝瑳市八日市場ハ*=1.4 山武市埜谷*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.4 成田市中台*=1.4 柏市旭町=1.4 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.4 旭市高生*=1.3 香取市岩部*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 野田市東宝珠花*=1.3 印旛村瀬戸*=1.3 富里市七栄*=1.3 東庄町笹川*=1.2 九十九里町片貝*=1.2 匝瑳市今泉*=1.2 横芝光町宮川*=1.2 山武市蓮沼ハ*=1.2 千葉中央区千葉市役所*=1.2 野田市鶴奉*=1.2 柏市大島田*=1.2 八千代市大和田新田*=1.2 四街道市鹿渡*=1.2 八街市八街*=1.2 白井市復*=1.2 千葉栄町安食台*=1.2 山武市殿台*=1.1 市原市姉崎*=1.1 銚子市若宮町*=1.1 千葉緑区おゆみ野*=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 習志野市鷺沼*=1.0 千葉酒々井町中央台*=1.0 横芝光町横芝*=1.0 我孫子市我孫子*=0.9 山武市松尾町松尾*=0.9 松戸市根本*=0.8 長生村本郷*=0.8 千葉中央区中央港=0.8 千葉一宮町一宮=0.7 君津市久留里市場*=0.6				
		1 陸前高田市高田町*=1.0 北上市二子町*=0.9 一関市室根町*=0.8 一関市千厩町*=0.7				
		1 東京千代田区大手町=1.2 東京江東区枝川*=1.1 東京中野区江古田*=1.1 東京荒川区東尾久*=1.1 東京足立区神明南*=1.1 東京葛飾区金町*=1.1 東京江戸川区中央=1.1 東京中野区中野*=1.0 東京北区西ヶ原*=1.0 東京北区赤羽南*=1.0 東京江戸川区船堀*=1.0 町田市中町*=1.0 東京港区南青山*=0.9 東京新宿区上落合*=0.9 東京文京区本郷*=0.9 東京江東区東陽*=0.9 東京江東区森下*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.9 東京練馬区東大泉*=0.9 東京足立区伊興*=0.9 東京葛飾区立石*=0.9 武蔵野市吉祥寺東町*=0.9 東大和市中央*=0.9 東京中央区勝どき*=0.8 東京文京区大塚*=0.8 東京世田谷区三軒茶屋*=0.8 東京杉並区桃井*=0.8 東京板橋区高島平*=0.8 三鷹市野崎*=0.8 東京千代田区九段南*=0.8 東京荒川区荒川*=0.7 東京練馬区光が丘*=0.7 東京足立区千住*=0.7 東京中央区日本橋兜町*=0.7 東京江戸川区鹿骨*=0.7 東京新宿区百人町*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.6 東京墨田区東向島*=0.6 東京品川区北品川*=0.6 東京国際空港=0.5 東京大田区本羽田*=0.5				
		1 横浜中区山手町=0.6 相模原市城山町久保沢*=0.6 相模原市津久井町中野*=0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
90	28 20 21	長野県 1 長野南牧村海ノ口*0.5 釧路沖 北海道 4 別海町常盤=4.4 根室市厚床*4.2 厚岸町尾幌=3.7 厚岸町真栄町*3.7 別海町本別海*3.5 3 釧路市黒金町*3.4 標茶町塘路*3.4 別海町西春別*3.4 標津町北2条*3.3 根室市落石東*3.3 釧路町別保*3.2 浜中町霧多布*3.1 浦幌町桜町*2.9 清里町羽衣町*2.9 釧路市音別町直別*2.8 釧路市幸町=2.8 白糠町西1条*2.8 標茶町川上*2.7 弟子屈町弟子屈*2.7 根室市瑤瑤瑠*2.7 根室市牧の内*2.6 弟子屈町美里=2.6 中標津町丸山*2.6 根室市弥栄=2.5 釧路市阿寒町中央*2.5 2 羅臼町岬町*2.3 鶴居村鶴居東*2.2 中標津町養老牛=2.2 弟子屈町サワンチサップ*2.2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*2.1 十勝大樹町生花*2.1 小清水町小清水*2.0 十勝清水町南4条=2.0 羅臼町緑町*2.0 十勝池田町西1条*2.0 新得町2条*1.9 更別村更別*1.9 斜里町本町=1.9 足寄町上螺湾=1.8 広尾町西4条*1.8 鹿追町東町*1.7 大空町東藻琴*1.7 根室市豊里=1.7 標津町薫別*1.6 中札内村東2条*1.6 新冠町北星町*1.6 十勝大樹町東本通*1.6 羅臼町春日=1.5 幕別町本町*1.5 湧別町栄町*1.5 中富良野町市街地*1.5 1 南富良野町役場*1.4 美幌町東3条=1.4 大空町女満別西3条*1.4 遠軽町生田原*1.4 足寄町南1条*1.4 帯広市東4条=1.4 帯広市東6条*1.4 音更町元町*1.4 本別町向陽町*1.4 釧路市音別町尺別=1.4 斜里町ウトロ香川*1.3 北見市留辺蘂町栄町*1.2 土幌町土幌*1.2 芽室町東2条*1.2 幕別町忠類錦町*1.2 豊頃町茂岩本町*1.2 本別町北2丁目=1.2 北見市常呂町常呂*1.2 広尾町並木通=1.2 上土幌町上土幌*1.2 網走市南6条*1.1 安平町早来北進*1.1 上土幌町清水谷*1.1 訓子府町東町*1.1 北見市端野町二区*1.0 興部町興部*1.0 津別町幸町*1.0 浦河町潮見=1.0 様似町栄町*1.0 新ひだか町静内山手町=0.9 幕別町忠類明和=0.9 函館市新浜町*0.9 浦河町築地*0.8 遠軽町丸瀬布金湧山=0.8 江別市緑町*0.8 浦河町野深=0.7 栗山町松風*0.7 新ひだか町静内御幸町*0.7 えりも町目黒*0.7 北見市南仲町*0.7 遠軽町学田*0.6 網走市台町=0.6 三笠市若松町*0.6 北見市留辺蘂町上町=0.5 青森県 1 東通村小田野沢*1.1 東通村砂子又*0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川*0.6	42° 35.3' N	145° 05.5' E	38km	M: 5.4
91	28 23 02	岩手県内陸南部 岩手県 2 奥州市胆沢区*1.9 1 金ヶ崎町西根*1.2 北上市二子町*1.1 西和賀町川尻*1.0 奥州市水沢区佐倉河*0.9 奥州市水沢区大鐘町=0.8 北上市柳原町=0.8 奥州市衣川区*0.6 大船渡市大船渡町=0.5	39° 11.6' N	140° 56.9' E	7km	M: 3.9
92	28 23 10	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 枕崎市高見町=0.6 枕崎市若葉町*0.5	31° 12.6' N	130° 16.6' E	4km	M: 2.5
93	29 03 31	群馬県北部 群馬県 1 沼田市利根町*1.2	36° 40.4' N	139° 18.8' E	9km	M: 2.4
94	29 08 00	十勝沖 北海道 2 釧路市音別町直別*1.5	41° 50.2' N	144° 23.3' E	36km	M: 4.4
95	29 11 08	相模湾 神奈川県 1 箱根町湯本*0.5 真鶴町真鶴*0.5	35° 12.4' N	139° 14.9' E	13km	M: 2.7
96	30 01 35	釧路支庁中南部 北海道 1 釧路市音別町直別*1.2	43° 03.6' N	143° 56.4' E	122km	M: 3.7
97	30 02 21	与那国島近海 沖縄県 2 竹富町波照間=1.5 竹富町船浮=1.5 1 竹富町上原*1.2 竹富町大原=1.1 与那国町祖納=1.0 与那国町役場*1.0 竹富町黒島=0.9 石垣市新栄町*0.7	23° 51.6' N	123° 22.0' E	27km	M: 5.2
98	30 02 24	与那国島近海 沖縄県 1 竹富町波照間=0.9 竹富町船浮=0.6	23° 52.1' N	123° 22.2' E	24km	M: 4.0
99	30 07 23	淡路島付近 兵庫県 1 南あわじ市福良=0.8 南あわじ市北阿万*0.6 南あわじ市湊*0.5	34° 14.1' N	134° 46.8' E	11km	M: 2.5
100	30 08 07	安芸灘 広島県 1 呉市豊浜町*1.4 三原市久井町*0.9 廿日市市大野*0.9 呉市倉橋町支所*0.9 呉市豊町*0.8 広島佐伯区湯来町運動広場*0.8 尾道市因島土生町*0.7 三原市本郷南*0.7 呉市広*0.7 三原市円一町=0.7 呉市下蒲刈町*0.6 呉市倉橋町鶯ヶ巣=0.6 東広島市安芸津町*0.6 呉市安浦町*0.5 江田島市沖美町*0.5 愛媛県 1 松山市北条辻*1.3 今治市波方町*1.2 西条市丹原町鞍瀬=1.1 上島町岩城*1.1 今治市吉海町*1.0 今治市上浦町*1.0 今治市菊間町*1.0 西条市周布*0.7 今治市大西町*0.7 上島町生名*0.6 今治市南宝来町二丁目=0.6 松山市中島大浦*0.5 山口県 1 周防大島町東和総合支所*1.2 田布施町役場*1.0 周防大島町西安下庄*1.0 平生町平生*0.8 周防大島町久賀*0.8 上関町長島*0.7 周防大島町平野*0.7 岩国市横山*0.6 田布施町下田布施=0.5	33° 59.0' N	132° 44.1' E	46km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
101	30 09 22	宮城県沖 岩手県 1 北上市二子町*=0.5	38° 56.5' N	141° 40.7' E	66km	M: 3.1
102	30 10 13	北海道南西沖 北海道 1 八雲町熊石雲石町*=0.6	41° 58.8' N	139° 53.5' E	12km	M: 2.7
103	30 19 40	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.1 新ひだか町静内御幸町*=1.0 安平町追分柏が丘*=0.9 浦河町潮見=0.8 浦河町築地*=0.8 新冠町北星町*=0.7 函館市新浜町*=0.7 安平町早来北進*=0.6 函館市泊町*=0.5 恵庭市京町*=0.5 浦河町野深=0.5 平取町振内*=0.5 青森県 1 東通村小田野沢*=0.5	42° 03.6' N	142° 28.7' E	66km	M: 3.8

● 付表 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 20 年（2008 年）5 月～平成 21 年（2009 年）4 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成21年（2009年）											
4月	73	19	9	2						103	
3月	59	26	5							90	
2月	70	27	6	7						110	
1月	62	28	5	1						96	
平成21年計	264	100	25	10						399	
平成20年（2008年）											
12月	79	35	15	1						130	
11月	68	29	4	2						103	
10月	94	26	10	3						133	
9月	77	40	13		1					131	11日 十勝沖（震度5弱）
8月	86	38	9	3						136	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震 （震度2：10回、震度1：20回）
7月	116	36	11	2	2		1			168	5日 茨城県沖（震度5弱） 8日 沖永良部島付近（震度5弱） 24日 岩手県沿岸北部（震度6弱） 平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震 （震度3：6回、震度2：15回、震度1：42回）
6月	367	135	54	12	1			1		570	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震とその余震 （震度6強：1回、震度5弱：1回、 震度4：10回、震度3：48回、 震度2：113回、震度1：312回）
5月	89	41	17	3	1					151	茨城県沖の地震活動 （震度5弱：1回、震度3：3回、 震度2：14回、震度1：18回）
過去1年計	1240	480	158	36	5		1	1		1921	（平成20年5月～平成21年4月）

（参考）昨年同月の最大震度別地震回数

4月	64	25	8	5						102	
----	----	----	---	---	--	--	--	--	--	-----	--

注)①「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

②地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県

平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3月28日 滋賀県

7月18日 富山県、香川県、大分県

平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7月19日 高知県 12月12日 福島県

平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7月29日 北海道、長崎県

平成15(2003)年3月10日 沖縄県

平成16(2004)年5月26日 防災科学技術研究所（岩手県の一部、宮城県の一部、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、福井県、
8月9日 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、
11月1日 岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）

平成18(2006)年3月1日 防災科学技術研究所（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、
6月20日 群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県）

平成19(2007)年3月1日 防災科学技術研究所（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）

● 付表 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 <平成 20 年（2008 年）5 月～平成 21 年（2009 年）4 月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
平成21年（2009年）								
4月	320	77	27	2		426	106	千島列島（ウルップ島東方沖）の地震活動 （M4.0～4.9：25回、M5.0～5.9：14回、 M6.0～6.9：2回） 奄美大島近海の地震活動 （M3.0～3.9：50回、M4.0～4.9：5回、 M5.0～5.9：2回）
3月	263	46	8			317	54	
2月	238	57	10			305	67	
1月	265	65	7		1	338	73	16日：千島列島東方（M7.4）
平成21年計	1086	245	52	2	1	1386	300	
平成20年（2008年）								
12月	303	68	18	4		393	90	4日：三陸沖（M6.1） 20日：関東東方沖（M6.6） 21日：福島県沖（M6.2） 28日：千島列島東方（M6.0）
11月	257	59	2			318	61	
10月	291	59	11			361	70	
9月	294	64	14		1	373	79	11日：十勝沖（M7.1）
8月	300	78	11			389	89	
7月	345	108	13	7		473	128	6日：千島列島（M6.1） 8日：沖永良部島付近（M6.1） 13日：フィリピン付近（M6.1） 19日：福島県沖（M6.9） 21日：小笠原諸島西方沖（M6.4） 21日：福島県沖（M6.1） 24日：岩手県沿岸北部（M6.8） 平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震活動 （M3.0～3.9：35回、M4.0～4.9：10回）
6月	551	120	8	1	1	681	130	1日：フィリピン付近（M6.2） 14日：平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震（M7.2） 平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震活動 （M3.0～3.9：274回、M4.0～4.9：58回、 M5.0～5.9：3回）
5月	363	98	28	2	1	492	129	8日：茨城県沖（M7.0） 茨城県沖の地震活動（8日のM7.0の本震を除く） （M3.0～3.9：130回、M4.0～4.9：36回、 M5.0～5.9：9回、M6.0～6.9：2回）
過去1年計	3790	899	157	16	4	4866	1076	（平成20年5月～平成21年4月）

（参考）昨年同月のM別地震回数

4月	269	74	17	1		361	92	24日：台湾付近（M6.3）
----	-----	----	----	---	--	-----	----	----------------

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

●付表 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 21 年 4 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった（3 月もなし）。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 34 回（3 月も 34 回）であった。

平成 19 年 10 月～平成 21 年 2 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

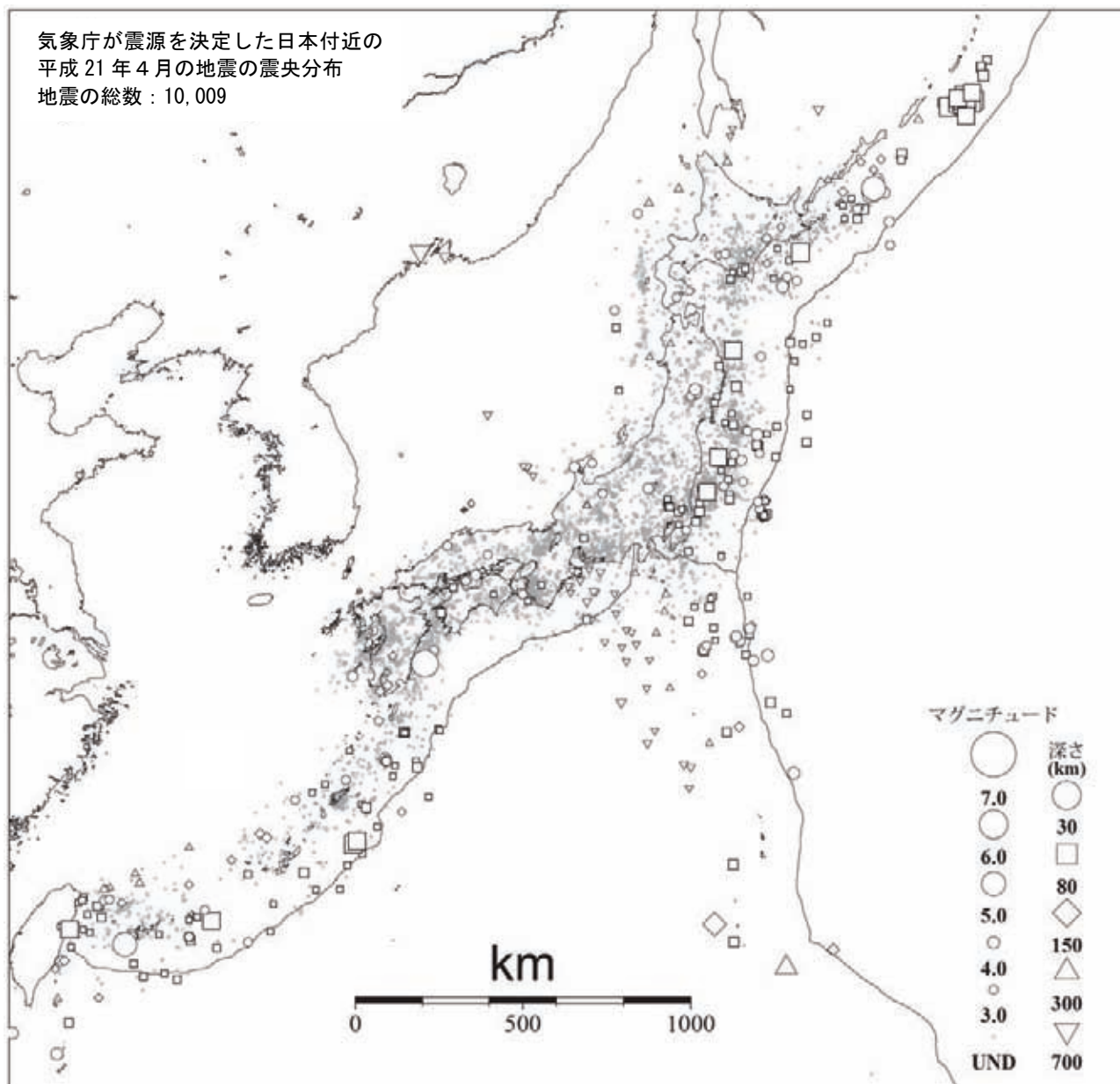
年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年合計
平成 19 年 (2007 年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(43)	0(39)	0(34)	0(34)									0(150)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

気象庁は、平成 19 年 10 月より緊急地震速報の一般への提供を開始し、同年 12 月 1 日より、気象業務法の一部改正により、緊急地震速報を地震動の予報及び警報に位置付けて発表している。

なお、緊急地震速報では、気象庁が整備した地震計（全国約 200 箇所）と（独）防災科学技術研究所が整備した高感度地震観測網（Hi-net）の地震計（全国約 800 箇所）を利用している。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 21 年 4 月の地震の震央分布
地震の総数 : 10,009



M3.0 以上の地震の震央を白抜きで示す。